

**平成 30 年度
富士市 子どもの生活実態調査
報告書(Web 版)**

平成 31 年3月

富士市

目次

第1章 アンケート調査.....	1
1 調査概要	1
(1) 調査の目的.....	1
(2) 調査の方法.....	1
(3) 調査の結果.....	1
2 「生活困難」について	2
(1) 生活困難とは	2
(2) 生活困難度判定	2
(3) 困窮層、周辺層、一般層の判定	2
3 保護者票	3
(1) 保護者について	3
(2) 教育・学習状況、進学.....	5
(3) 子どもとの関わりや、子どもに感じていること	13
(4) 保護者の悩み、経済状況等.....	17
(5) 医療・サービス・支援.....	23
4 子ども票	26
(1) 生活習慣	26
(2) ふだんの過ごし方や感じていること	29
(3) 教育・学習状況、進学.....	33
5 アンケート調査（自由意見）	37
(1) 小学5年生保護者票 項目別生活困難度別意見の割合.....	37
(2) 中学2年生保護者票 項目別生活困難度別意見の割合.....	38
(3) 小学5年生子ども票 項目別生活困難度別意見の割合.....	39
(4) 中学2年生子ども票 項目別生活困難度別意見の割合.....	40
第2章 団体等アンケート調査	41
1 調査概要	41
(1) 調査の目的.....	41
(2) 調査の方法.....	41

(3) 調査の結果.....	41
2 アンケート調査結果（選択式設問）	42
(1) 職務上で主に接する子どもの年代.....	42
(2) 貧困状況にある（かもしれない）子どもの発見・接した経験.....	42
(3) 貧困状況にある子どもの状態.....	43
(4) 貧困状況にある子どもの状況.....	43
(5) 貧困状況にある子どもに不足していると思うもの.....	44
(6-1) 貧困状況にある子どもやその親への支援と頻度／幼稚園・保育園・認定こども園 ...	45
(6-2) 貧困状況にある子どもやその親への支援と頻度／小学校	46
(6-3) 貧困状況にある子どもやその親への支援と頻度／中学校	47
(6-4) 貧困状況にある子どもやその親への支援と頻度／団体・活動	48
(6-5) 貧困状況にある子どもやその親への支援と頻度／福祉関係.....	49
(7) 他機関とやり取りが多い団体等	50
(8) 他機関とやり取りがない団体等	51
(9) 貧困状況にある子どもとその家庭への支援で困難だと感じること	52
(10) 貧困状況にある子どもとその家庭に対して必要だと思う支援	52
資料編	53
1 富士市子どもの生活実態調査票.....	53
(1) 小学校5年生、中学校2年生子ども調査票.....	53
(2) 小学校5年生、中学校2年生保護者調査票.....	65
2 団体等アンケート調査.....	79

第1章 アンケート調査

1 調査概要

(1) 調査の目的

富士市では、より安心して子どもを育てるために必要な取組を検討するにあたり、お子さまのいる家庭の生活状況や子どもの様子、また子育ての悩みや困りごと等の実態を把握するため調査を実施しました。

(2) 調査の方法

- 調査対象：富士市の小学5年生と中学2年生の児童生徒及びその保護者
- 調査期間：平成30年9月25日～10月5日
- 調査方法：学校を通じて配付・回収

(3) 調査の結果

○ 配付・回収状況：

	配付数	回収数	回収率
小学5年生保護者票	2,327票	2,207票	94.8%
中学2年生保護者票	2,327票	2,062票	88.6%
小学5年生子ども票	2,327票	2,254票	96.9%
中学2年生子ども票	2,327票	2,168票	93.2%

○ 保護者票の生活困難層の割合：

		困窮層	周辺層	一般層	不明 ^{※1}
小学5年生 保護者票	該当票数	154票	230票	1,524票	299票
	割合 ^{※2}	7.0%	10.4%	69.1%	13.5%
中学2年生 保護者票	該当票数	165票	226票	1,288票	383票
	割合 ^{※5}	8.0%	11.0%	62.5%	18.6%
全体	該当票数	319票	456票	2,812票	682票
	割合 ^{※5}	7.5%	10.7%	65.9%	16.0

○ 子ども票の生活困難層の割合：

		困窮層	周辺層	一般層	不明 ^{※4}
小学5年生 子ども票	該当票数	152票	229票	1,517票	356票
	割合 ^{※5}	6.7%	10.2%	67.3%	15.8%
中学2年生 子ども票	該当票数	164票	224票	1,285票	495票
	割合 ^{※5}	7.6%	10.3%	59.3%	22.8%
全体	該当票数	316票	453票	2,802票	851票
	割合 ^{※5}	7.2%	10.2%	63.4%	19.2%

※1 不明：

困窮層、周辺層、一般層は、生活困難を定義づける3つの要素に基づき該当者を抽出したものです（「生活困難」の定義については、11ページを参照）が、この3つの要素を把握するための3つの設問のいずれか1つでも無効の回答があった票を「不明」としています。

※2 割合：

端数処理の関係で、割合の合計が100.0%にならない場合があります。

2 「生活困難」について

(1)生活困難とは

本調査では、「困窮層」、「周辺層」、「一般層」の3つの要素に基づいて分類しています。そのうち、「困窮層」と「周辺層」を合わせた層を「生活困難層」とし、それ以外の層を「一般層」とした場合に、困難層の世帯の状況を生活困難と表します。

(2)生活困難度判定

子どもの生活実態調査アンケート調査において、3つの要素に該当する世帯及びその子どもを把握するための3つの設問を保護者票に設け、それぞれに該当する世帯の抽出を行いました。

要素①「低所得」では、世帯の可処分所得を把握する調査結果を基に、厚生労働省「平成28年国民生活基礎調査」から算出される基準未満（等価可処分所得の中央値244万円×50%＝122万円をベースとした世帯数ごとの低所得基準）の世帯が該当。

要素②「子どもの体験や所有物の欠如」では、子どもの体験や所有物などに関する15項目^{※3}のうち、3つ以上を回答した世帯が該当。

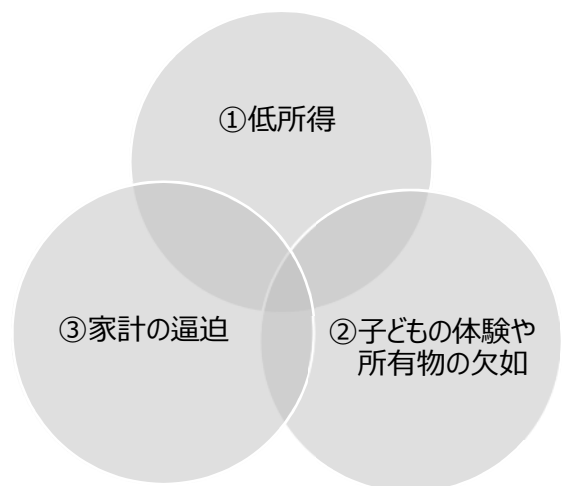
要素③「家計のひっ迫」では、経済的な理由で公共料金や家賃を支払えなかった経験や食料・衣類を買えなかった経験などの5項目^{※4}で「何度かあった」「頻繁にあった」を1つ以上回答した世帯が該当。

(3)困窮層、周辺層、一般層の判定

生活困難と判定された世帯のうち、2つ以上の要素に該当する世帯を「困窮層」、3つの要素のうち、いずれか1つの要素に該当する世帯を「周辺層」、いずれの要素にも該当しない世帯を「一般層」と判定しました。

◆生活困難層（困窮層・周辺層）、一般層

生活困難層	困窮層 + 周辺層
困窮層	2つ以上の要素に該当
周辺層	いずれか1つの要素に該当
一般層	いずれの要素にも該当しない



※3 子どもの体験や所有物などに関する15項目：

「海水浴に行く」、「博物館・科学館・美術館などに行く」、「キャンプやバーベキューに行く」、「スポーツ観戦や映画館等に行く」、「遊園地やテーマパークに行く」、「1年に1回くらい家族旅行に行くことが金銭的な理由で「できない」、「毎月お小遣いを渡す」、「毎年新しい洋服・靴を買う」、「習い事（音楽、スポーツ、習字等）に通わせる」、「学習塾に通わせる（または、家庭教師に来てもらう）」、「お誕生日のお祝いをする」、「クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる」、「子どもの年齢に合った本を買う」、「子ども用のスポーツ用品・おもちゃを買う」、「子どもが自宅で宿題をする場所を用意する」が経済的に「できない」ものを示します。

※4 経済的な理由で公共料金等の滞納や食料・衣類を買えなかった経験などの5項目：

「必要な食料が買えなかった」、「必要な服が買えなかった」、「電気・ガス・水道料金を滞納した」、「電話料金を滞納した」、「家賃を滞納した」の5項目を示します。

3 保護者票

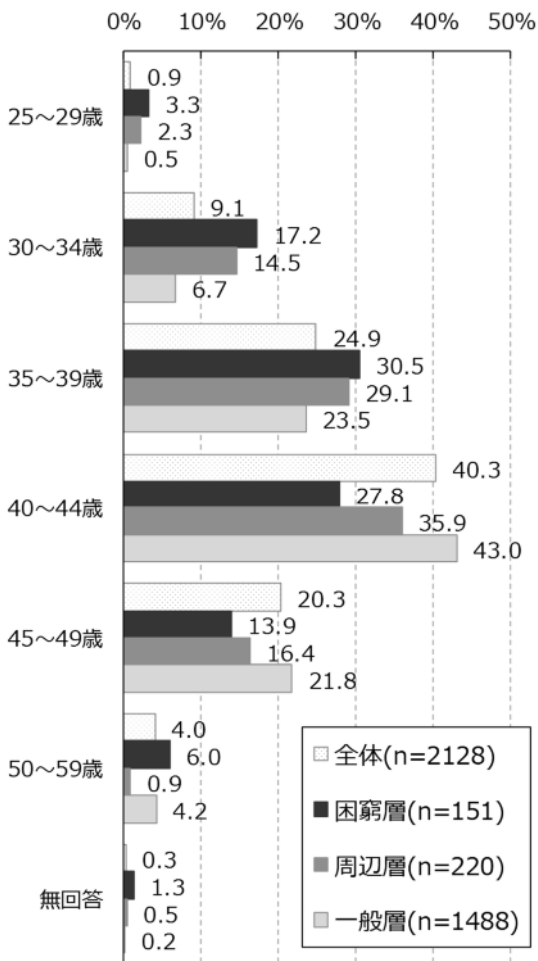
(1) 保護者について

両親の年齢／母親

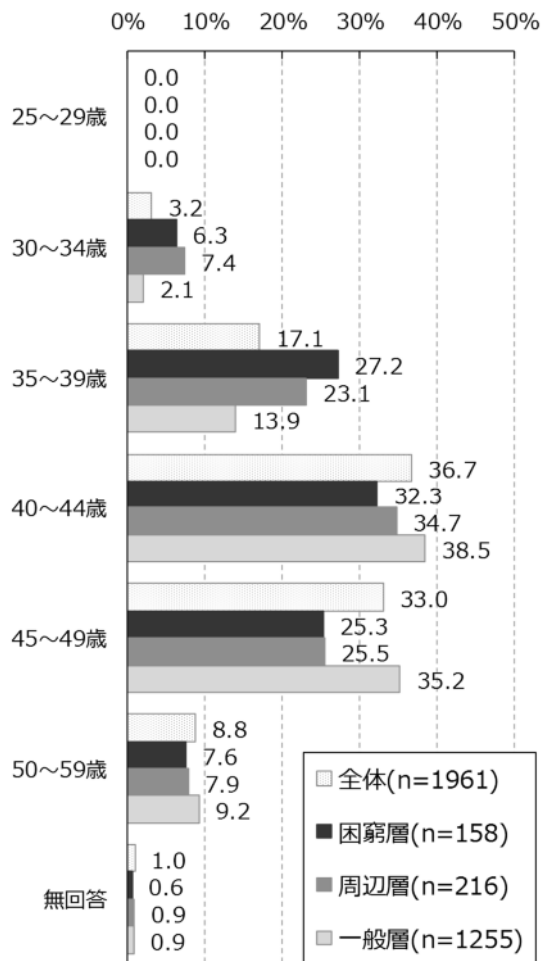
小学5年生の母親の年齢について、「40～44 歳」の回答では、困窮層は一般層の回答より 15 ポイントほど下回っています。小学5年生の困窮層で最も多い回答は「35～39 歳」で 30.5%となっています。

中学2年生の母親は、「35～39 歳」の回答では、困窮層と周辺層は一般層の回答より 10 ポイント近く上回っています。

小学5年生の母親



中学2年生の母親

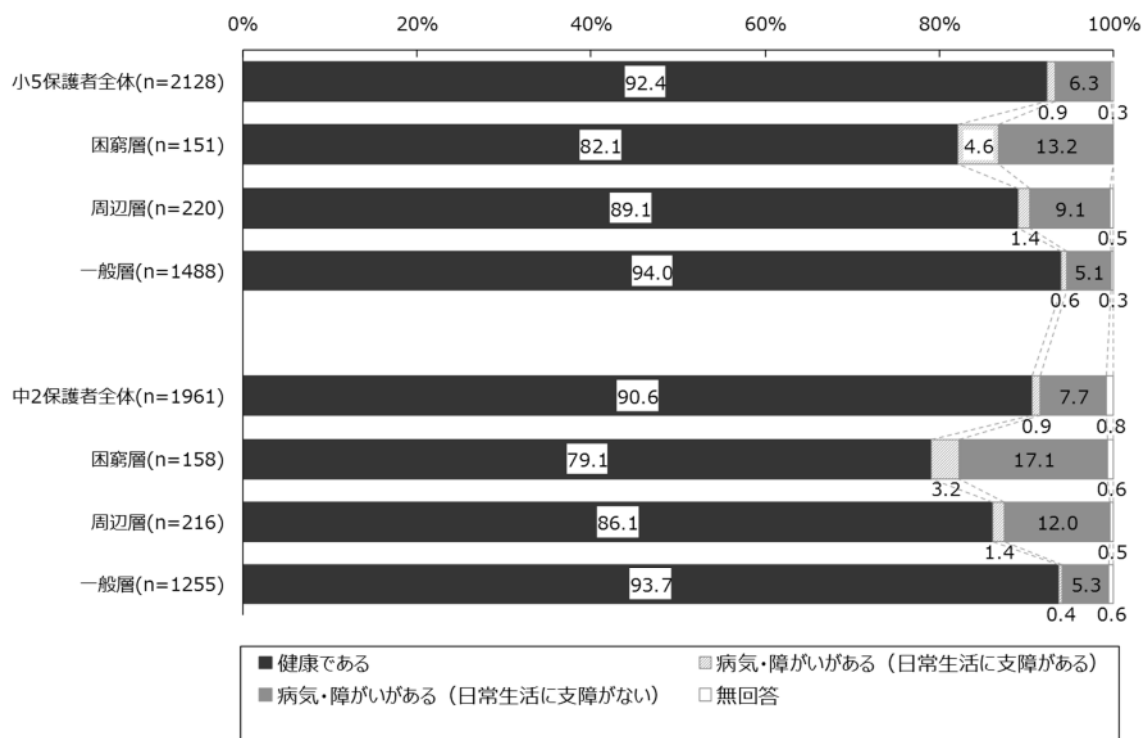


両親の健康状態

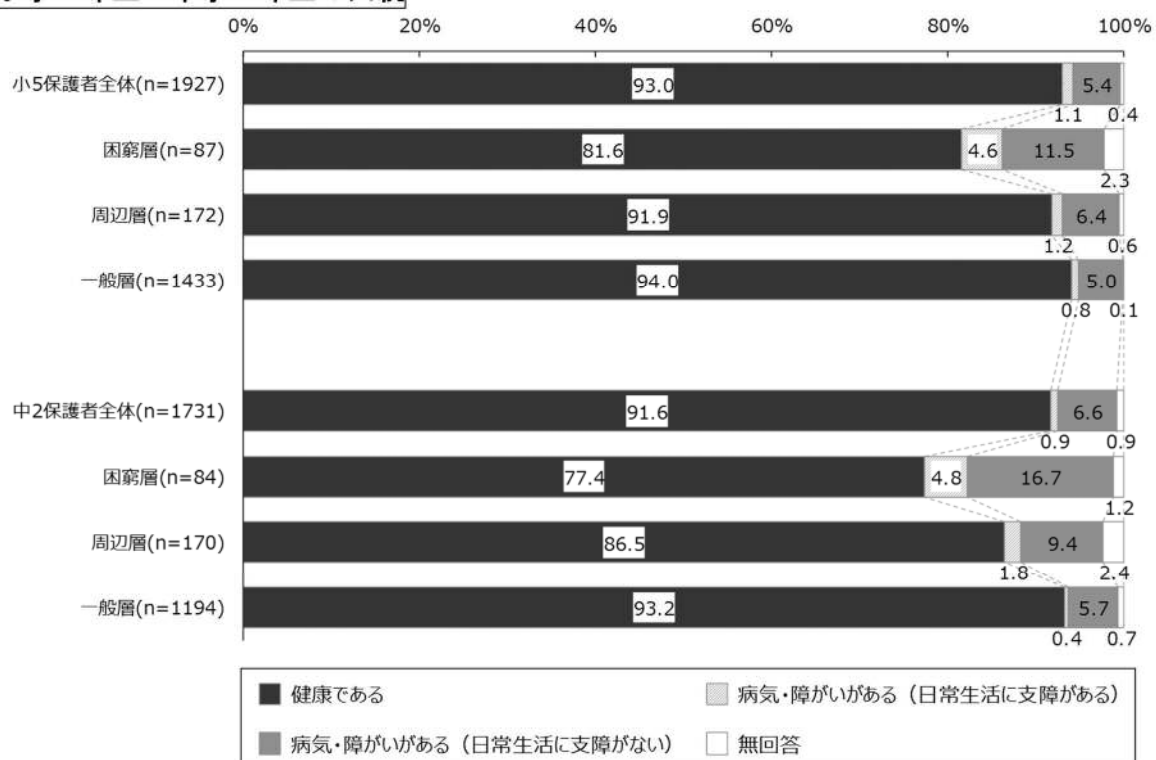
母親の健康状態について、「病気・障がいがある(日常生活に支障がない)」の回答では、中学2年生の困窮層は一般層より10ポイント以上上回っています。

父親は、「病気・障がいがある(日常生活に支障がない)」の回答では、中学2年生の困窮層は一般層より10ポイント以上上回っています。

小学5年生・中学2年生の母親



小学5年生・中学2年生の父親



(2)教育・学習状況、進学

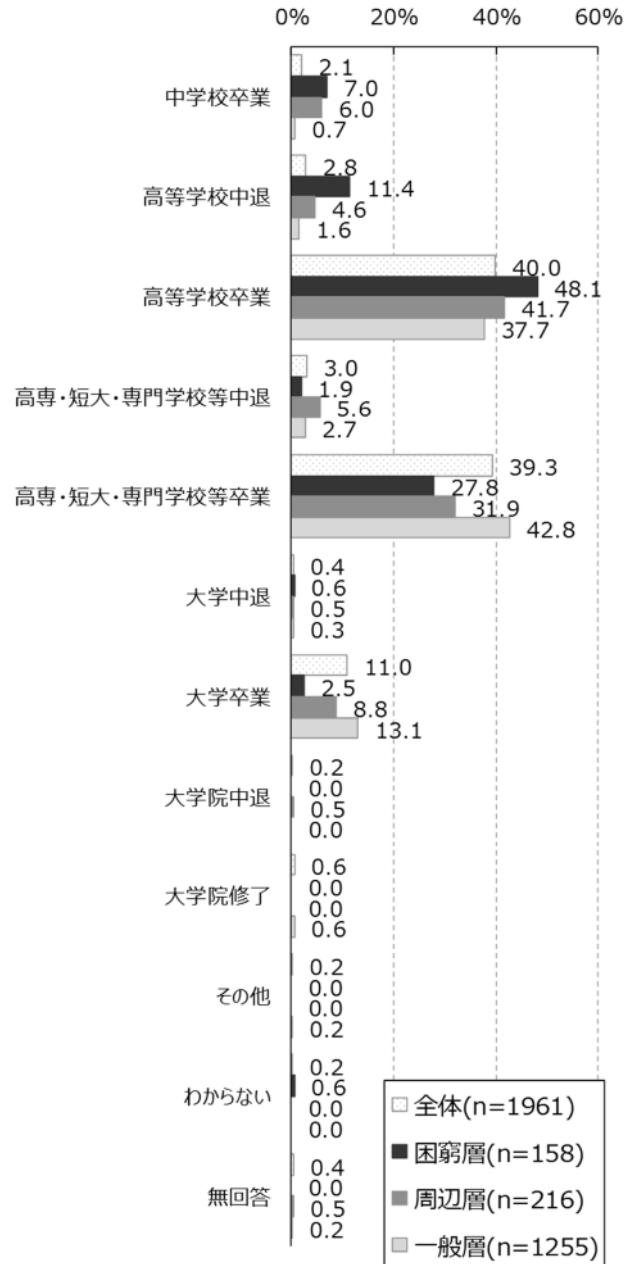
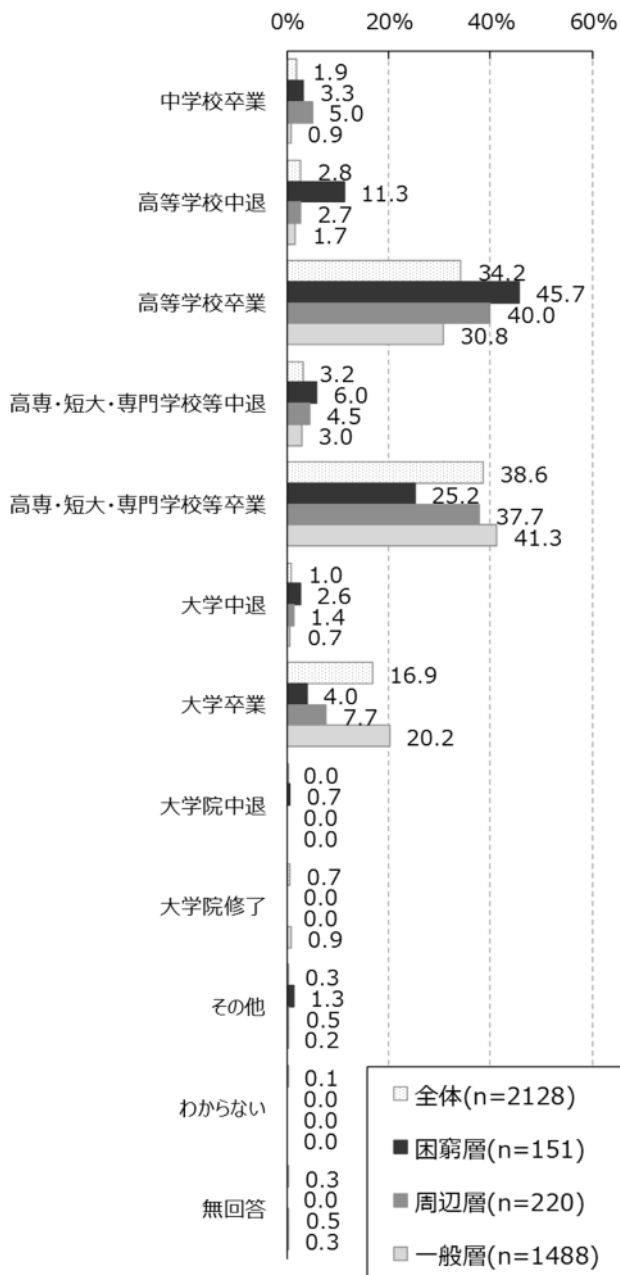
両親が最後に通った学校／母親

小学5年生の母親が最後に通った学校について、「高専・短大・専門学校等卒業」と「大学卒業」の回答では、困窮層が一般層の回答より 15 ポイント以上下回っており、最も多い回答は「高等学校卒業」で 45.7%となっています。

中学2年生の母親は、「高等学校卒業」の回答では、困窮層が一般層の回答より 10 ポイントほど上回っており、「高専・短大・専門学校等卒業」の回答では、困窮層は一般層より 15 ポイント下回っています。

小学5年生の母親

中学2年生の母親

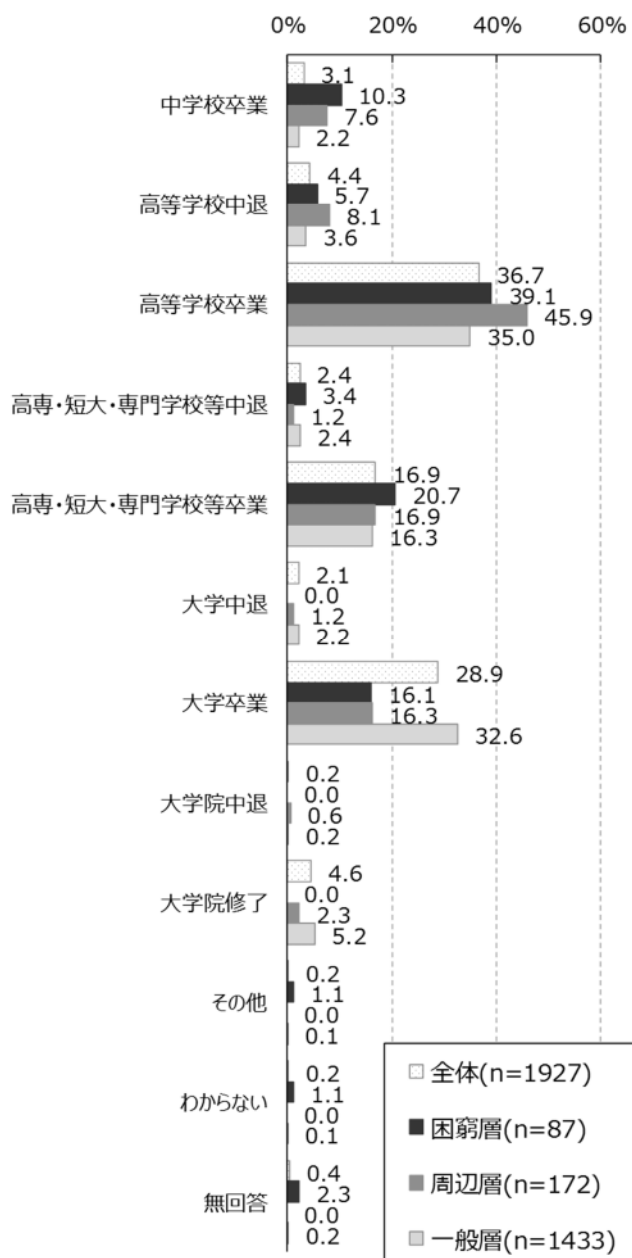


両親が最後に通った学校／父親

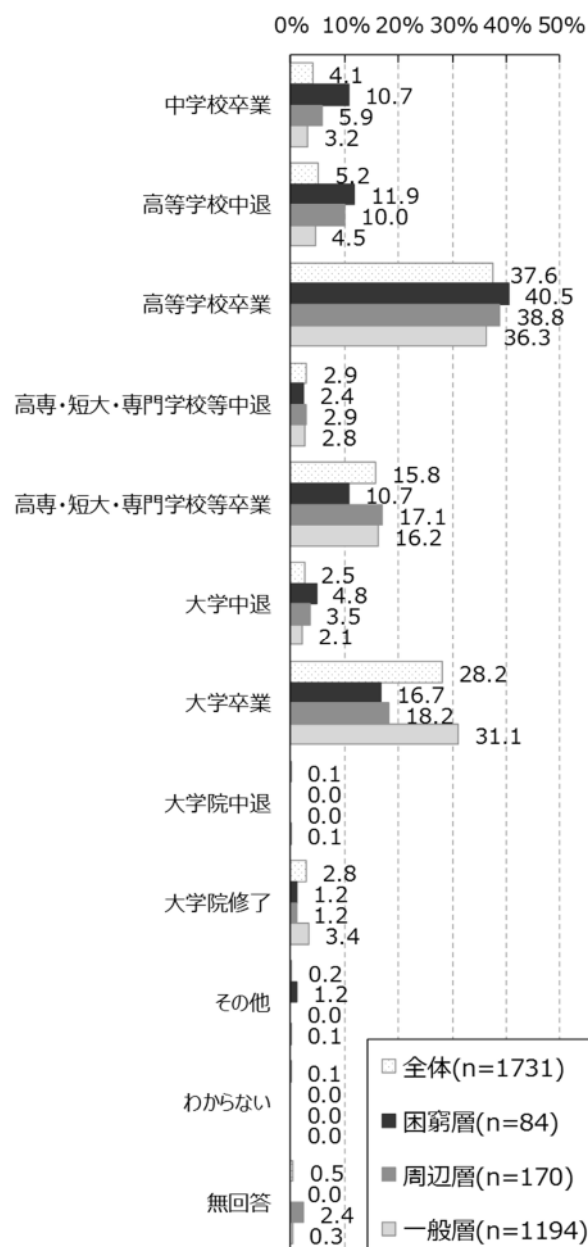
小学5年生の父親が最後に通った学校について、「高等学校卒業」の回答では、周辺層は一般層の回答より10ポイントほど上回っており、「大学卒業」の回答では、困窮層と周辺層は一般層より15ポイント以上下回っています。

中学2年生の父親は、「大学卒業」の回答では、困窮層と周辺層は一般層の回答より10ポイント以上下回っています。

小学5年生の父親



中学2年生の父親

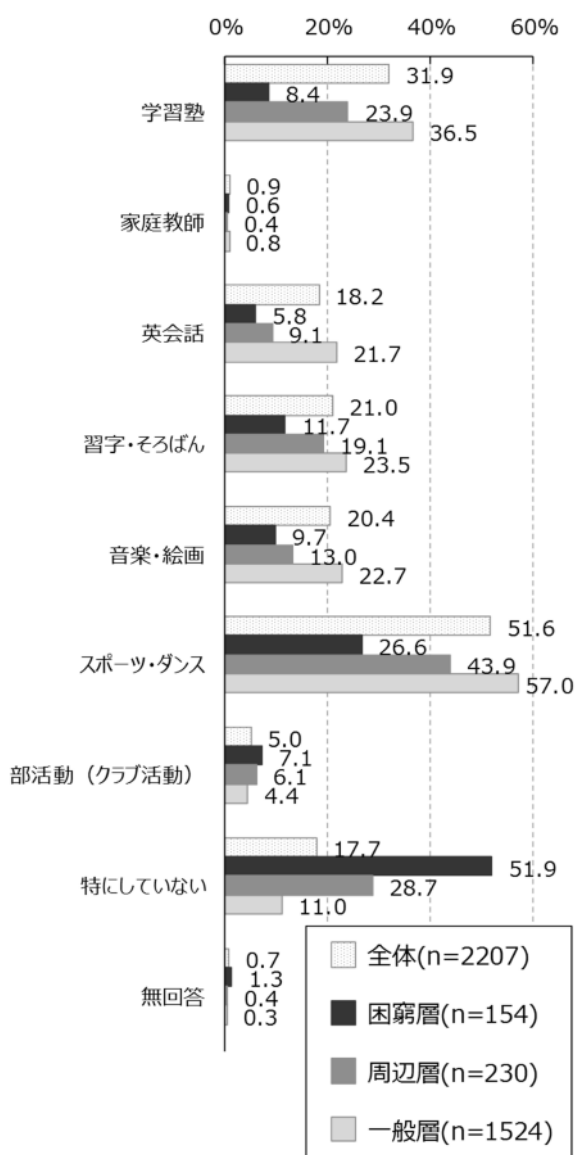


子どもの現在の習い事

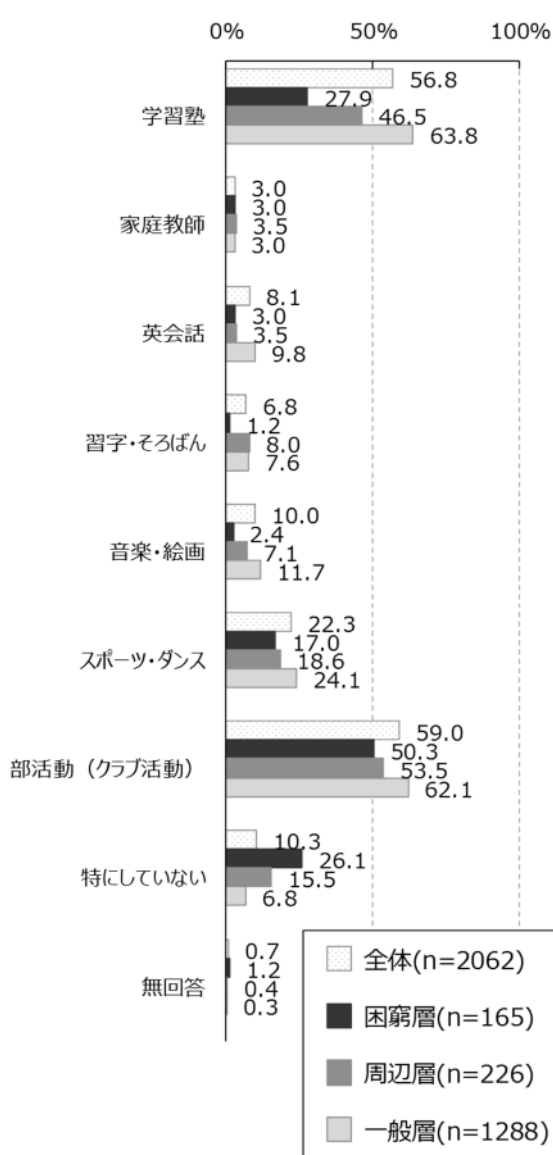
小学校5年生の子どもの現在の習い事について、「学習塾」の回答では、困窮層は一般層より 25 ポイント以上、周辺層は一般層より 10 ポイント以上下回っています。また、「特にしていない」の回答では、困窮層は一般層より 40 ポイント以上、周辺層は一般層より 15 ポイント以上上回っています。

中学2年生の子どもは、「学習塾」の回答では、困窮層は一般層より 35 ポイントほど、周辺層は一般層より 15 ポイント以上下回っています。また、「特にしていない」の回答では、困窮層は一般層より 20 ポイント近く、周辺層は一般層より 10 ポイント近く上回っています。

小学5年生

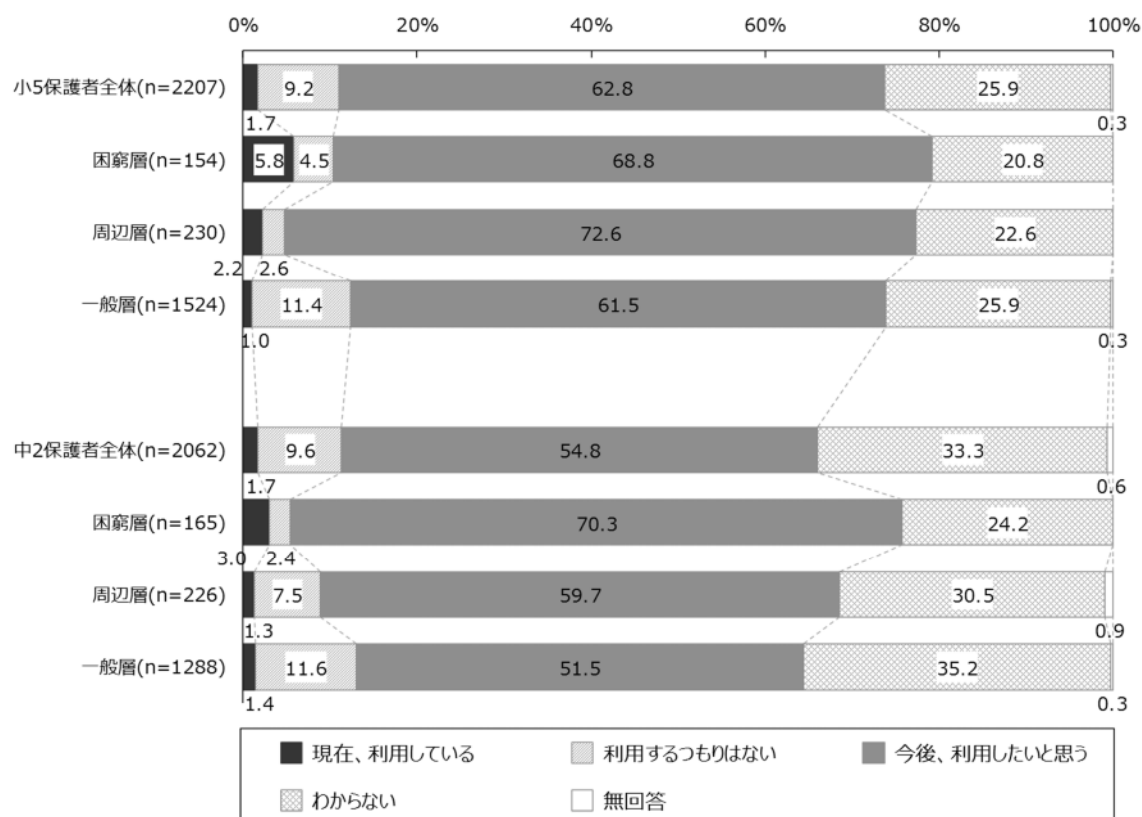


中学2年生



無料の学習支援制度の利用意向

無料の学習支援制度の利用意向について、「今後、利用したいと思う」の回答では、小学5年生の周辺層は一般層より 10 ポイント以上上回っており、中学2年生の困窮層は一般層より 20 ポイント近く上回っています。

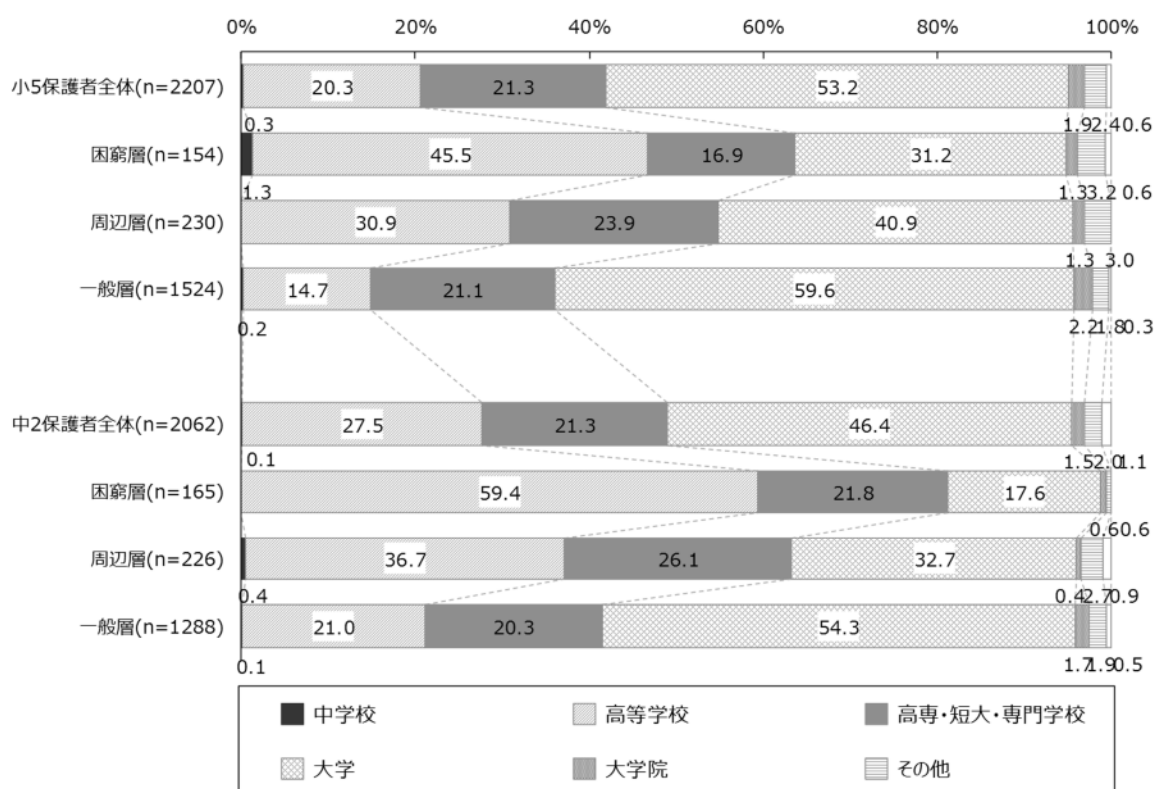


希望する子どもの進学段階

希望する子どもの進学段階について、「大学」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で 31.2%、周辺層で 40.9%、一般層で 59.6%、中学2年生の困窮層で 17.6%、周辺層で 32.7%、一般層で 54.3%となっています。

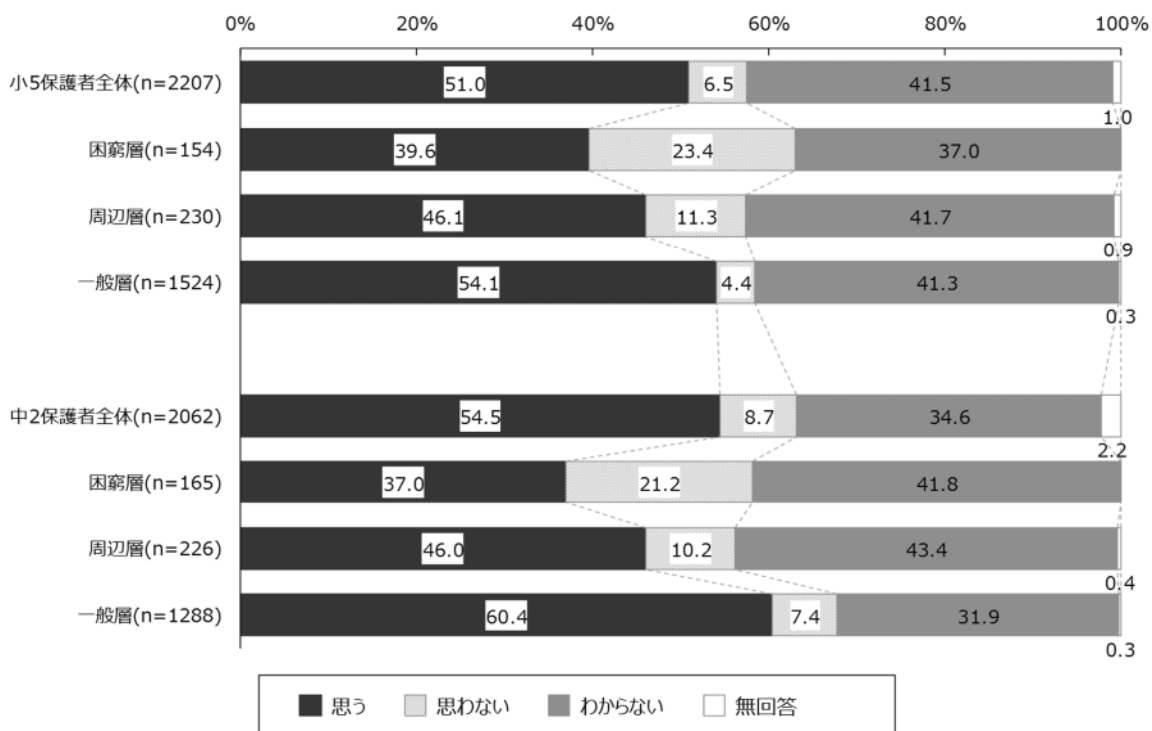
「高等学校」の回答では、小学5年生の困窮層は一般層より30ポイントほど、周辺層は一般層より15ポイント以上上回っており、中学2年生の困窮層は一般層より35ポイント以上、周辺層は一般層より15ポイントほど上回っています。

また、「大学」の回答では、小学5年生の困窮層は一般層より25ポイント以上、周辺層は一般層より15ポイント以上下回っており、中学2年生の困窮層は一般層より35ポイント以上、周辺層は一般層より20ポイント以上下回っています。



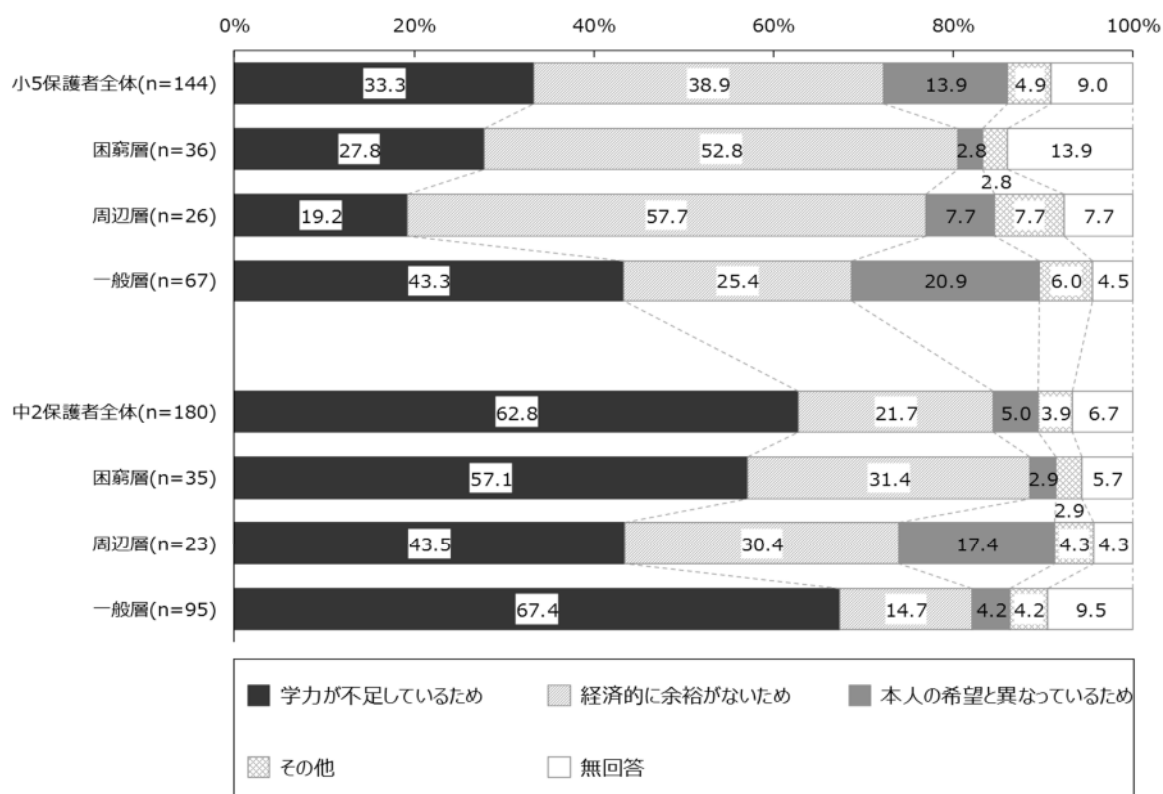
子どもが希望どおりの学校まで進学すると思うか

子どもが希望どおりの学校まで進学すると思うかについて、「思わない」の回答では、小学5年生の困窮層は一般層より15ポイント以上上回っており、中学2年生の困窮層は一般層より10ポイント以上上回っています。



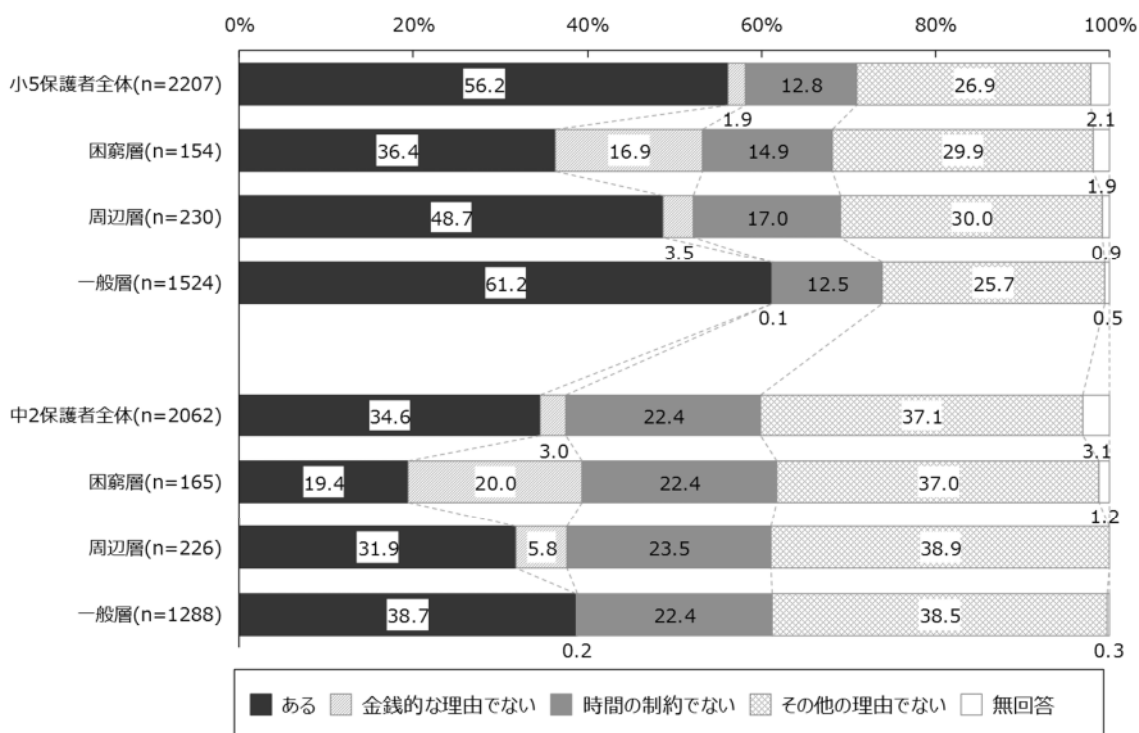
希望どおりに進学すると思わない理由

希望どおりに進学すると思わない理由について、「経済的に余裕がないため」の回答では、小学5年生の困窮層は一般層より25ポイント以上、周辺層は一般層より30ポイント以上上回っており、中学2年生では困窮層も周辺層も一般層より15ポイントほど上回っています。



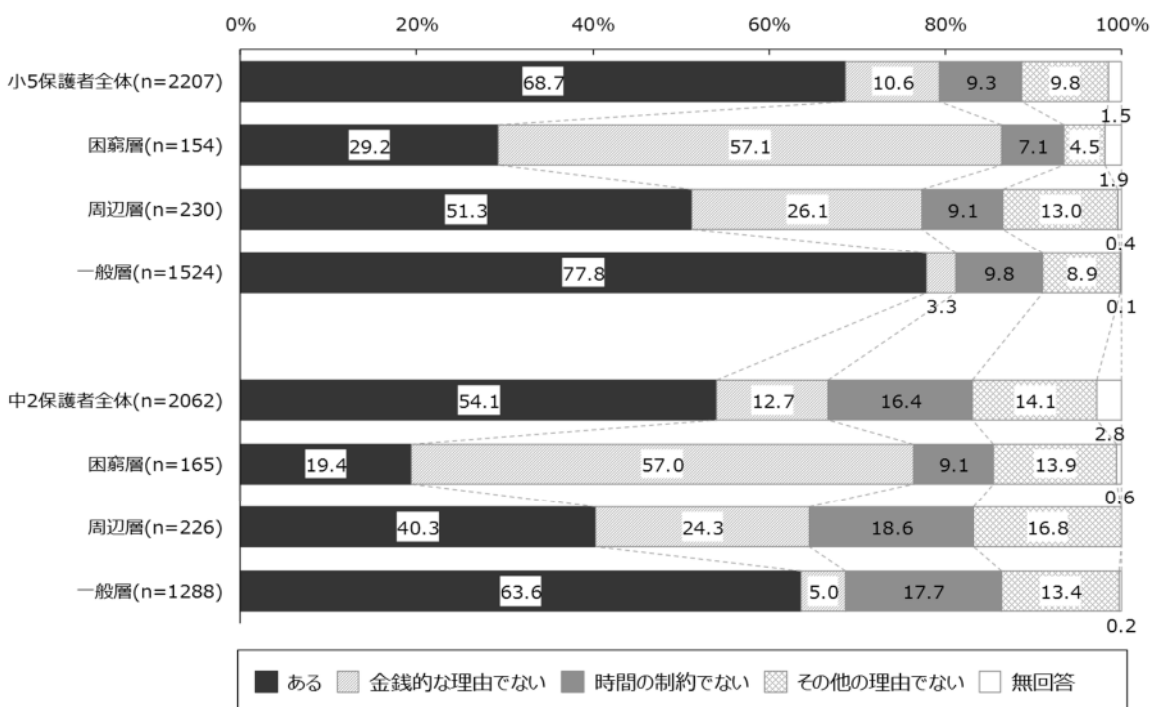
子どもを博物館・科学館・美術館などに連れて行くか

子どもを博物館・科学館・美術館などに連れて行くかについて、「金銭的な理由でない」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で 16.9%、周辺層で 3.5%、一般層で 0.1%、中学2年生の困窮層で 20.0%、周辺層で 5.8%、一般層で 0.2%となっています。



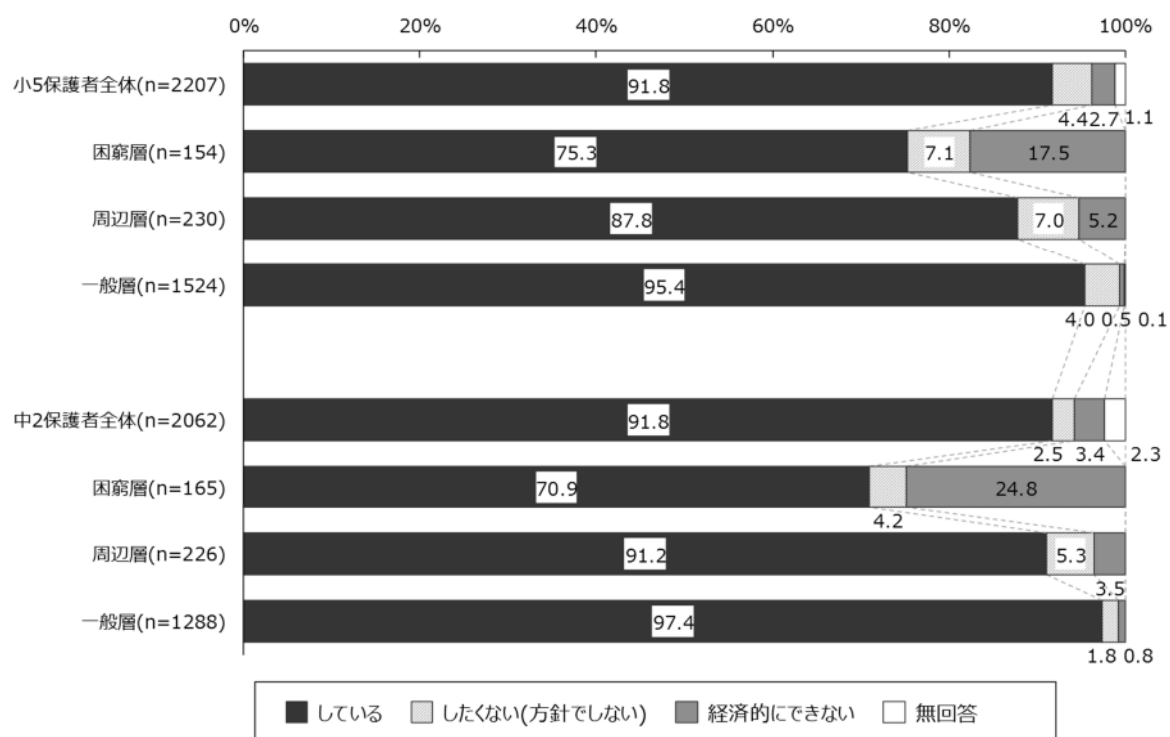
子どもと1年に1回くらい家族旅行に行くか

子どもと1年に1回くらい家族旅行に行くかについて、「金銭的な理由でない」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で 57.1%、周辺層で 26.1%、一般層で 3.3%、中学2年生の困窮層で 57.0%、周辺層で 24.3%、一般層で 5.0%となっています。



子どもが自宅で勉強をする場所を用意しているか

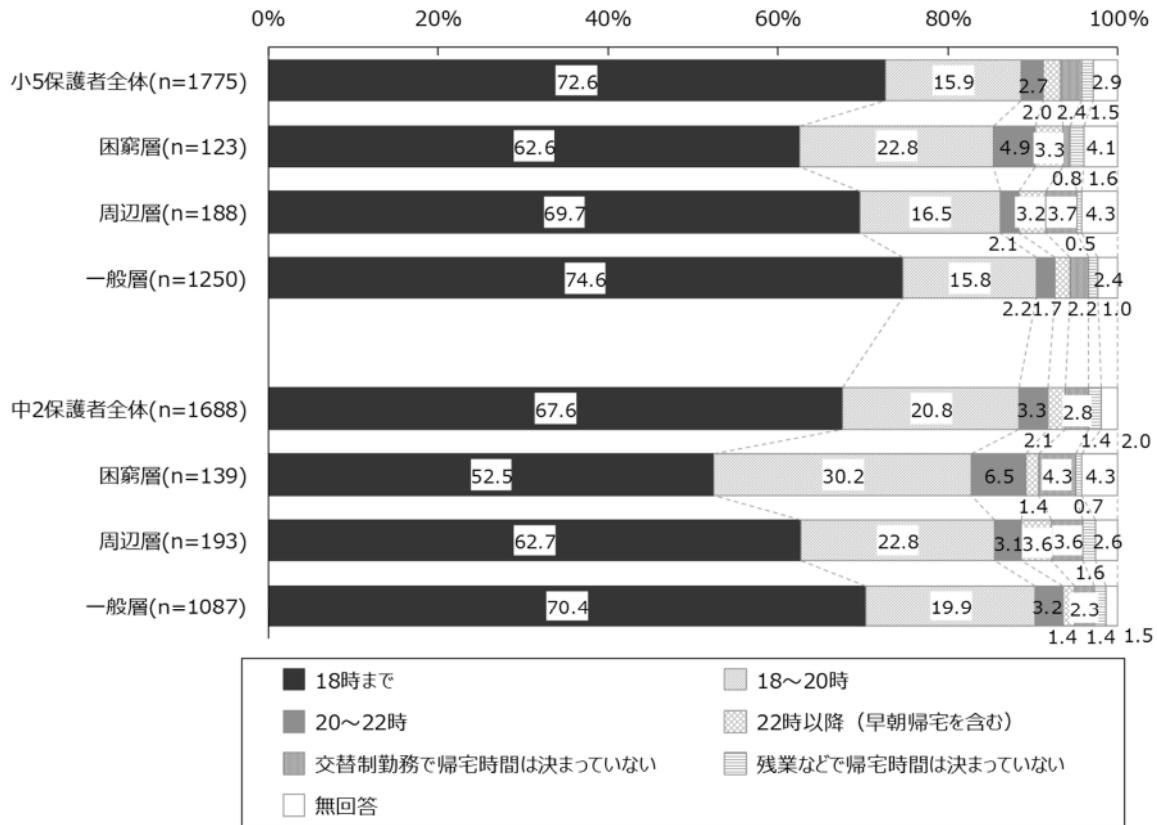
子どもが自宅で勉強をする場所を用意できているかについて、「経済的にできない」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で17.5%、周辺層で5.2%、一般層で0.5%、中学2年生の困窮層で24.8%、周辺層で3.5%、一般層で0.8%となっています。



(3)子どもとの関わりや、子どもに感じていること

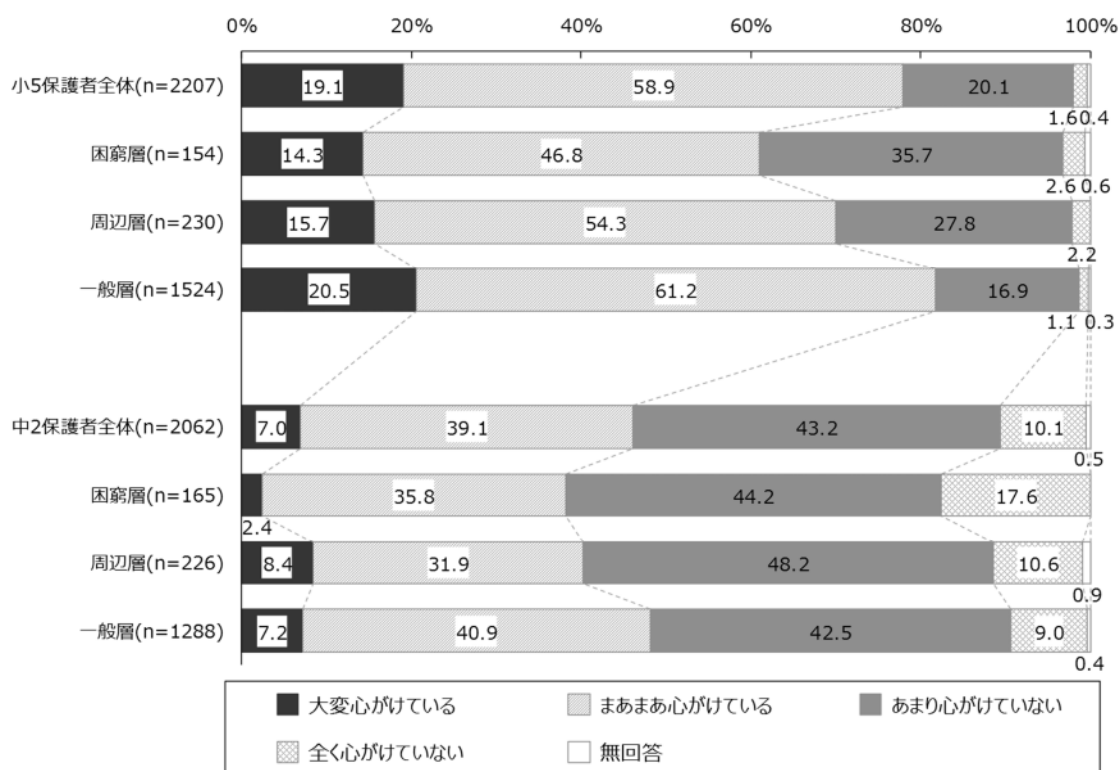
母親のふだんの帰宅時間で最も多い時間帯

母親のふだんの帰宅時間で最も多い時間帯について、「18～20 時」の回答では、中学2年生の困窮層は一般層より10ポイントほど上回っており、「18時まで」の回答では、中学2年生の困窮層は一般層より15ポイント以上下回っています。



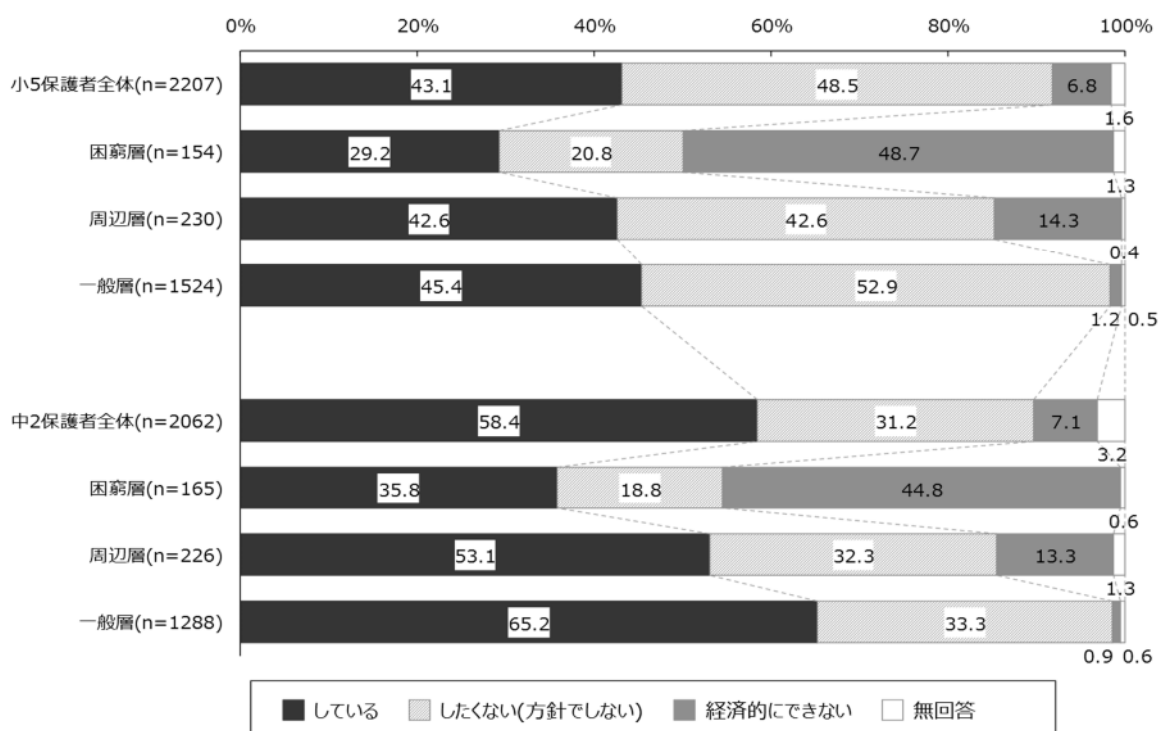
心がけて勉強を教えているか

心がけて勉強を教えているかについて、「大変心がけている」と「まあまあ心がけている」を合わせた『心がけている』と回答した割合をみると、小学5年生の困窮層は一般層より 20 ポイントほど下回っており、中学2年生の困窮層は一般層より 10 ポイント近く下回っています。



子どもに毎月お小遣いを渡しているか

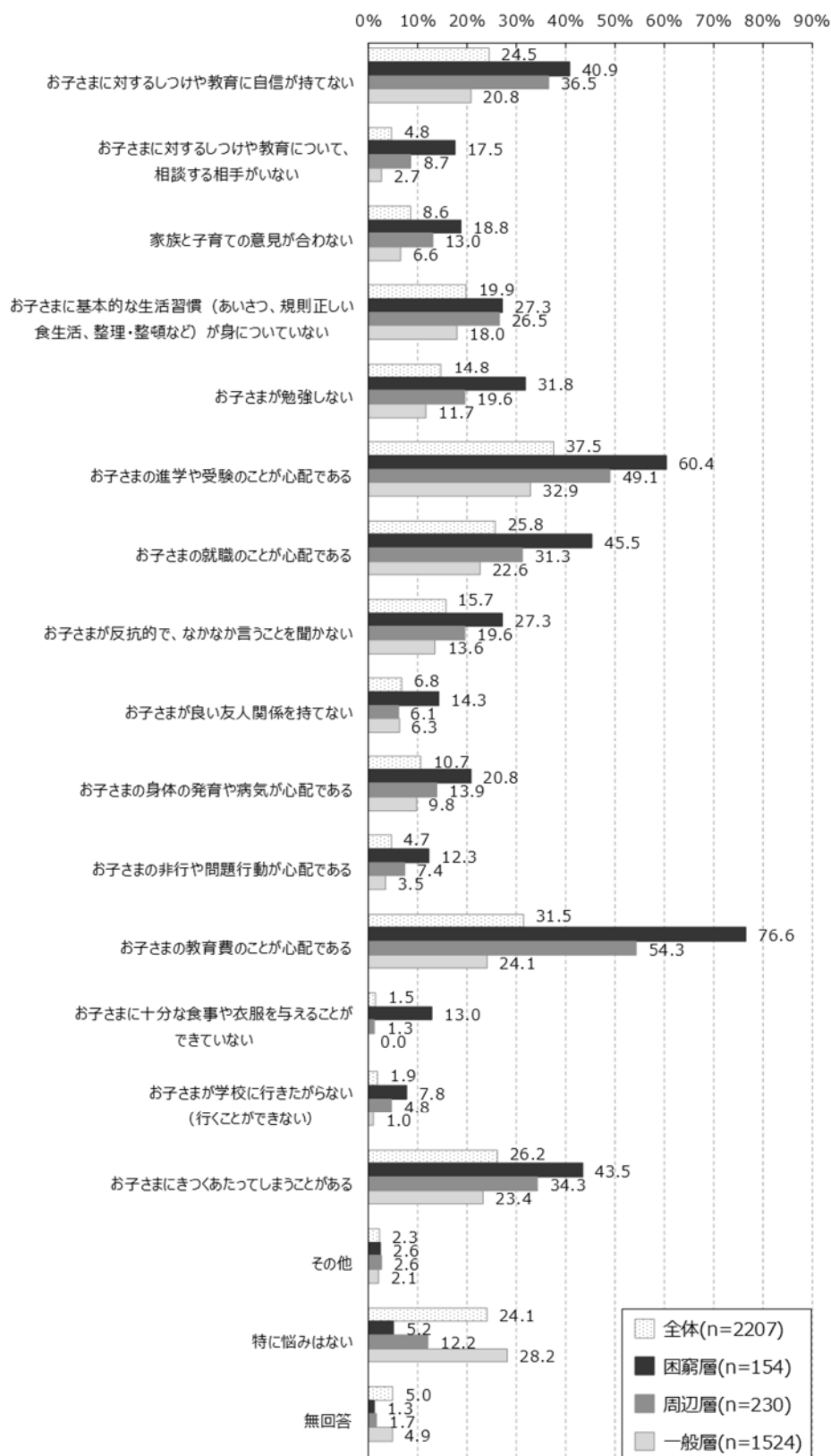
子どもに毎月お小遣いを渡しているかについて、「経済的にできない」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で 48.7%、周辺層で 14.3%、一般層で 1.2%、中学2年生の困窮層で 44.8%、周辺層で 13.3%、一般層で 0.9%となっています。



子どもに関する悩みや不安／小学5年生

子どもに関する悩みや不安について、小学5年生の困窮層は「その他」と「特に悩みはない」を除く、すべての項目で周辺層、一般層より割合が高く、そのうち「お子さまの教育費のことが心配である」が最も多く76.6%、次いで「お子さまの進学や受験のことが心配である」が60.4%、「お子さまの就職のことが心配である」が45.5%、「お子さまにきつくあたってしまうことがある」が43.5%、「お子さまに対するしつけや教育に自信が持てない」が40.9%となっています。

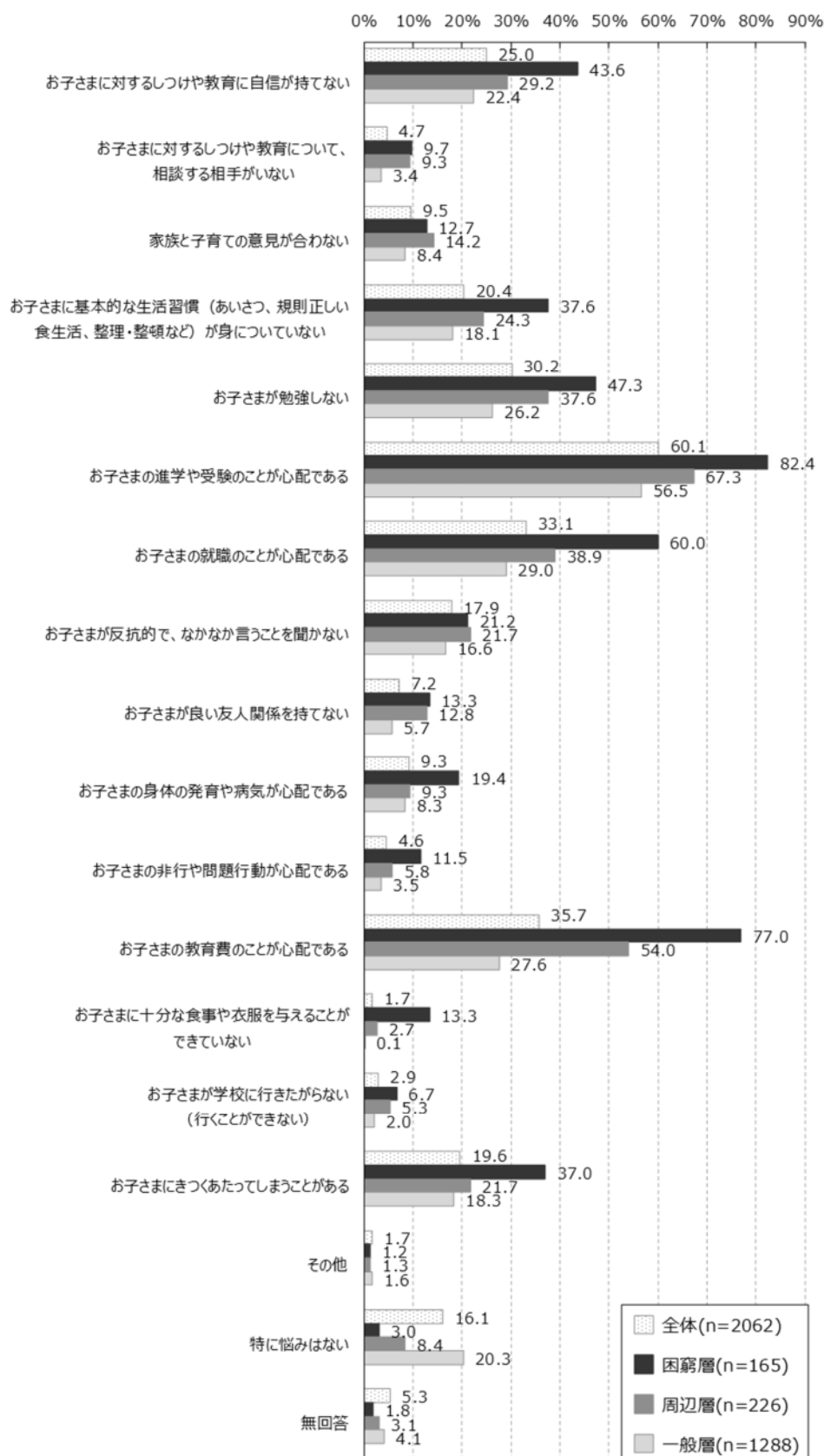
小学5年生



子どもに関する悩みや不安／中学2年生

子どもに関する悩みや不安について、中学2年生の困窮層は「お子さまの進学や受験のことが心配である」が最も多く 82.4%、次いで「お子さまの教育費のことが心配である」が 77.0%、「お子さまの就職のことが心配である」が 60.0%、「お子さまが勉強しない」が 47.3%、「お子さまに対するしつけや教育に自信が持てない」が 43.6%となっています。

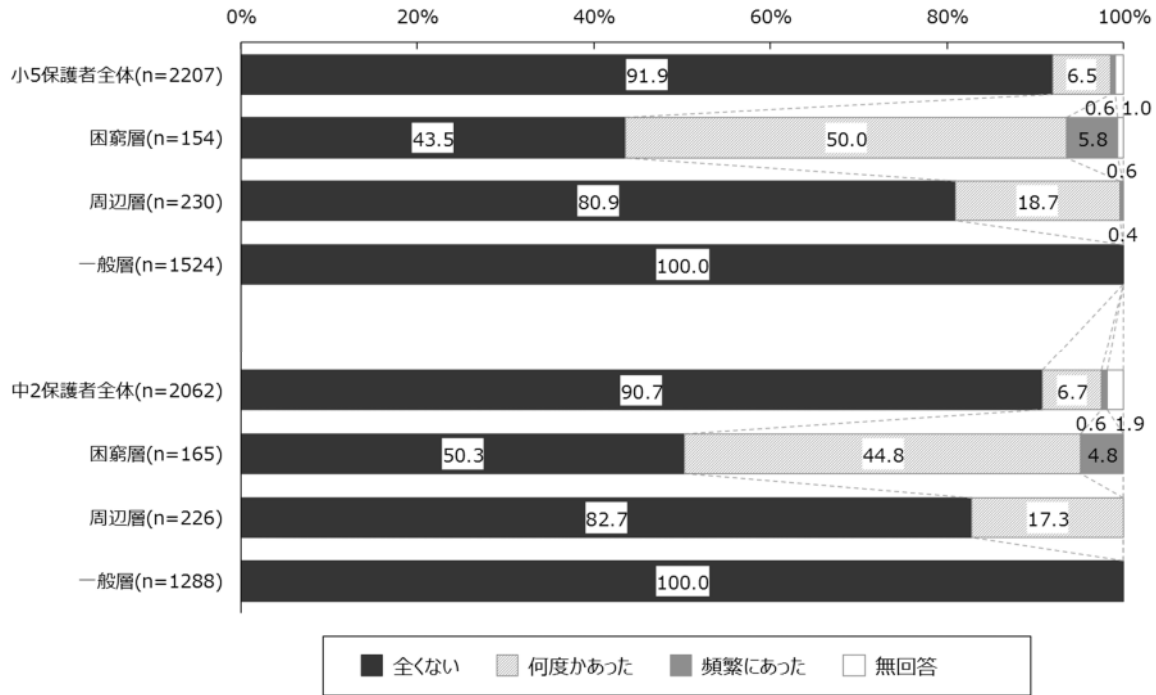
中学2年生



(4)保護者の悩み、経済状況等

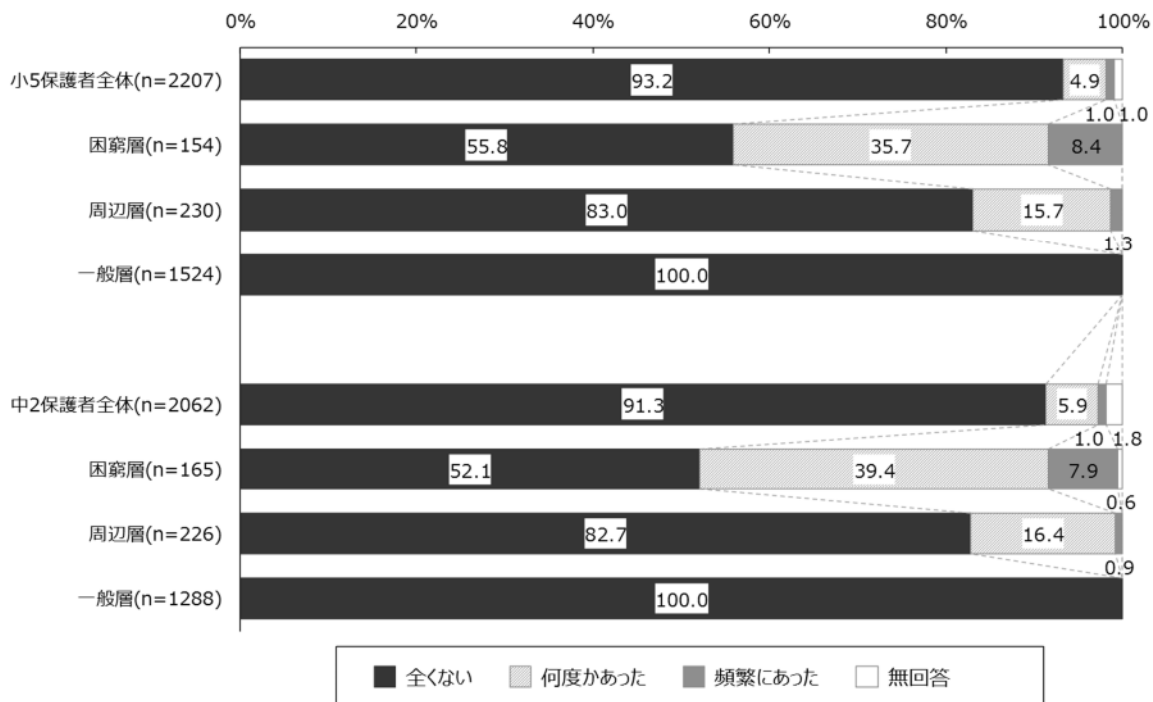
経済的な理由による経験／必要な食料が買えなかった

経済的な理由による経験(必要な食料が買えなかった)について、「何度かあった」と「頻繁にあった」を合わせた『あった』と回答した割合は、小学5年生の困窮層で 55.8%、周辺層で 19.1%、中学2年生の困窮層で 49.6%、周辺層で 17.3%となっています。



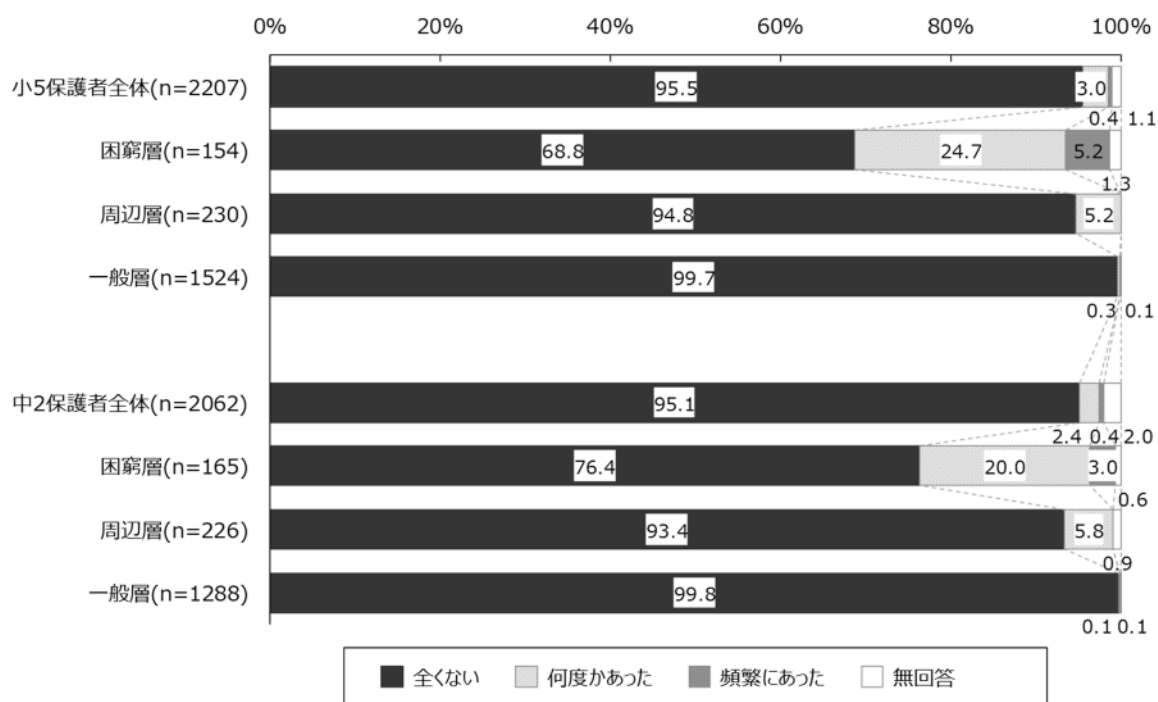
経済的な理由による経験／電気・ガス・水道料金を滞納した

経済的な理由による経験(電気・ガス・水道料金を滞納した)について、「何度かあった」と「頻繁にあった」を合わせた『あった』と回答した割合は、小学5年生の困窮層で 44.1%、周辺層で 17.0%、中学2年生の困窮層で 47.3%、周辺層で 17.3%となっています。



経済的な理由による経験／学用品が買えなかった

経済的な理由による経験(学用品が買えなかった)について、「何度かあった」と「頻繁にあった」を合わせた『あった』と回答した割合は、小学5年生の困窮層で 29.9%、周辺層で 5.2%、一般層で 0.3%、中学2年生の困窮層で 23.0%、周辺層で 5.8%、一般層で 0.1%となっています。

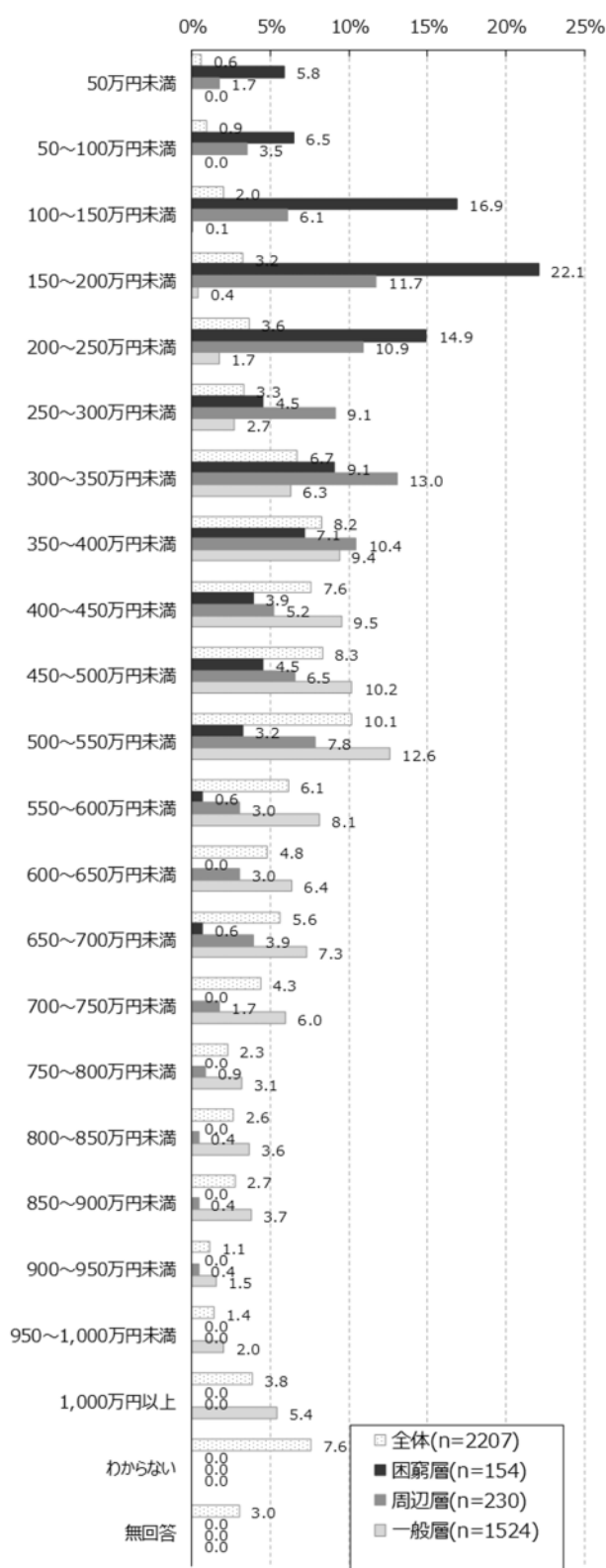


世帯収入

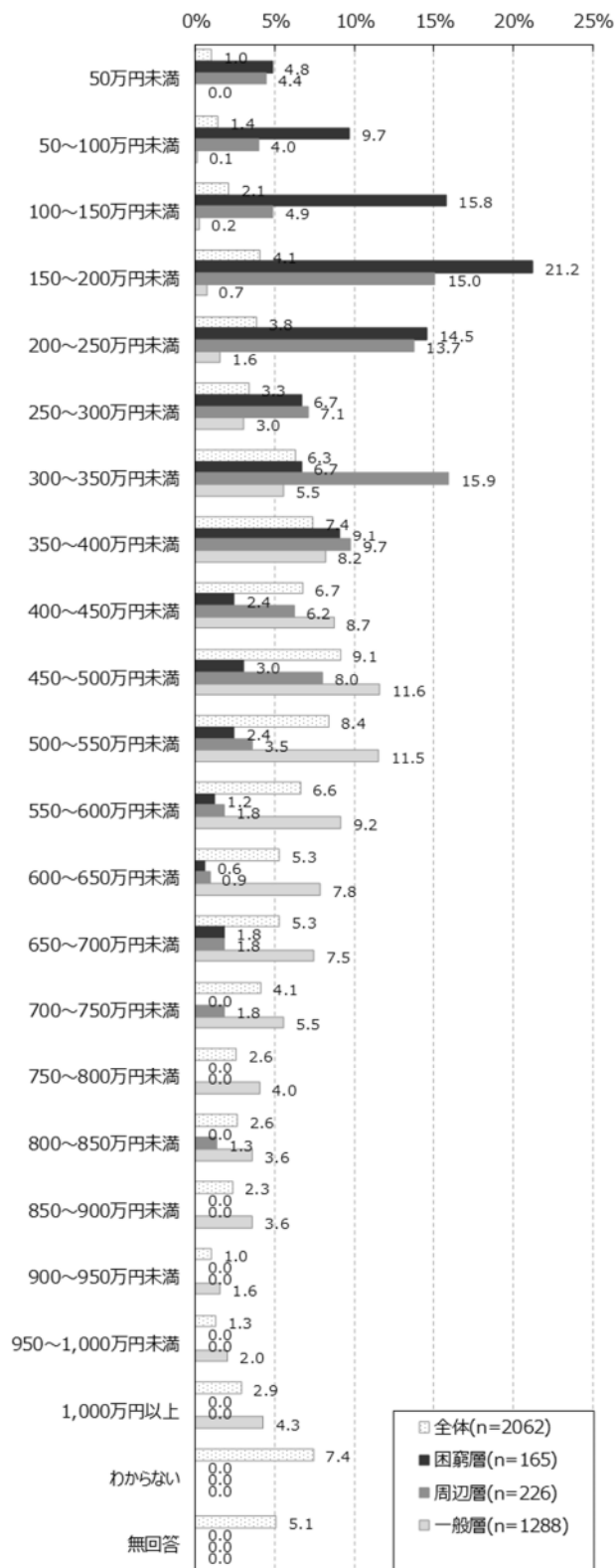
世帯収入について、小学5年生の困窮層は「150～200万円未満」が最も多く22.1%、次いで「100～150万円未満」が16.9%、「200～250万円未満」が14.9%となっています。

また、中学2年生の困窮層は「150～200万円未満」が最も多く21.2%、次いで「100～150万円未満」が15.8%、「200～250万円未満」が14.5%となっています。

小学5年生



中学2年生

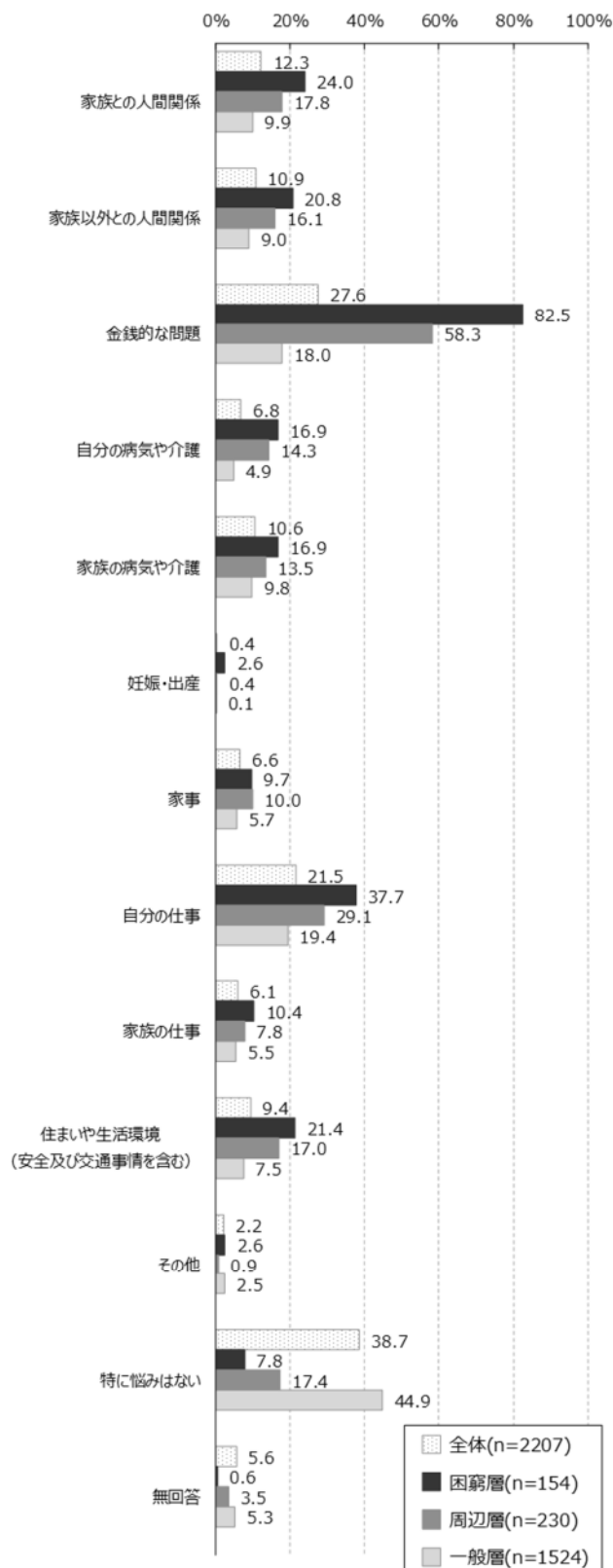


子どもに関すること以外の心配や悩み事

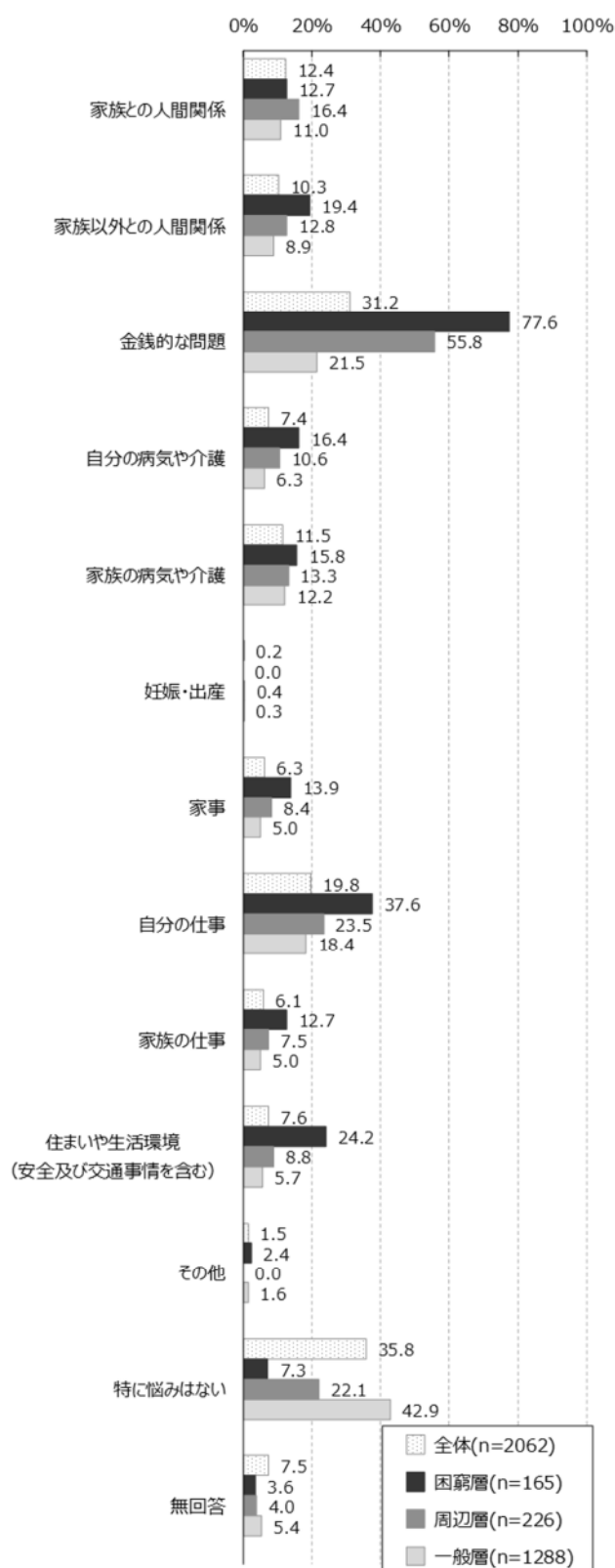
子どもに関すること以外の心配や悩み事について、小学5年生の困窮層は「金銭的な問題」が最も多く82.5%、次いで「自分の仕事」が37.7%、「家族との人間関係」が24.0%となっています。

中学2年生の困窮層は「金銭的な問題」が最も多く77.6%、次いで「自分の仕事」が37.6%、「住まいや生活環境(安全及び交通事情を含む)」が24.2%となっています。

小学5年生

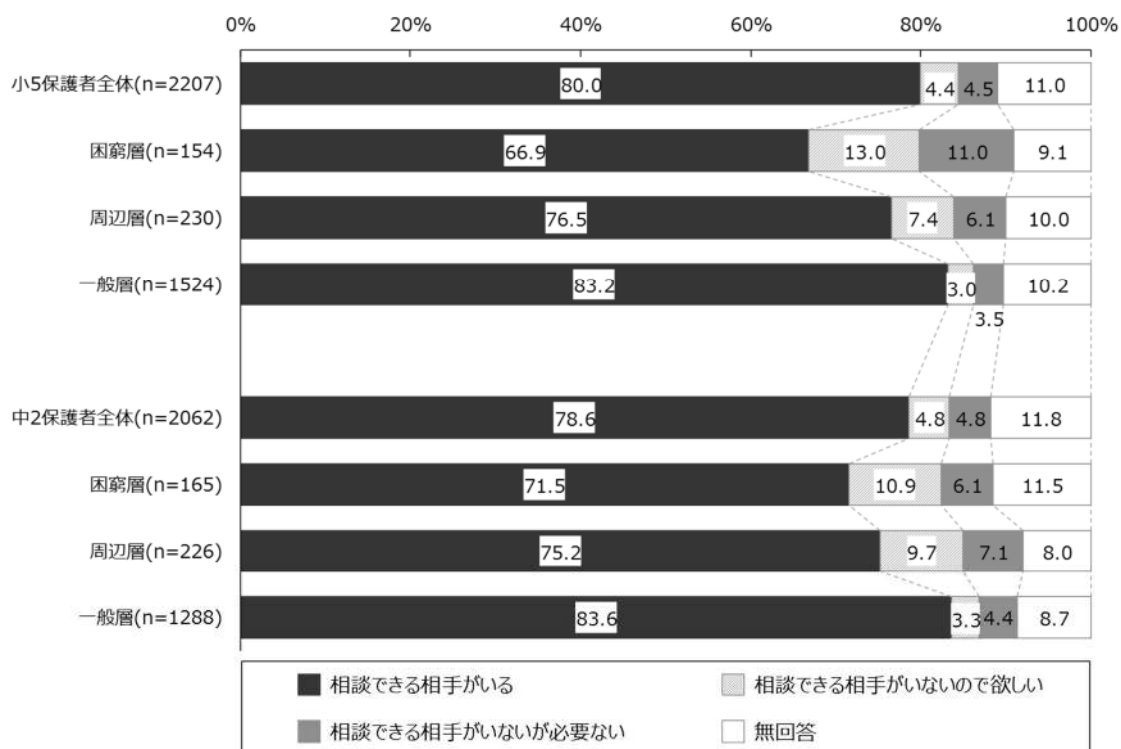


中学2年生



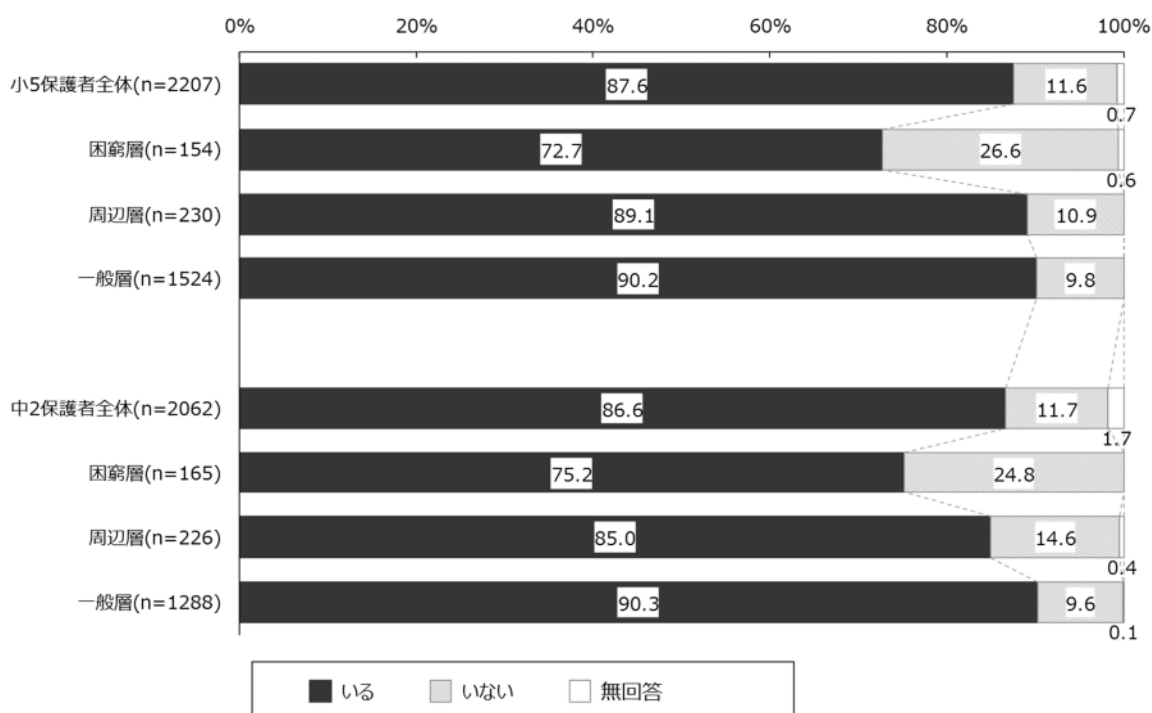
相談相手の有無

相談相手の有無について、「相談できる相手がいる」の回答では、小学5年生の困窮層は一般層より 15 ポイント以上下回っており、中学2年生の困窮層は一般層より 10 ポイント以上下回っています。



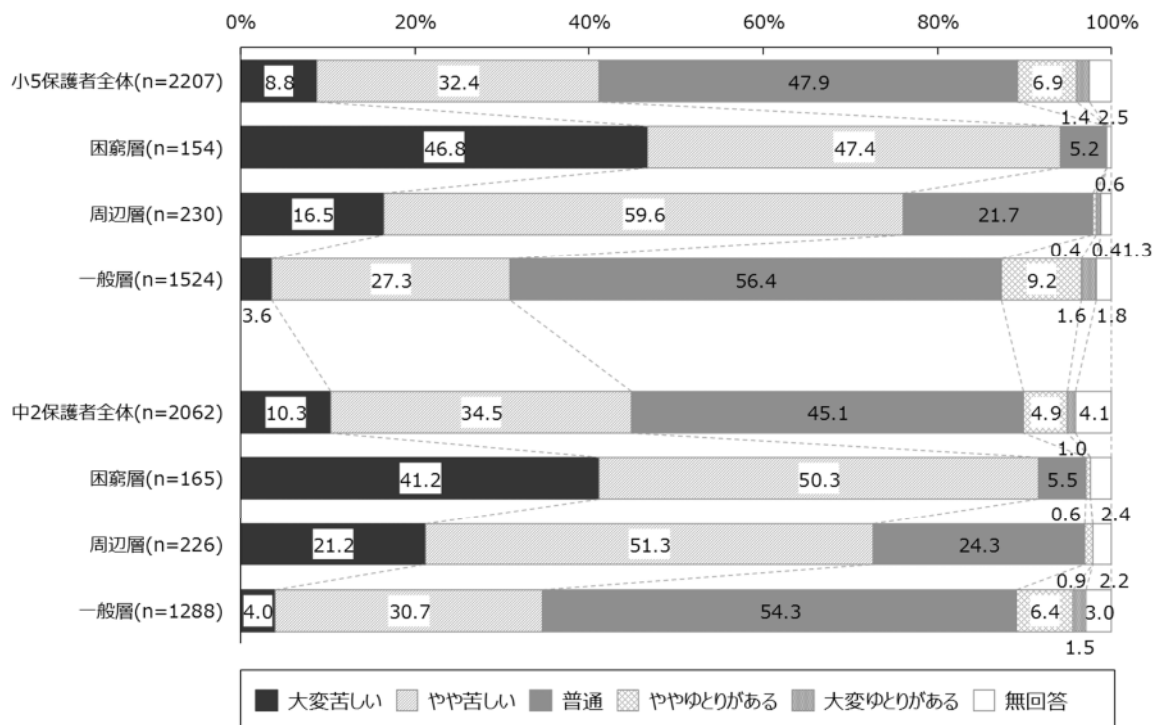
子どもの病気や用事のときなどに頼れる親族や友人の有無

子どもの病気や用事のときなどに頼れる親族や友人の有無について、「いない」の回答では、小学5年生の困窮層は一般層より 15 ポイント以上上回っており、中学2年生の困窮層は一般層より 15 ポイントほど上回っています。



現在の暮らしの状況

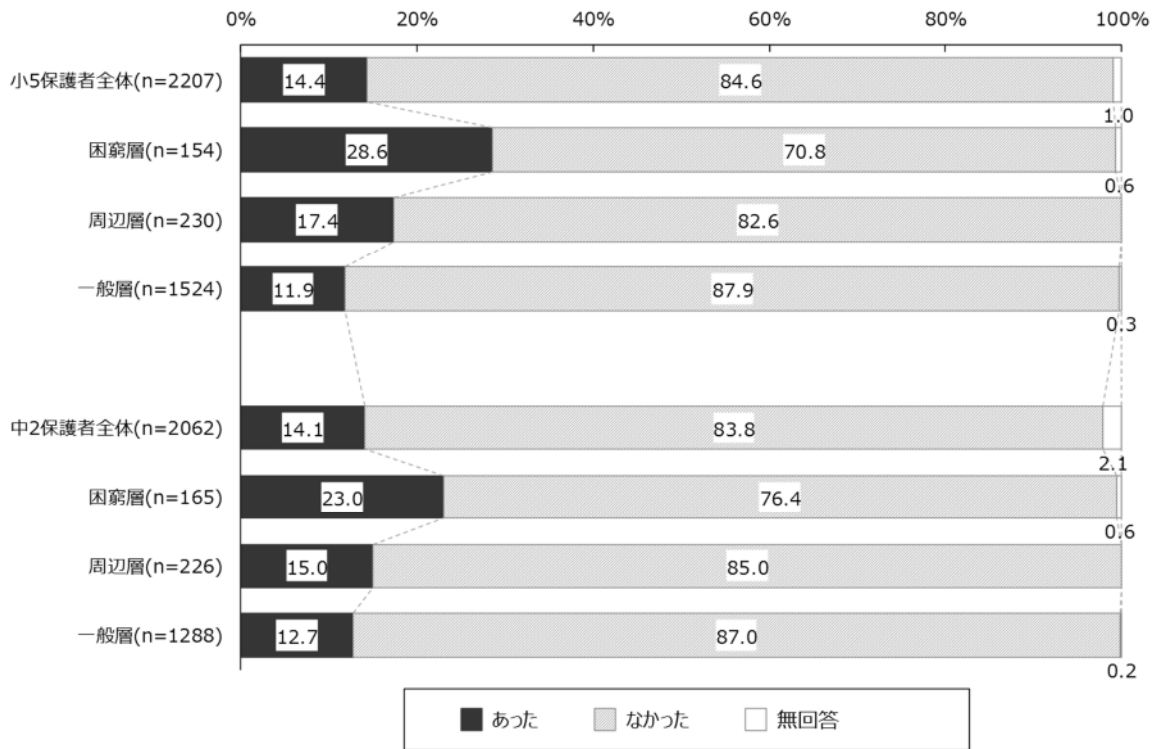
現在の暮らしの状況について、「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせた『苦しい』と回答した割合において、小学5年生と中学2年生の困窮層は多数を占め、一般層より55～60ポイント以上上回っており、小学5年生と中学2年生の周辺層は一般層より35～45ポイント以上上回っています。



(5)医療・サービス・支援

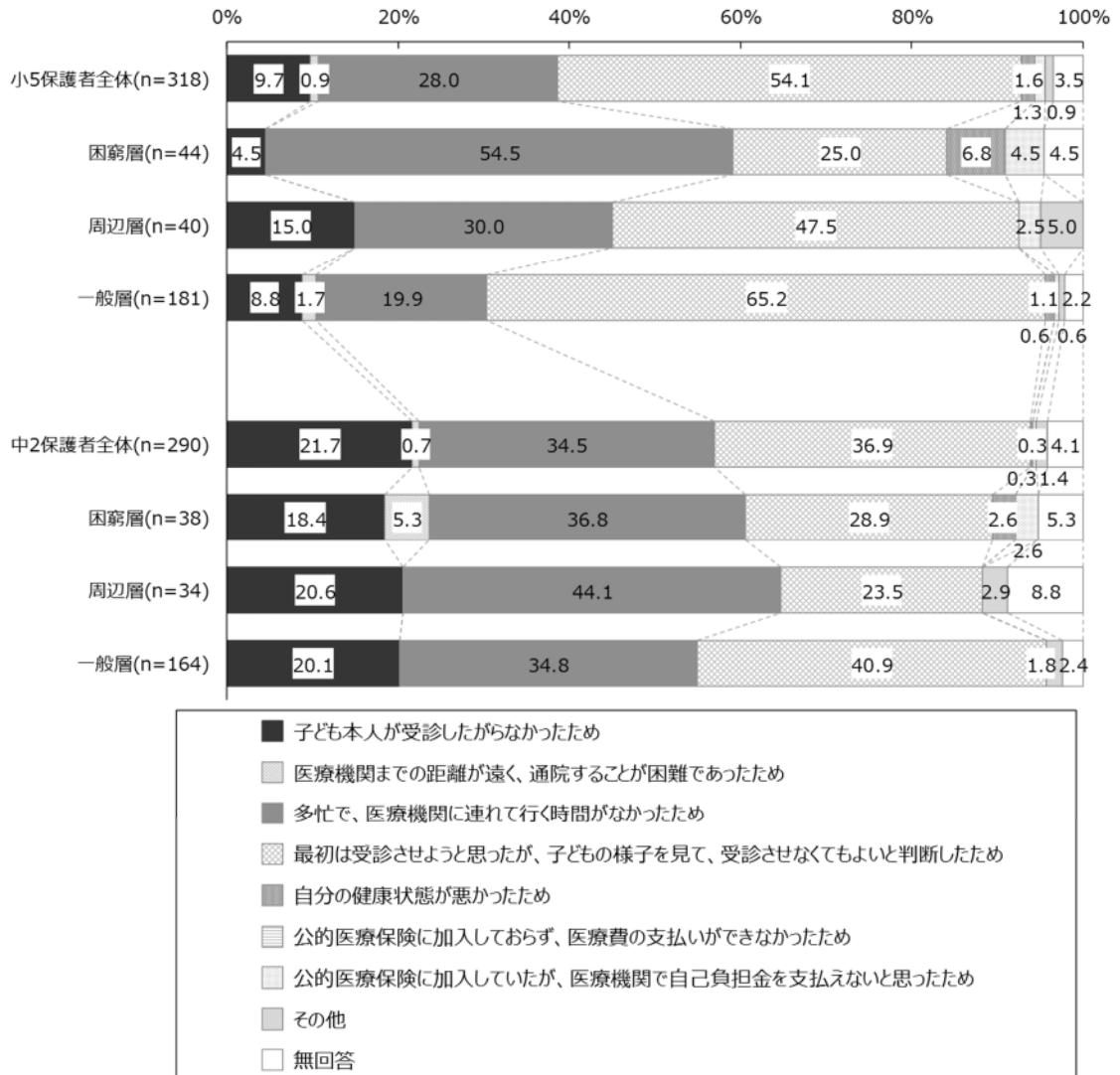
過去1年間に子どもを医療機関で受診させなかった経験

過去1年間に子どもを医療機関で受診させなかった経験について、「あった」の回答では、小学5年生の困窮層は一般層より15ポイント以上上回っており、中学2年生の困窮層は一般層より10ポイントほど上回っています。



医療機関で受診させなかった理由

過去1年間に子どもを医療機関で受診させなかった理由について、「多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため」の回答では、小学5年生の困窮層は一般層より 30 ポイント以上、周辺層は一般層より 10 ポイントほど上回っています。

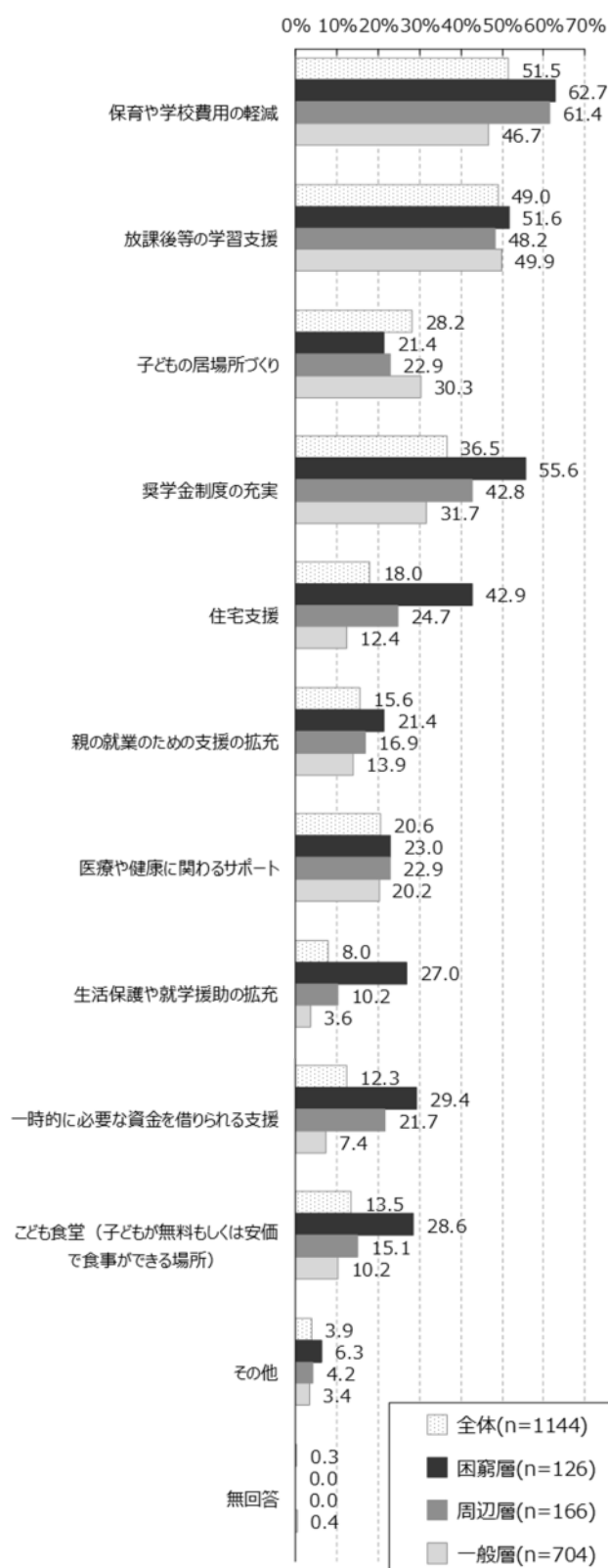


必要だと思う支援

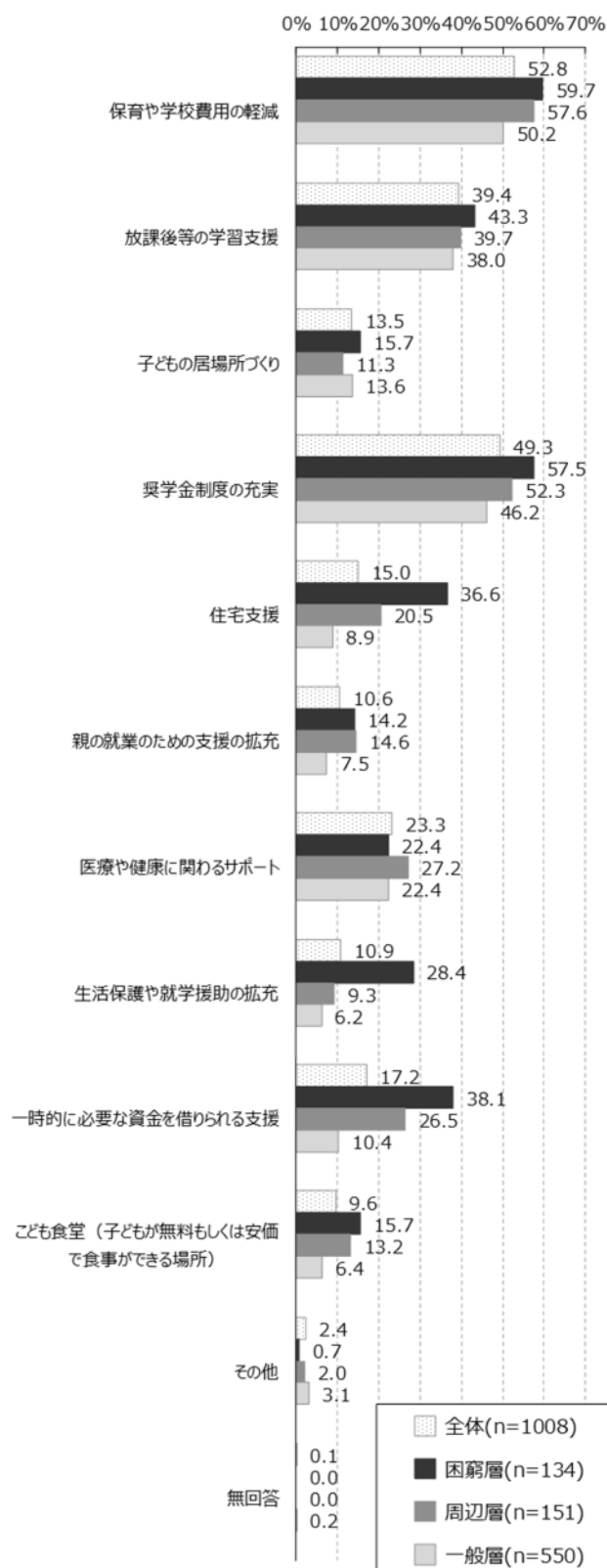
必要だと思う支援について、小学5年生の困窮層は「保育や学校費用の軽減」が最も多く 62.7%、次いで「奨学金制度の充実」が 55.6%、「放課後等の学習支援」が 51.6%となっています。

中学2年生の困窮層は「保育や学校費用の軽減」が最も多く 59.7%、次いで「奨学金制度の充実」が 57.5%、「放課後等の学習支援」が 43.3%となっています。

小学5年生



中学2年生

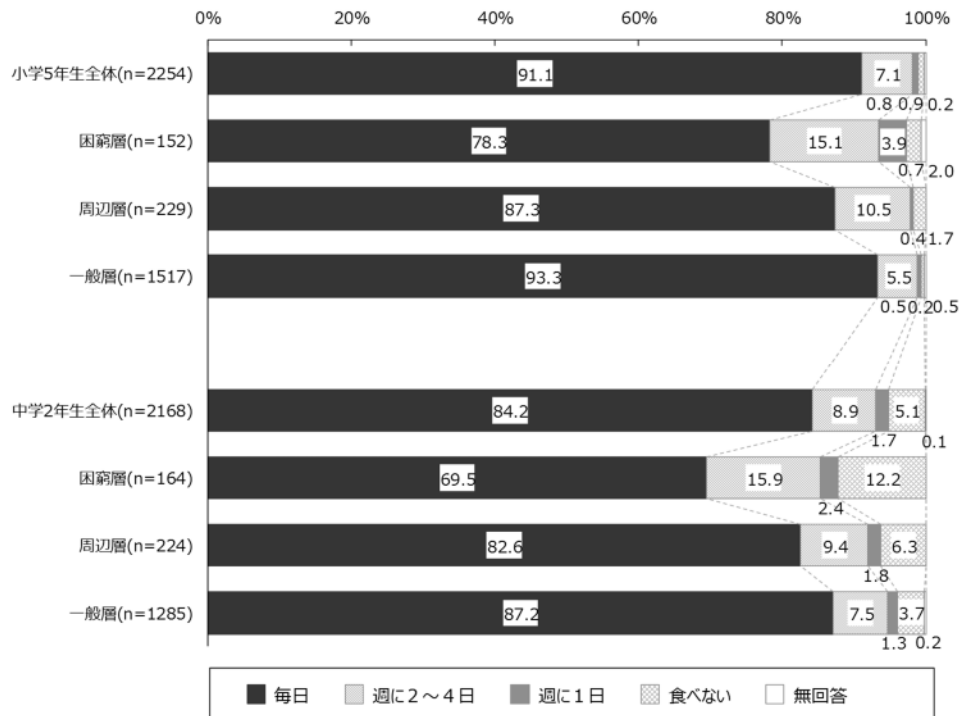


4 子ども票

(1)生活習慣

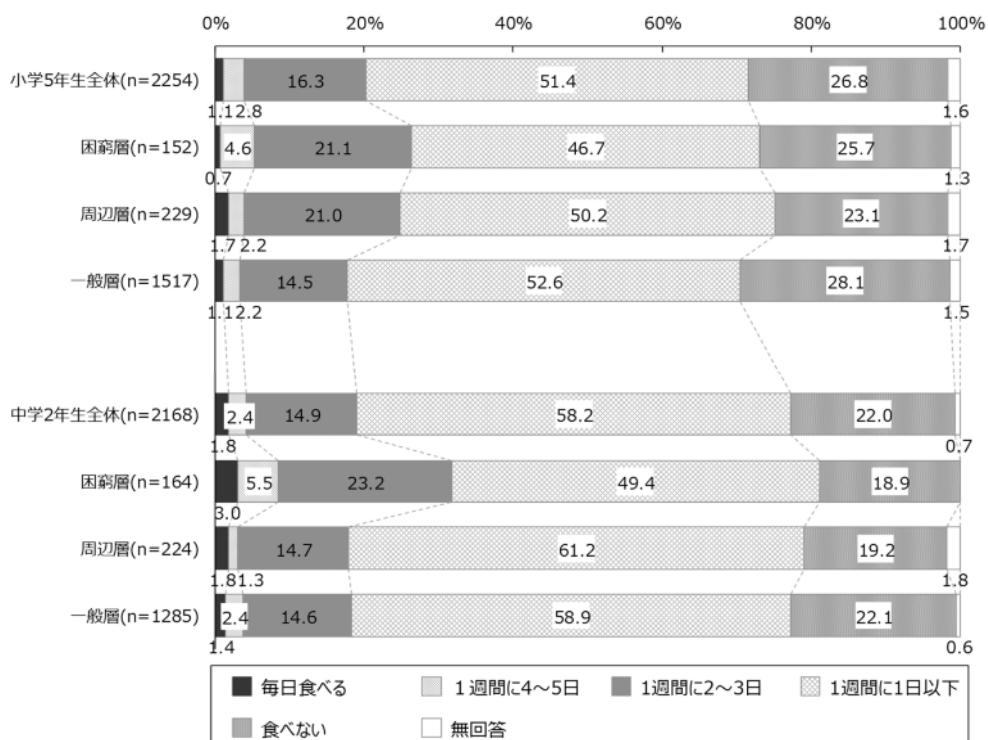
平日に朝食を食べる頻度

平日に朝食を食べる頻度について、「毎日」の回答では、小学5年生と中学2年生の困窮層は一般層より15ポイント以上下回っています。



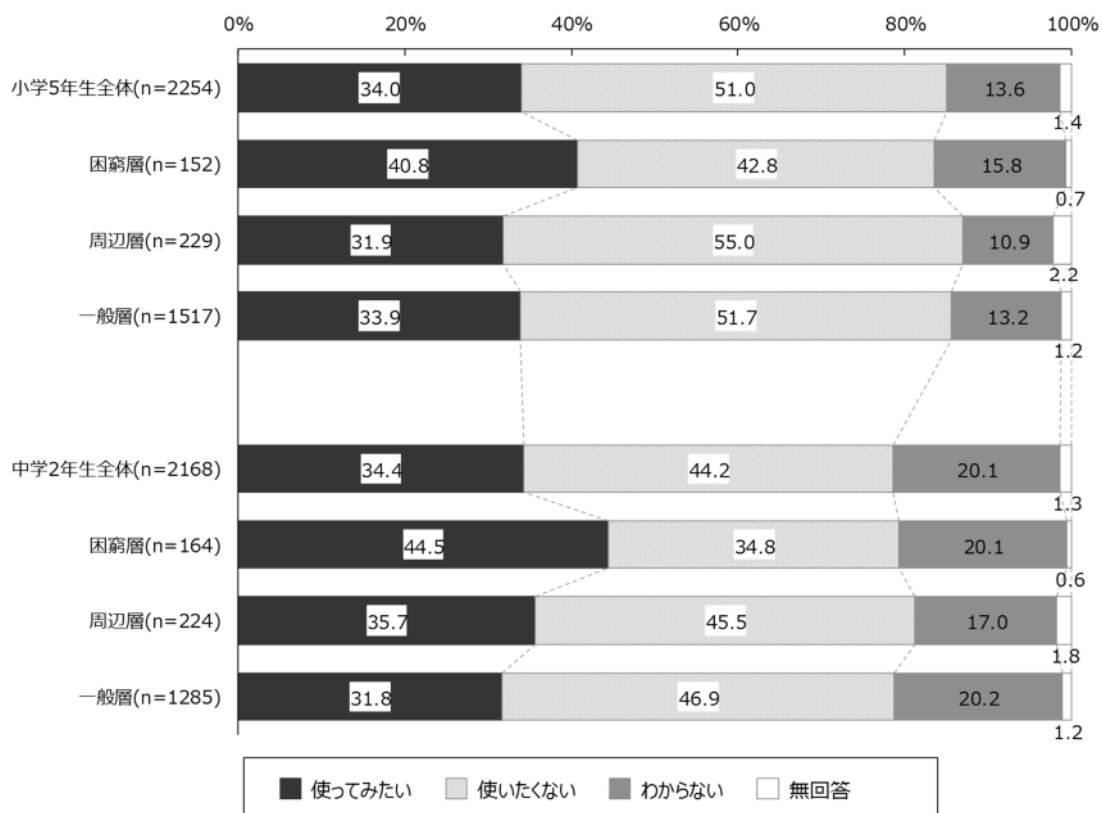
カップめん・インスタントめんの摂食頻度

カップめん・インスタントめんの摂食頻度について、「1週間に1日以下」の回答では、中学2年生の困窮層は一般層より10ポイント近く下回っています。



家の人がないとき、夕ご飯を食べることができる場所の利用希望

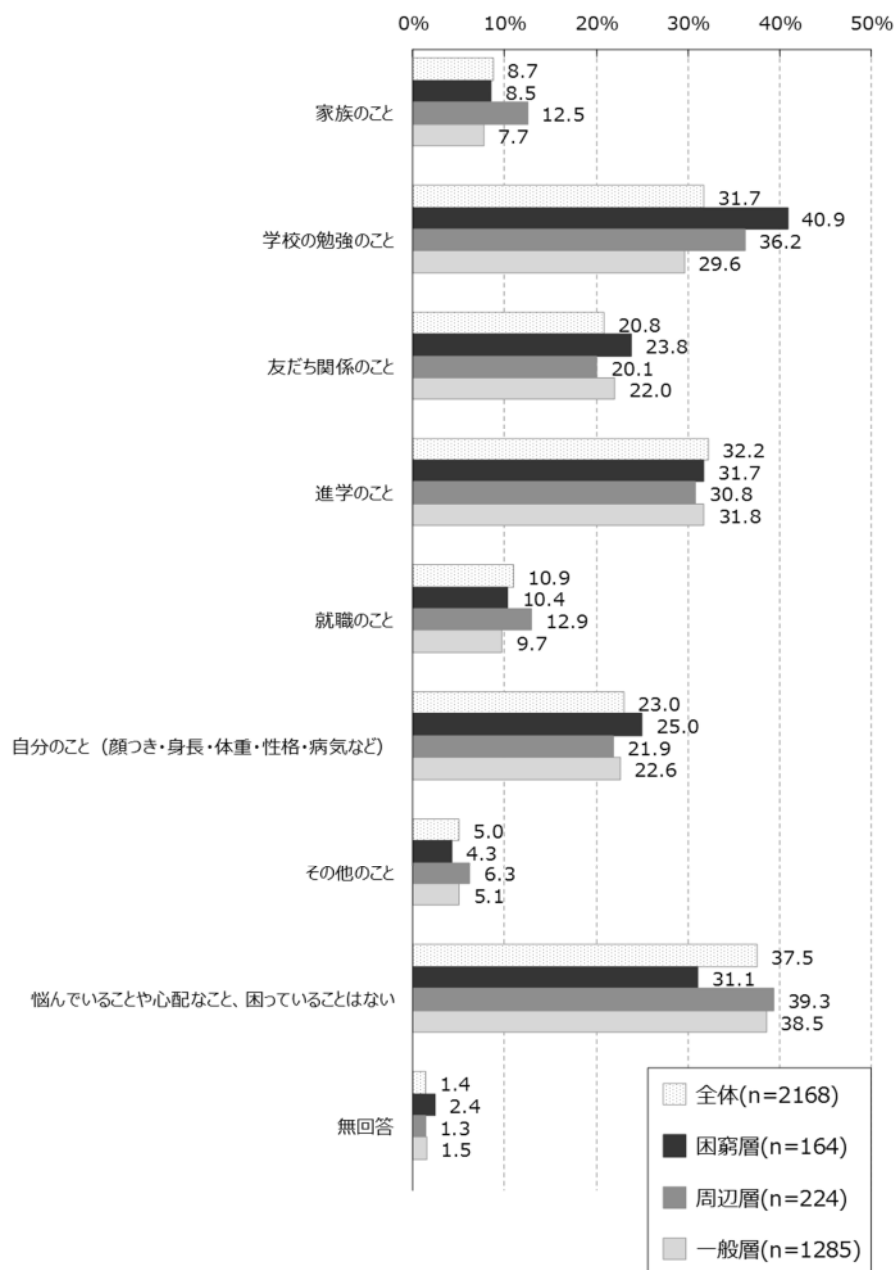
家の人がないとき、夕ご飯を食べることができる場所の利用希望について、「使ってみたい」の回答では、中学2年生の困窮層は一般層より10ポイント以上上回っています。



相談したいと思っていること

相談したいと思っていることについて、「学校の勉強のこと」の回答では、中学2年生の困窮層は一般層より10ポイント以上上回っています。

中学2年生

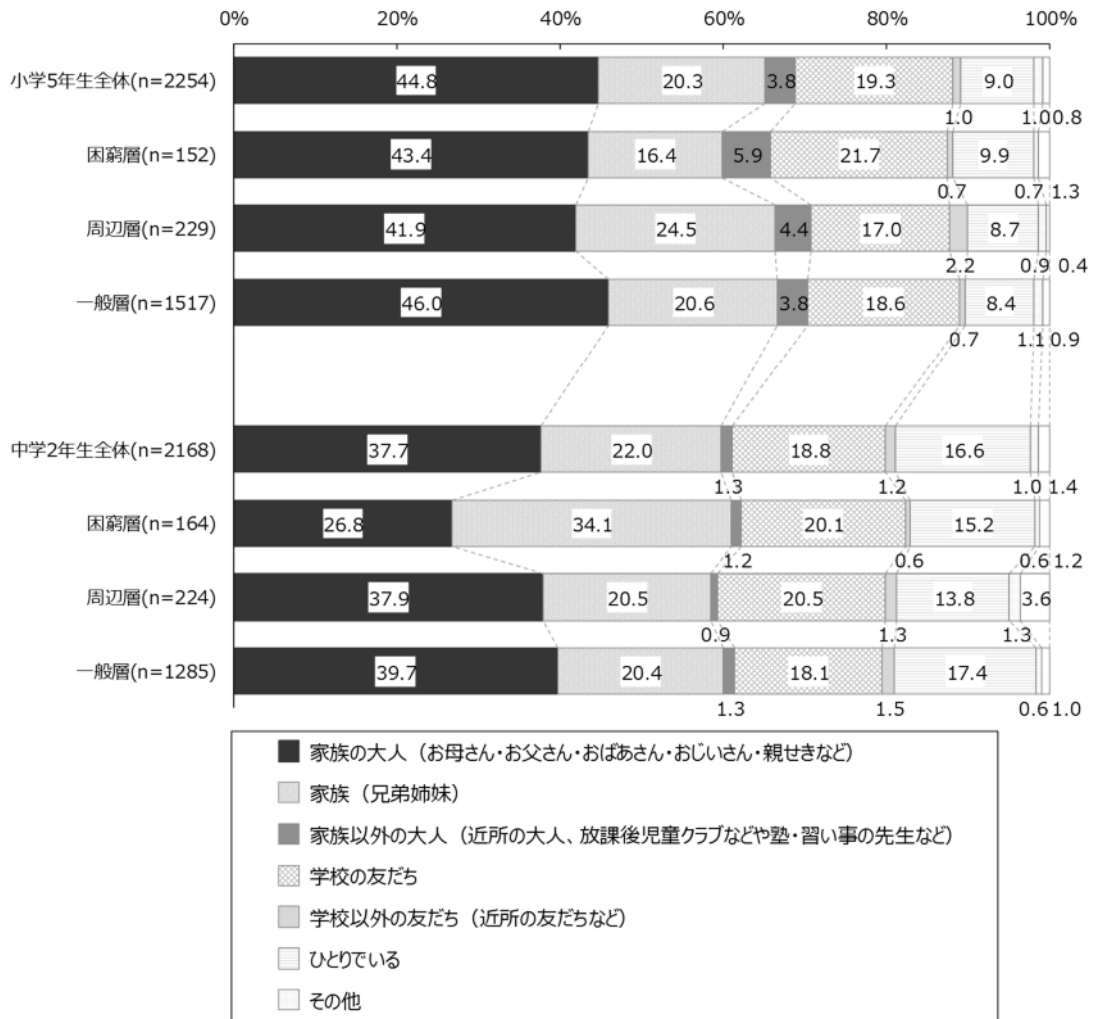


(2)ふだんの過ごし方や感じていること

放課後にいっしょに過ごすことが多い人

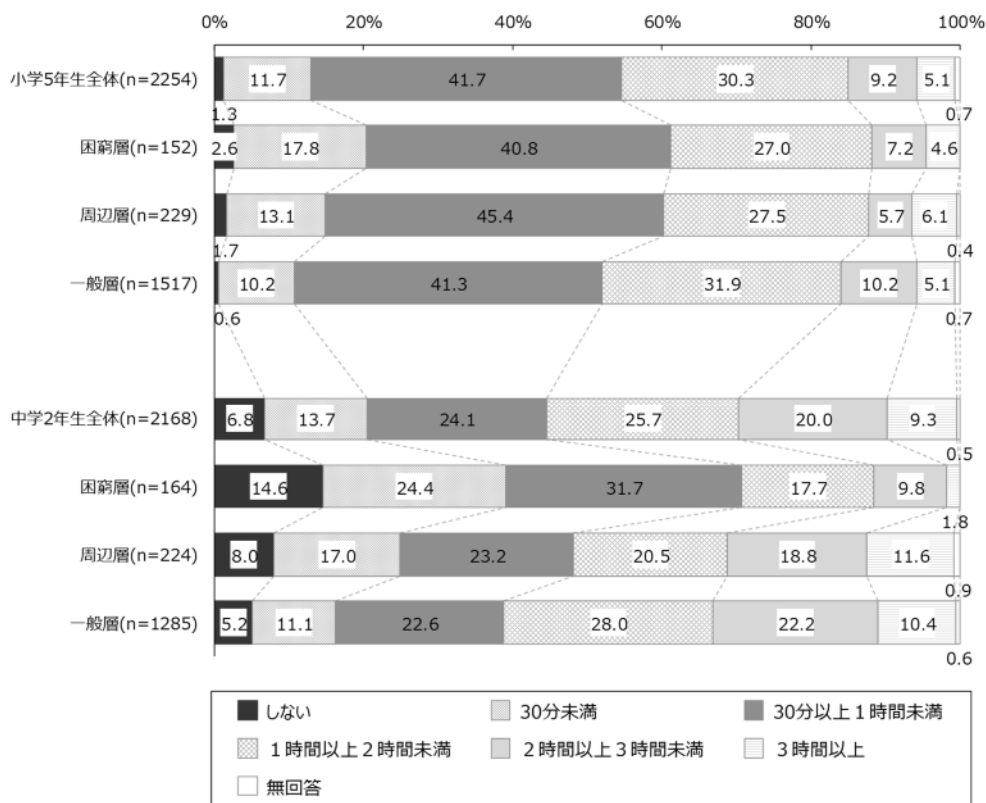
放課後にいっしょに過ごすことが多い人について、「家族の大人(お母さん・お父さん・おばあさん・おじいさん・親せきなど)」の回答では、中学2年生の困窮層は一般層より10ポイント以上下回っています。

また、「家族(兄弟姉妹)」の回答では、中学2年生の困窮層は一般層より10ポイント以上上回っています。



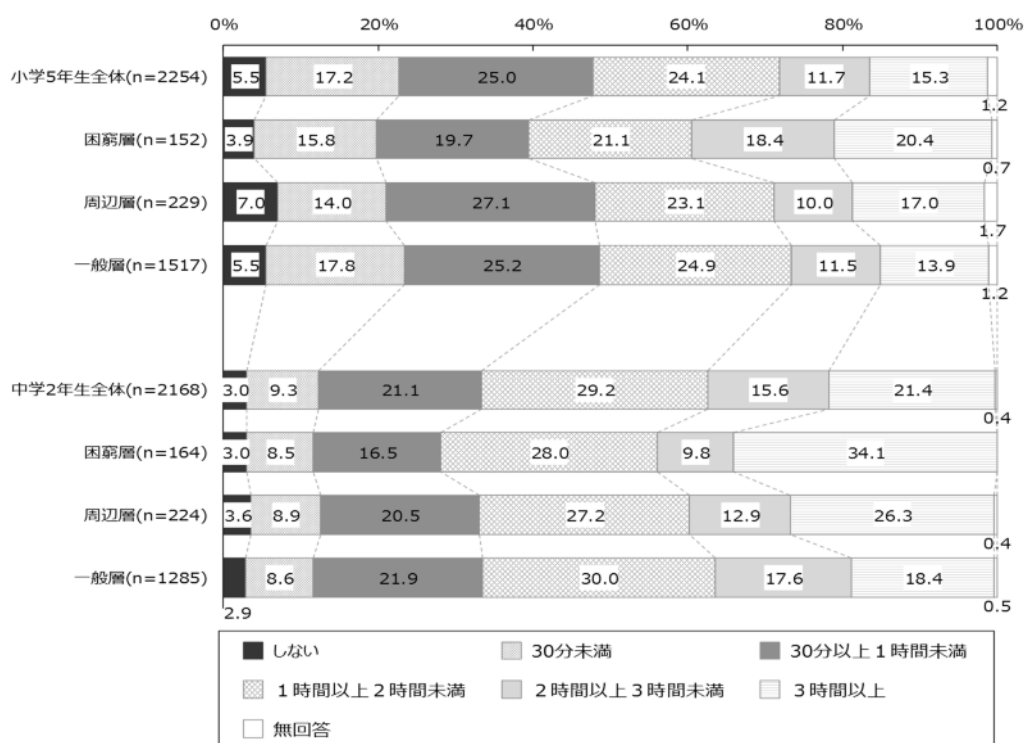
平日の放課後の時間に勉強や宿題をする（塾等をふくむ）時間

平日の放課後の時間に勉強や宿題をする（塾等をふくむ）時間について、「30分未満」の回答では、中学2年生の困窮層は一般層より10ポイント以上上回っています。



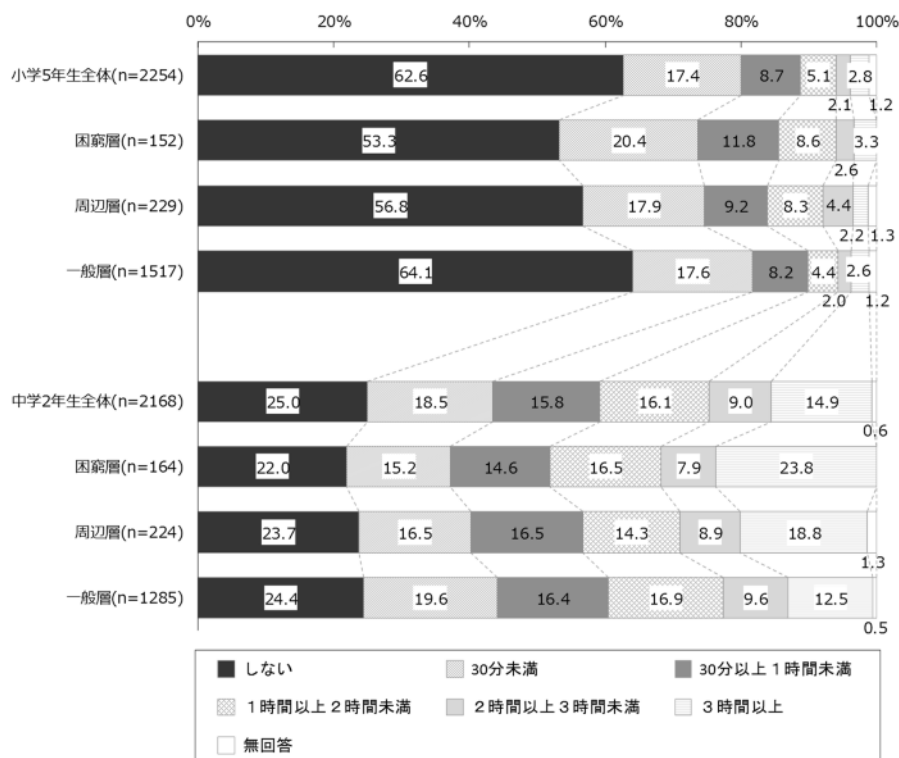
平日の放課後の時間にテレビやDVD、インターネットの動画を見る時間

平日の放課後の時間にテレビやDVD、インターネットの動画を見る時間について、「1時間以上2時間未満」と回答した割合は、中学2年生の困窮層で28.0%、周辺層で27.2%、一般層で30.0%となっています。また、「3時間以上」の回答では、中学2年生の困窮層は一般層より15ポイントほど上回っています。



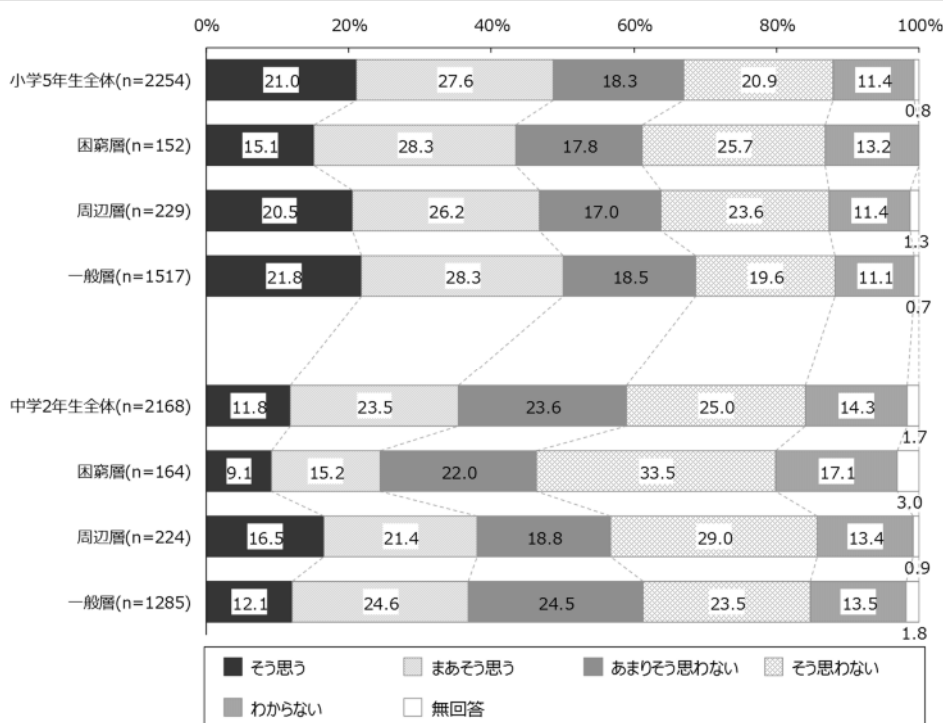
平日の放課後の時間に携帯電話、スマートフォン、パソコンなどの SNS（LINE・Twitter・Facebook など）を使う時間

平日の放課後の時間に携帯電話、スマートフォン、パソコンなどの SNS(LINE・Twitter・Facebook など)を使う時間について、「3時間以上」の回答では、中学2年生の困窮層は一般層より10ポイント以上上回っています。



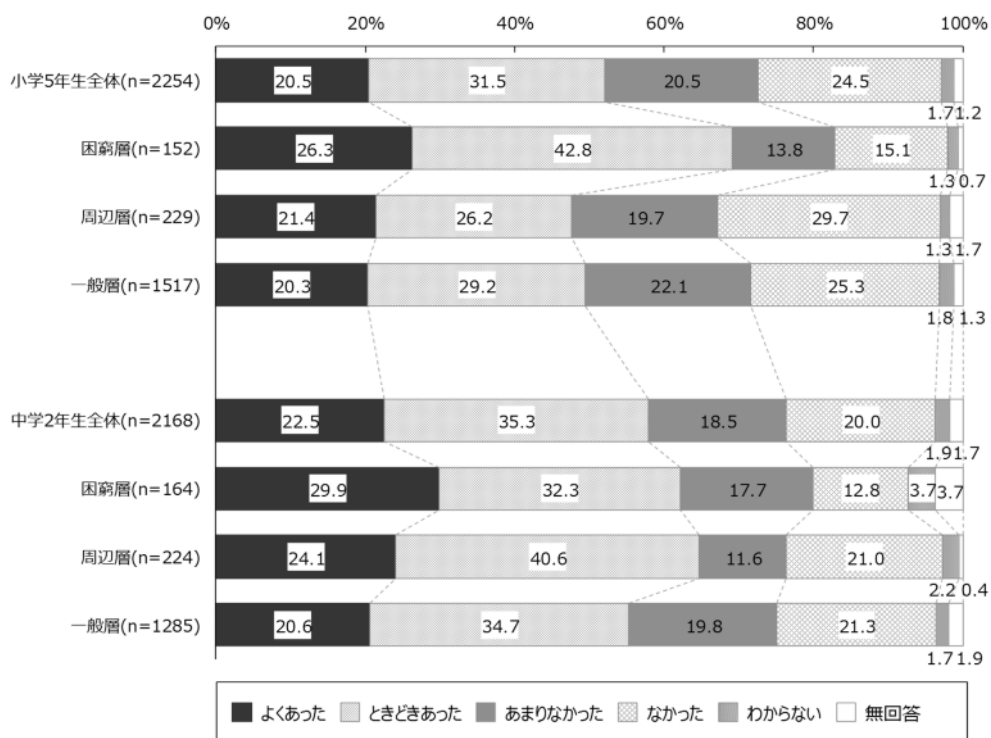
自分のことが好きだと思うか

自分のことが好きだと思うかについて、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた『思う』の回答では、中学2年生の困窮層は一般層より10ポイント以上下回っています。



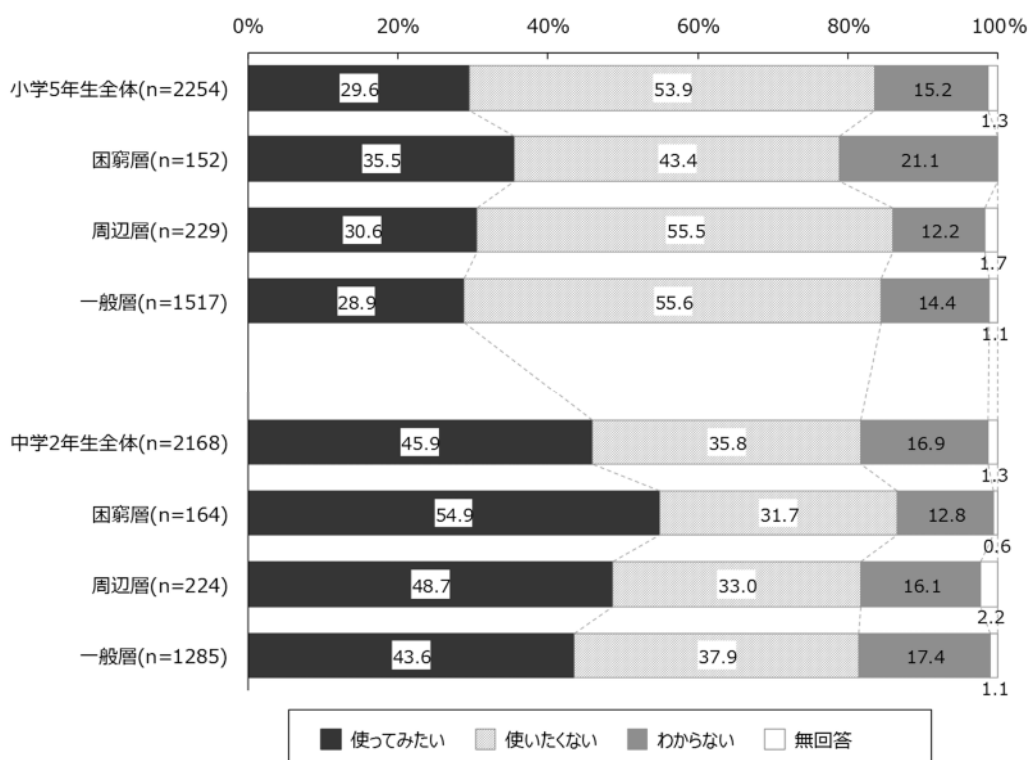
学校に行きたくないと思った経験

学校に行きたくないと思った経験について、「よくあった」と「ときどきあった」を合わせた『あった』の回答では、小学5年生の困窮層は一般層より20ポイント近く上回っています。



(家以外で) 平日の放課後に夜までいることができる場所の利用希望

(家以外で) 平日の放課後に夜までいることができる場所の利用希望について、「使ってみたい」の回答では、中学2年生の困窮層は一般層より10ポイント以上上回っています。



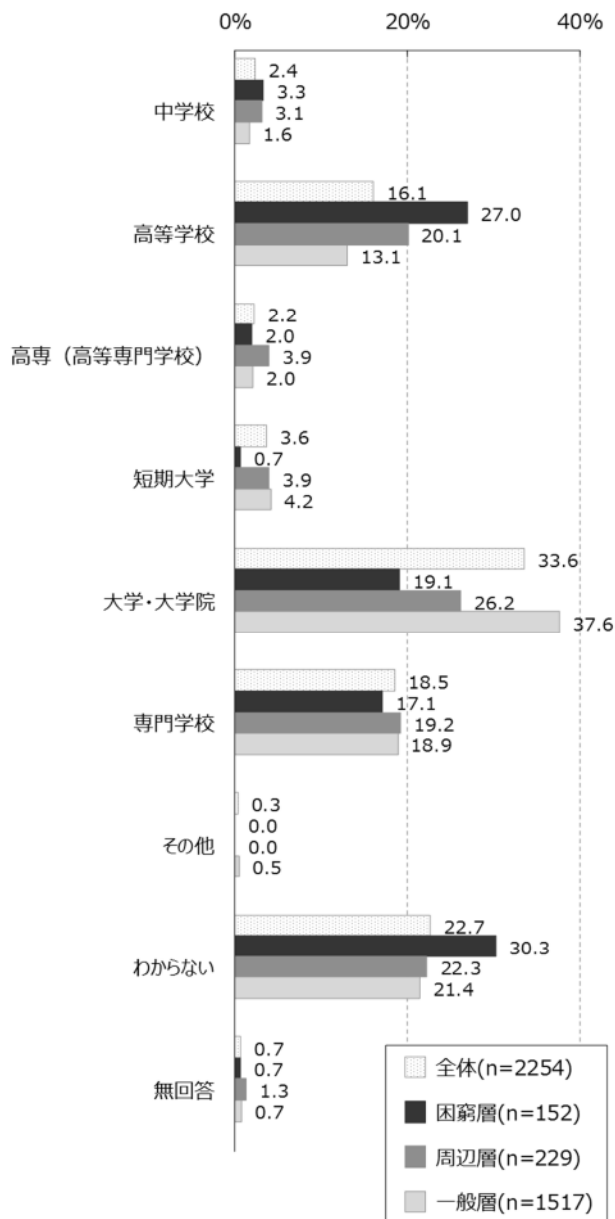
(3)教育・学習状況、進学

進学を希望する段階

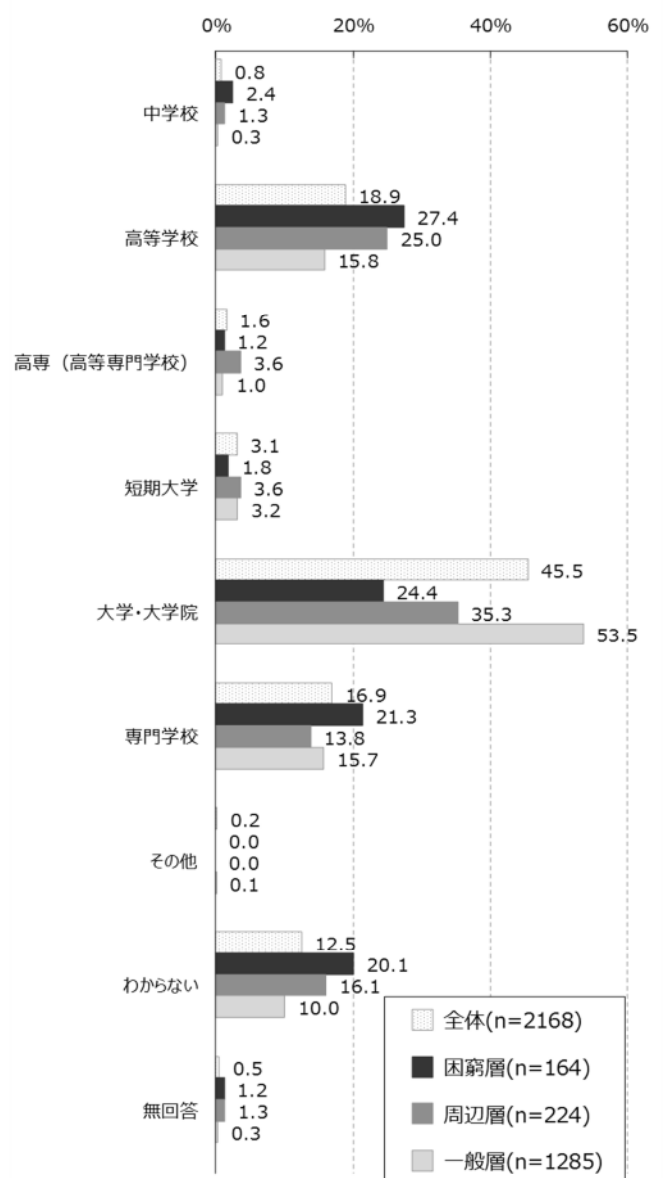
進学を希望する段階について、小学5年生の「高等学校」と回答した割合では、困窮層は一般層より10ポイント以上上回っています。また、「大学・大学院」と回答した割合では、困窮層は一般層より15ポイント以上、周辺層は一般層より10ポイント以上下回っています。

中学2年生の「高等学校」と回答した割合では、困窮層は一般層より10ポイント以上上回っています。また、「大学・大学院」と回答した割合では、困窮層は一般層より30ポイント近く、周辺層は一般層より15ポイント以上下回っています。

小学5年生



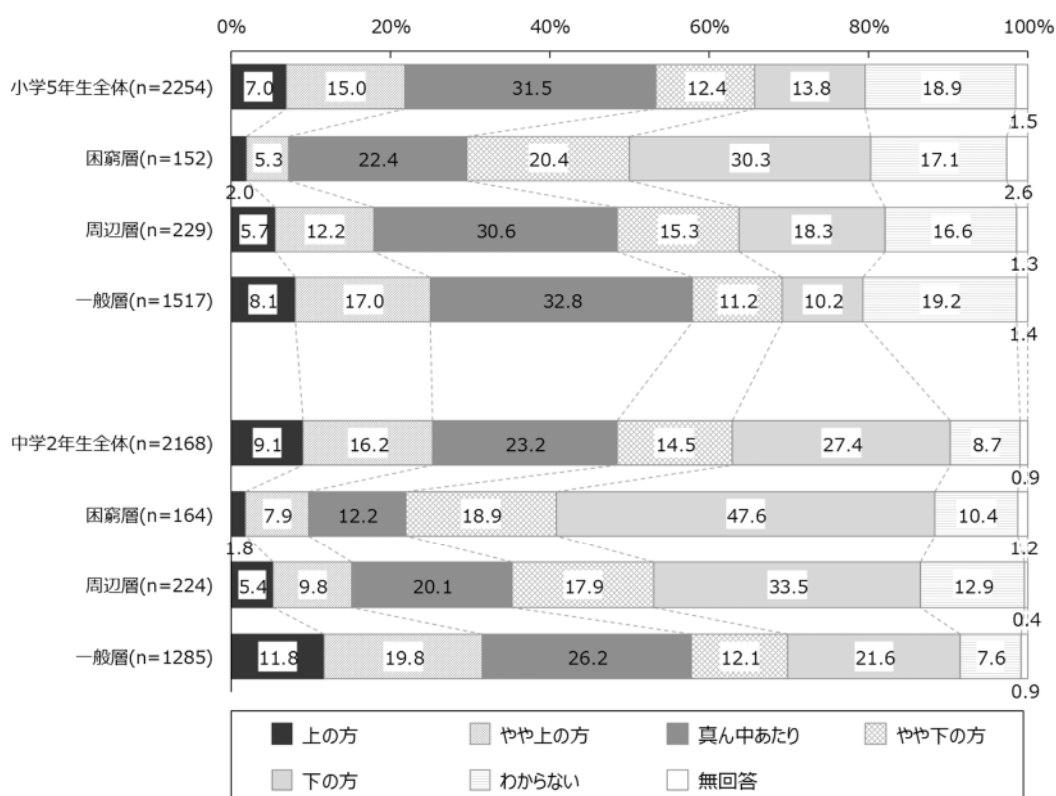
中学2年生



クラスの中での成績評価

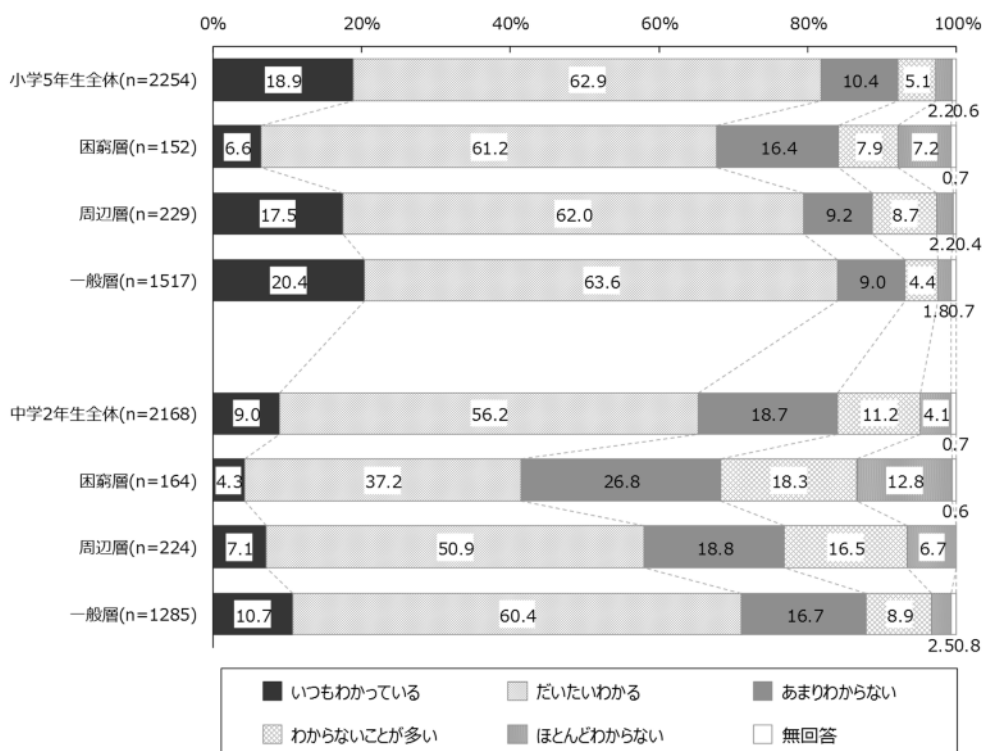
クラスの中での成績評価について、「上の方」と「やや上の方」を合わせた『上の方』と回答した割合では、小学5年生の困窮層は一般層より15ポイント以上下回っており、中学2年生の困窮層は一般層より20ポイント以上、周辺層は一般層より15ポイント以上下回っています。

「下の方」と「やや下の方」を合わせた『下の方』と回答した割合では、小学5年生の困窮層は一般層より30ポイント近く、周辺層は一般層より10ポイント以上上回っており、中学2年生の困窮層は一般層より30ポイント以上、周辺層は一般層より15ポイント以上上回っています。



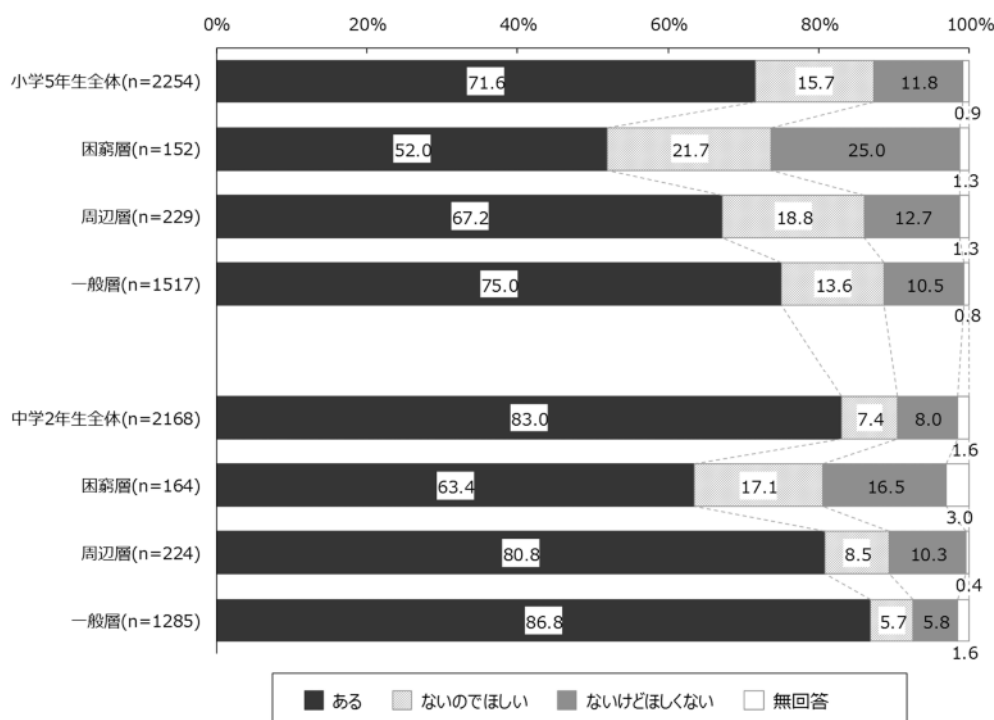
学校の授業の理解度

学校の授業の理解度について、「いつもわかっている」と「だいたいわかっている」を合わせた『わかっている』と回答した割合は、小学5年生の困窮層は一般層より 15 ポイント以上下回っており、中学2年生の困窮層は一般層より 30 ポイント近く、周辺層は一般層より 10 ポイント以上下回っています。



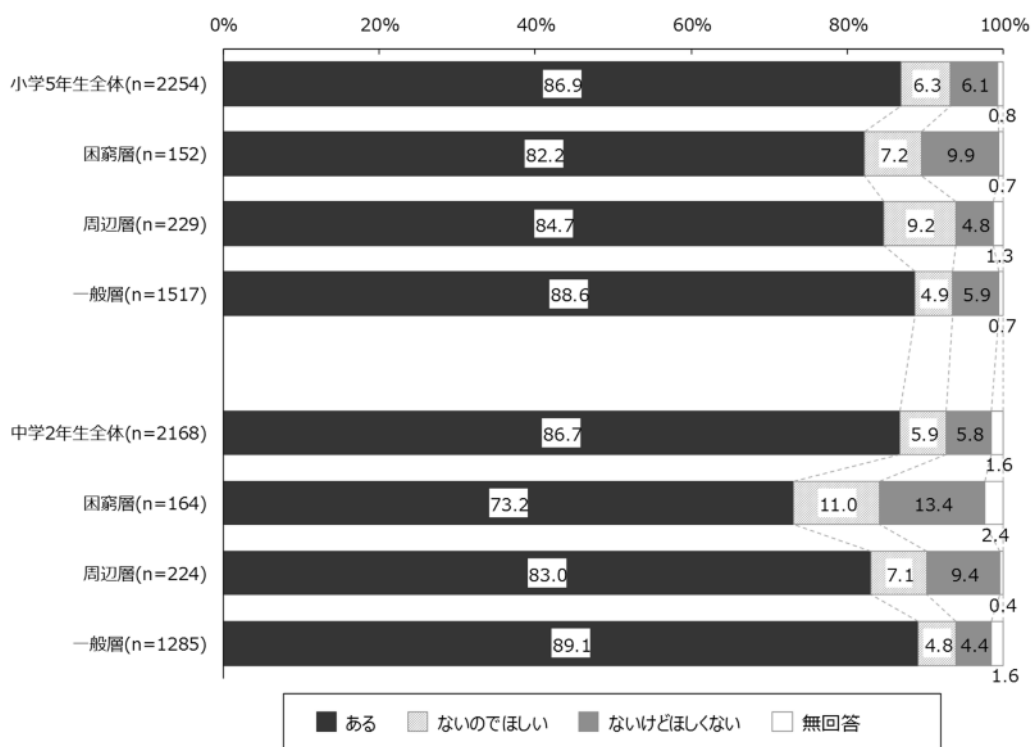
自分専用の勉強机があるか

自分専用の勉強机があるかについて、「ある」の回答では、小学5年生と中学2年生の困窮層は一般層より 20 ポイント以上下回っています。



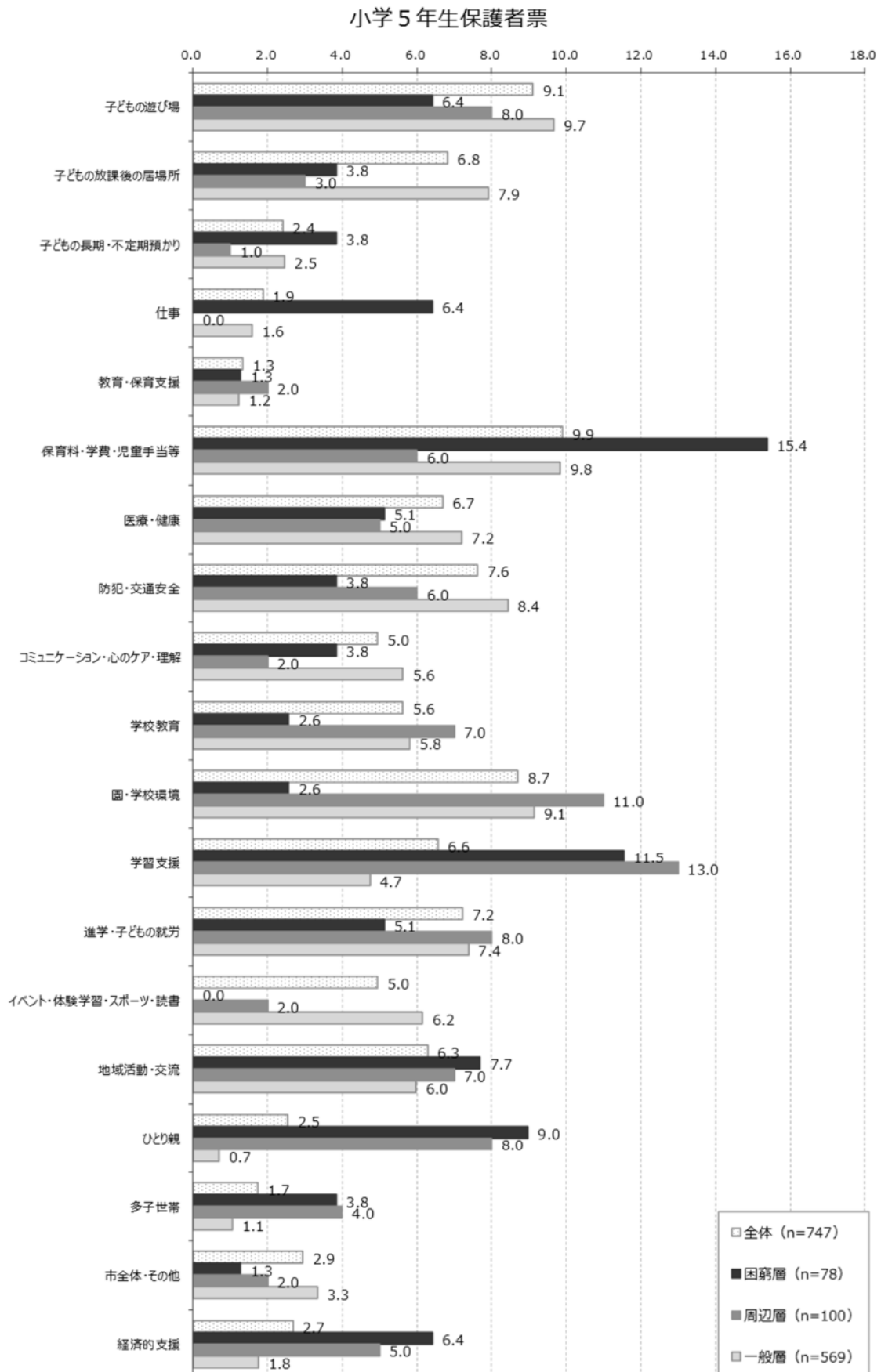
自宅で勉強をすることができる場所があるか

自宅で勉強をすることができる場所があるかについて、「ある」と回答した割合は、中学2年生の困窮層は一般層より15ポイント以上下回っています。

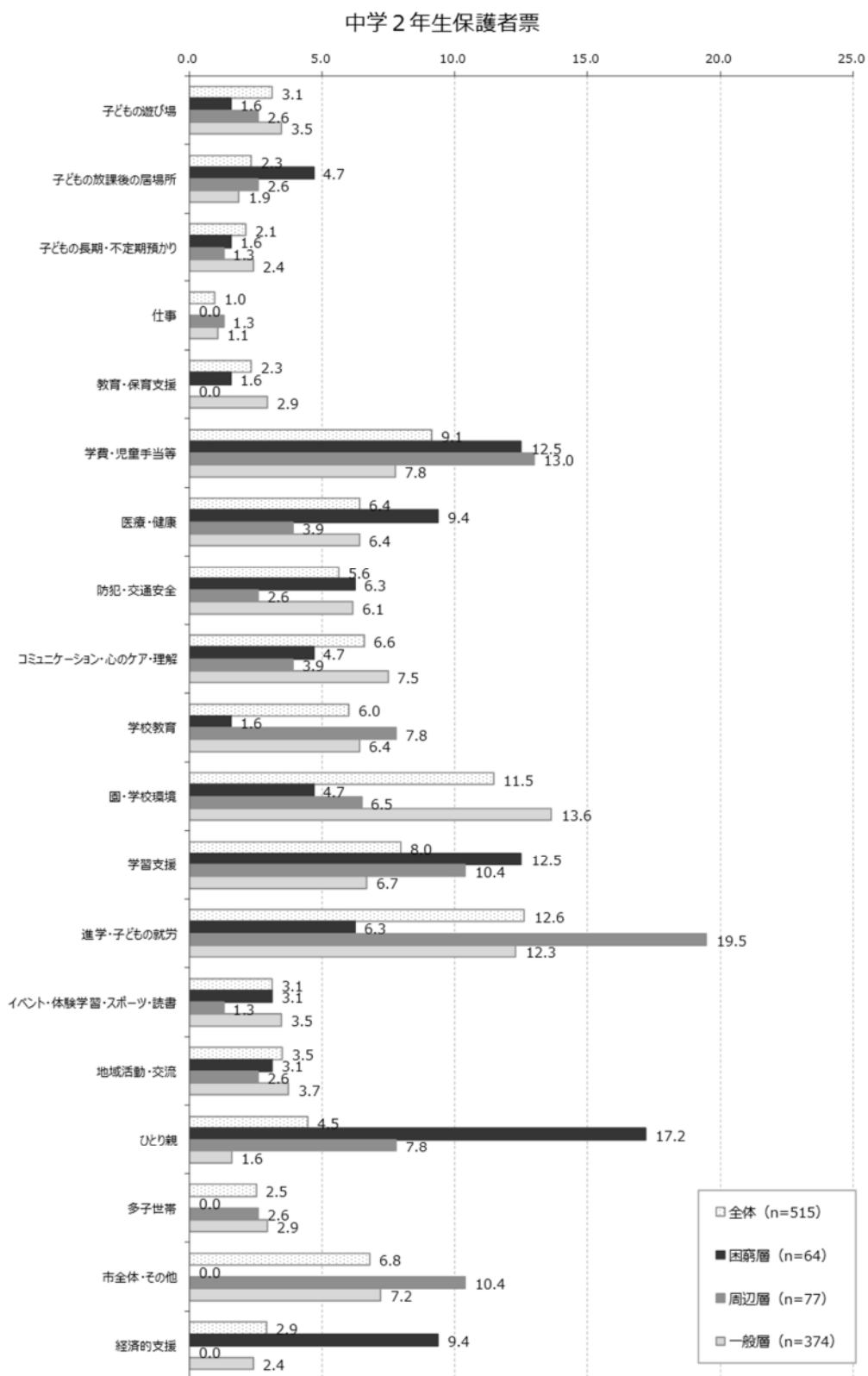


5 アンケート調査（自由意見）

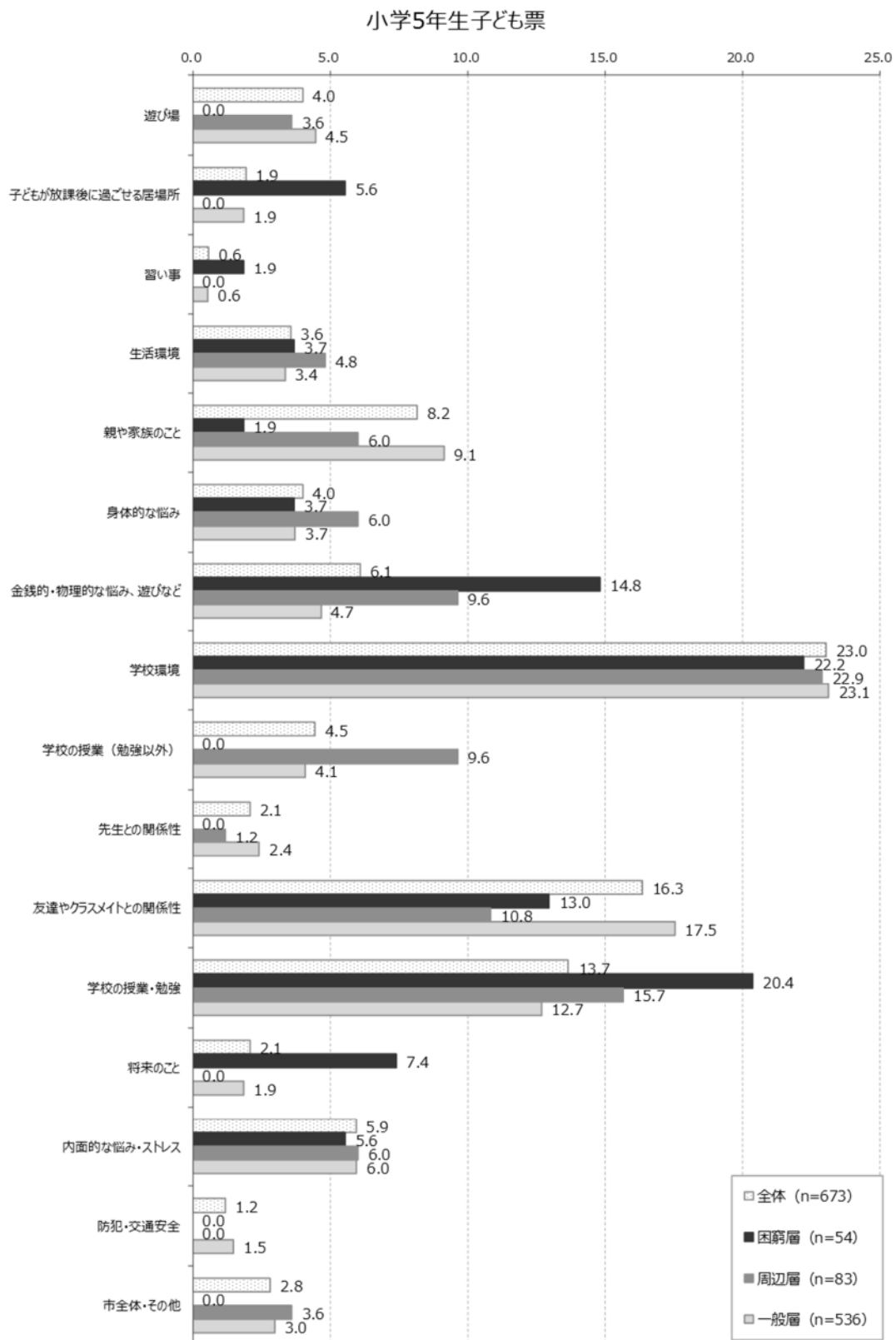
(1) 小学5年生保護者票 項目別生活困難度別意見の割合



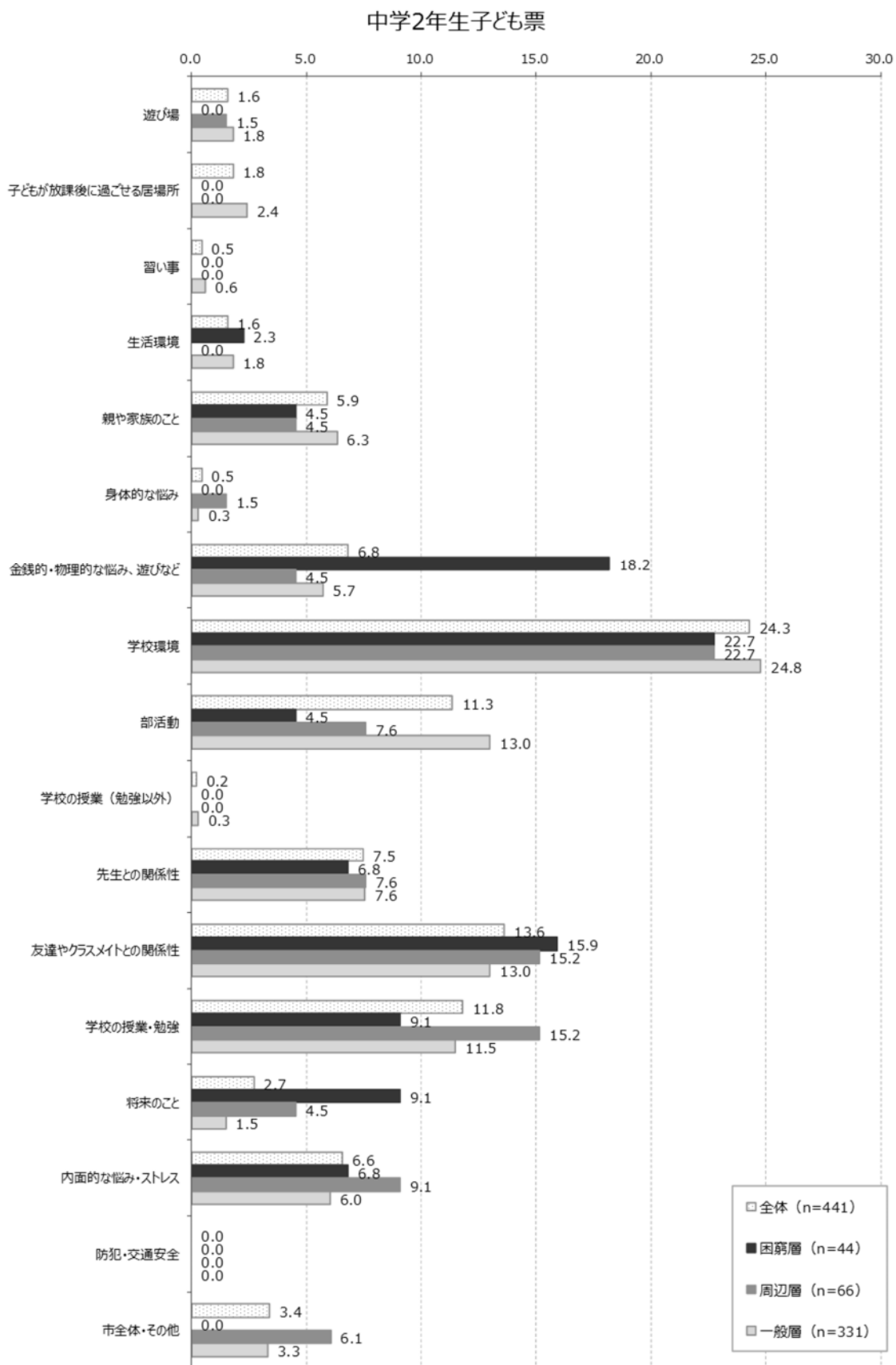
(2) 中学2年生保護者票 項目別生活困難度別意見の割合



(3) 小学5年生子ども票 項目別生活困難度別意見の割合



(4) 中学2年生子ども票 項目別生活困難度別意見の割合



第2章 団体等アンケート調査

1 調査概要

(1) 調査の目的

富士市内で活動、事業実施している、団体等が日頃の現場で支援・対応している具体的な対象やその実態、団体等の悩みや困りごと等の実態を把握するため調査を実施しました。

(2) 調査の方法

【アンケート調査結果】

- 調査対象：富士市内の団体、事業所、機関
- 調査期間：平成30年11月～12月
- 調査方法：団体等への直接配付・回収

(3) 調査の結果

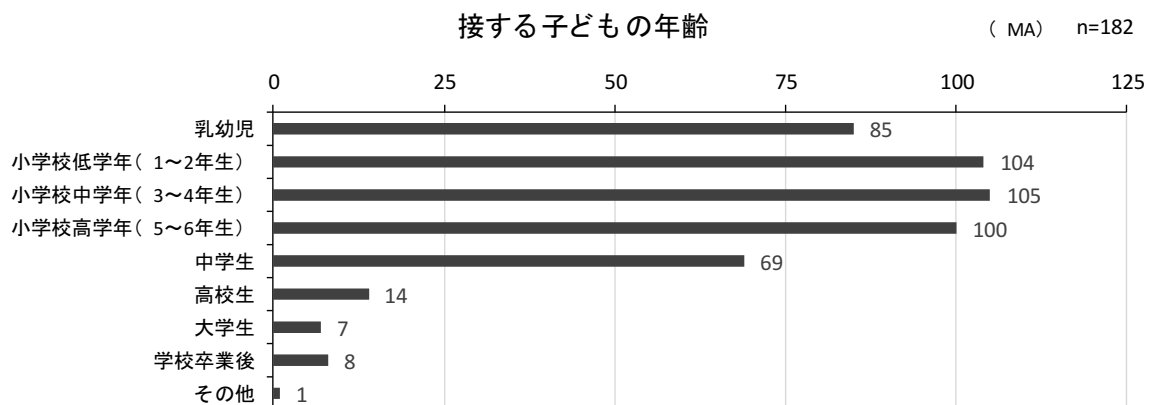
- アンケート調査票回収状況：

項目	主な調査対象	回答票数
幼稚園・保育園・認定こども園	市内の幼稚園、保育園、認定こども園	57票
小学校	市内の小学校	26票
中学校	市内の中学校	14票
団体・活動	こども食堂、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、青少年相談センター、ステップスクール等	53票
福祉関係	主任児童委員、社会福祉協議会、放課後児童クラブ、子育て支援センター、こども療育センター、こども未来課、ファミリー・サポート・センター、家庭児童相談室 等	32票
合計		182票

2 アンケート調査結果（選択式設問）

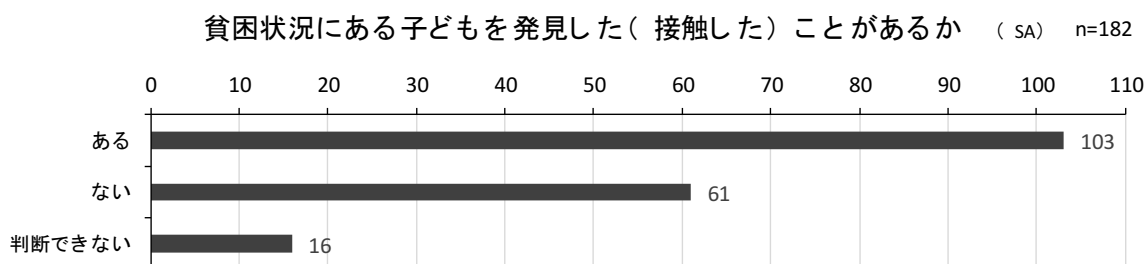
（1）職務上で主に接する子どもの年代

職務上で主に接する子どもの年代について、小学生と関わる団体等が特に多く、次いで乳幼児、中学生となっています。



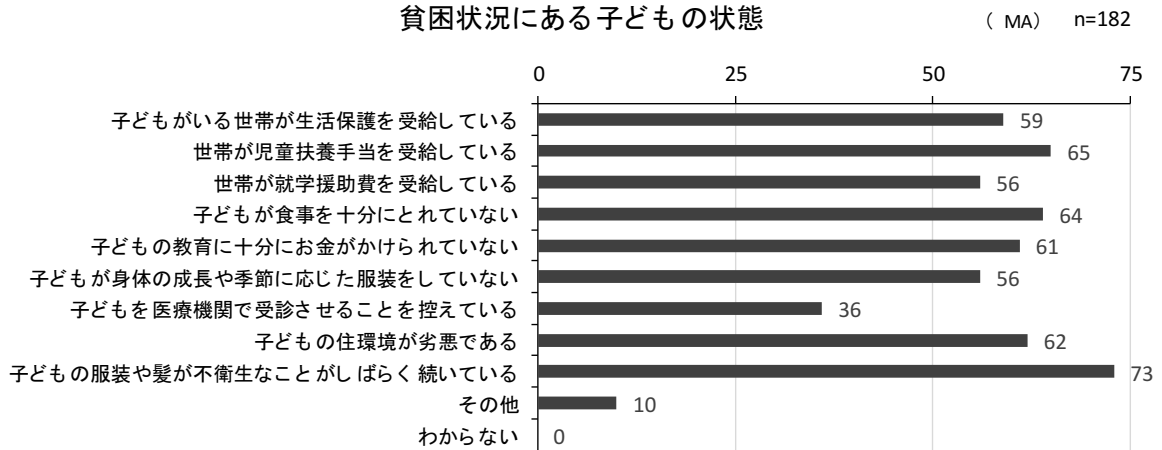
（2）貧困状況にある(かもしれない)子どもの発見・接した経験

貧困状況にある(かもしれない)子どもを発見した、もしくは接したことがあるかについて、「ある」と回答した件数は103件で、5割以上の団体等が発見した、もしくは接した経験があると回答しています。



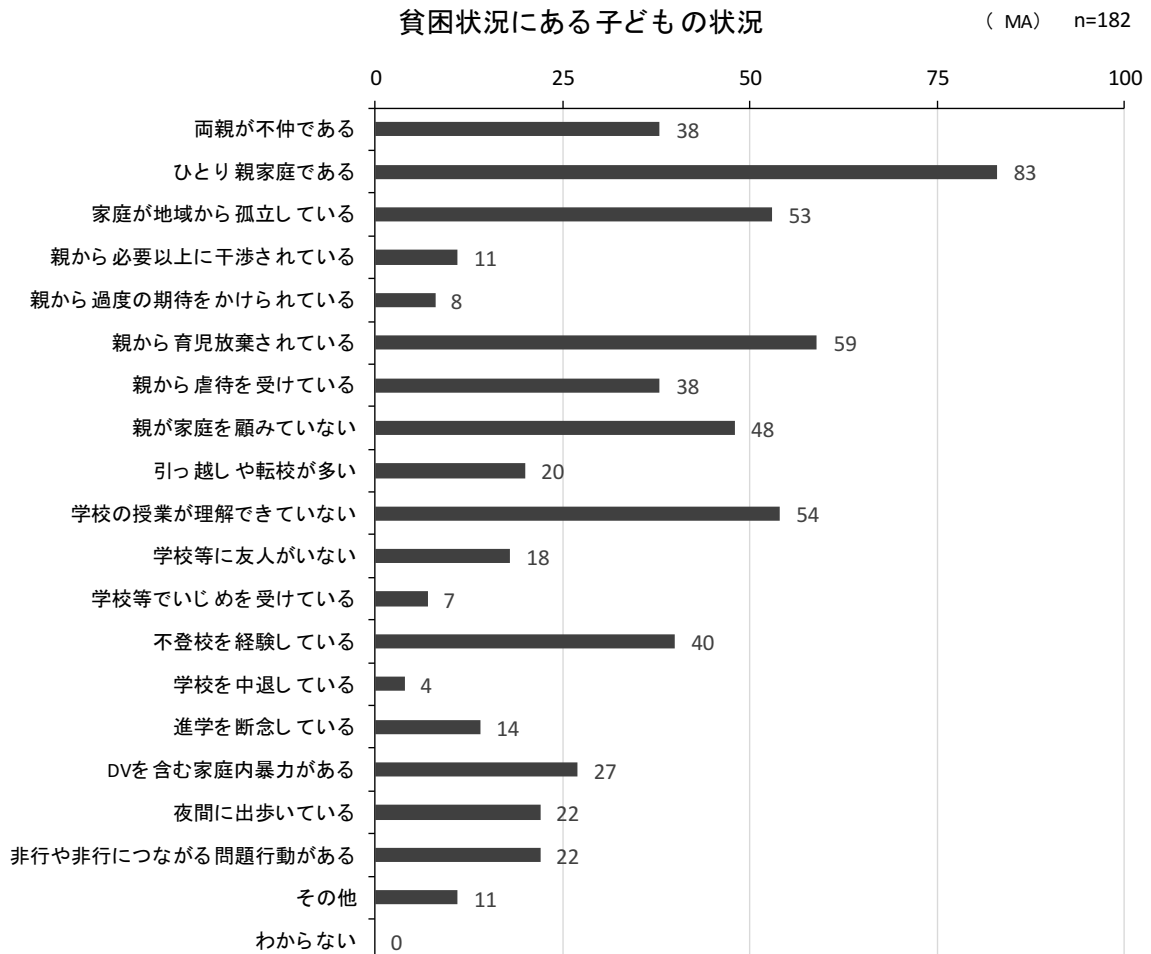
(3) 貧困状況にある子どもの状態

貧困状況にある子どもの状態について、いずれの項目でも多く回答していますが、最も多い回答は、「子どもの服装や髪型が不衛生なことがしばらく続いている」で 73 件となっており、次いで「世帯が児童扶養手当を受給している」が 65 件、「子どもの食事を十分にとれていない」が 64 件となっています。



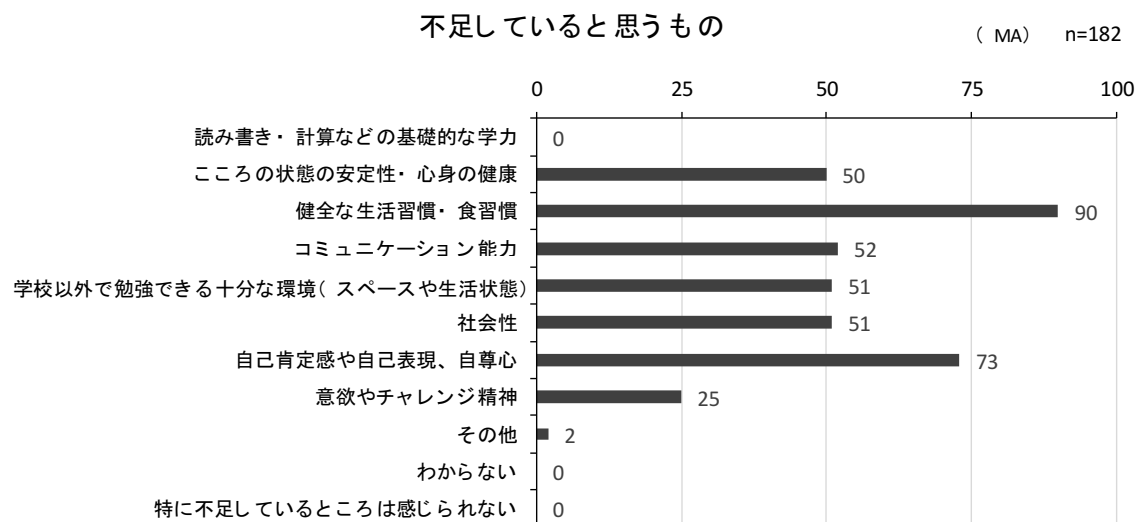
(4) 貧困状況にある子どもの状況

貧困状況にある子どもの状況について、最も多い回答は「ひとり親家庭である」で 83 件となっており、次いで「親から育児放棄されている」が 59 件、「学校の授業が理解できていない」が 54 件となっています。



(5) 貧困状況にある子どもに不足していると思うもの

貧困状況にある子どもに不足していると思うものについて、最も多い回答は「健全な生活習慣・食習慣」で 90 件となっており、次いで「自己肯定感や自己表現、自尊心」が 73 件、「コミュニケーション能力」が 52 件となっています。

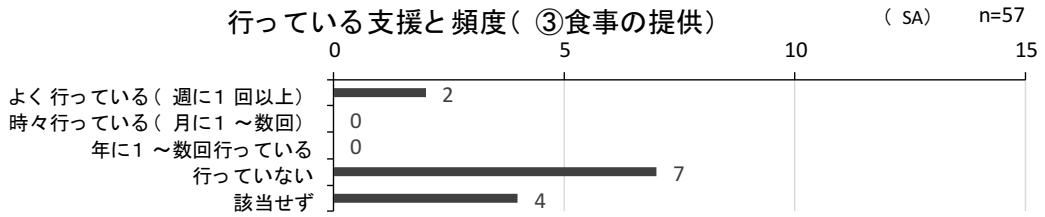


(6-1) 貧困状況にある子どもやその親への支援と頻度／幼稚園・保育園・認定こども園

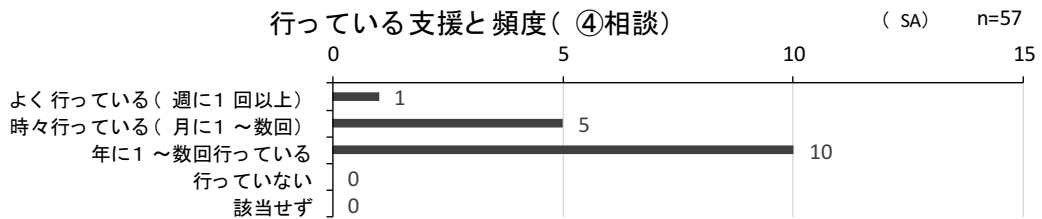
貧困状況にある子どもやその親への支援と頻度について、幼稚園・保育園・認定こども園では、「よく行っている(週に1回以上)」で最も多い回答は、「食事の提供」で2件、「時々行っている(月に1～数回)」と「年に1～数回行っている」で最も多い回答は、「相談」でそれぞれ5件、10件、「行っていない」で最も多い回答は、「親子教室の開催」で6件となっています。

【幼稚園・保育園・認定こども園】

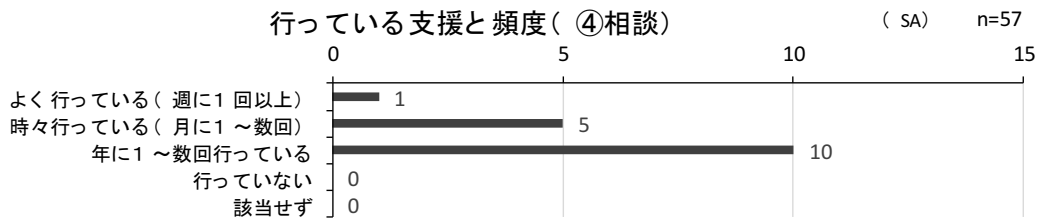
●よく行っている(週に1回以上)



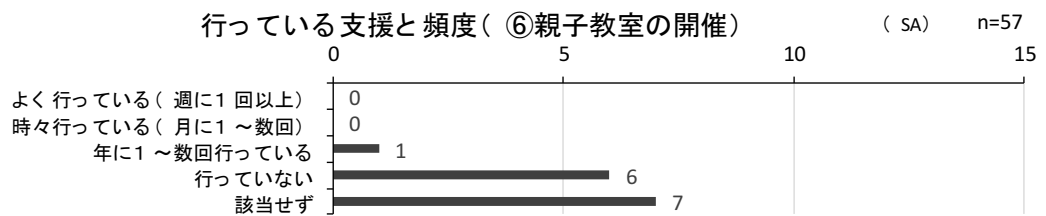
●時々行っている(月に1～数回)



●年に1～数回行っている



●行っていない

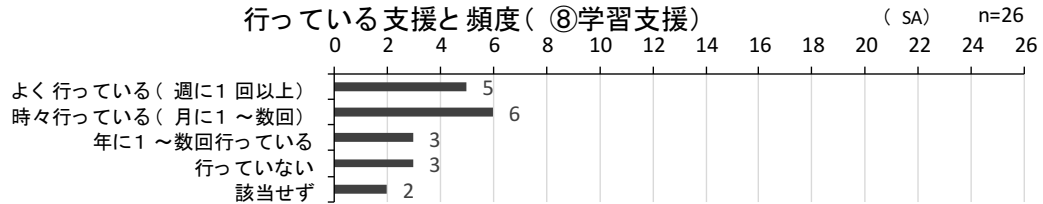


(6-2) 貧困状況にある子どもやその親への支援と頻度／小学校

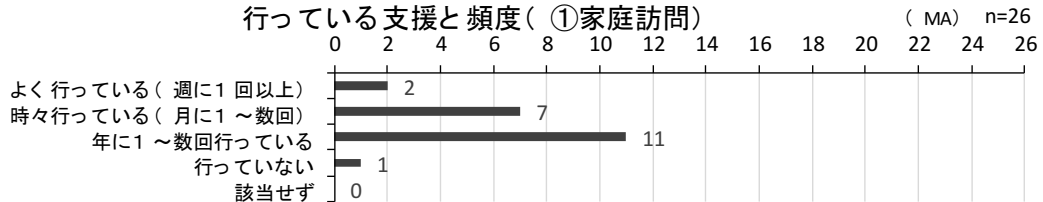
貧困状況にある子どもやその親への支援と頻度について、小学校では、「よく行っている(週に1回以上)」で最も多い回答は、「学習支援」で5件、「時々行っている(月に1～数回)」で最も多い回答は、「家庭訪問」で7件、「年に1～数回行っている」で最も多い回答は、「経済支援(就学援助費、児童扶養手当など)の紹介」で14件、「行っていない」で最も多い回答は、「食事の提供」で12件となっています。

【小学校】

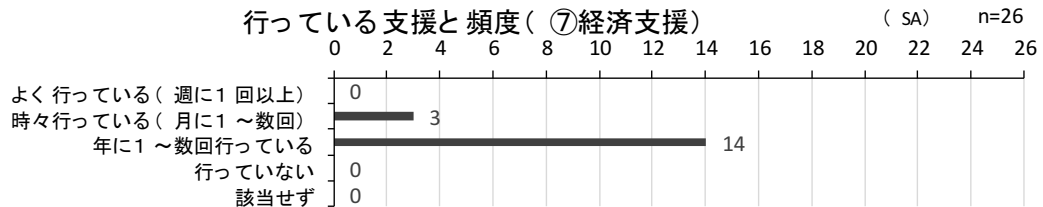
●よく行っている(週に1回以上)



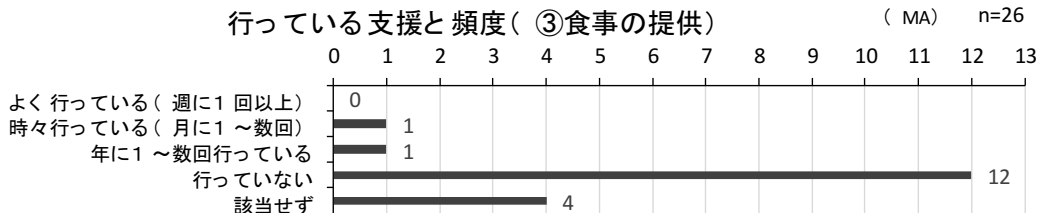
●時々行っている(月に1～数回)



●年に1～数回行っている



●行っていない

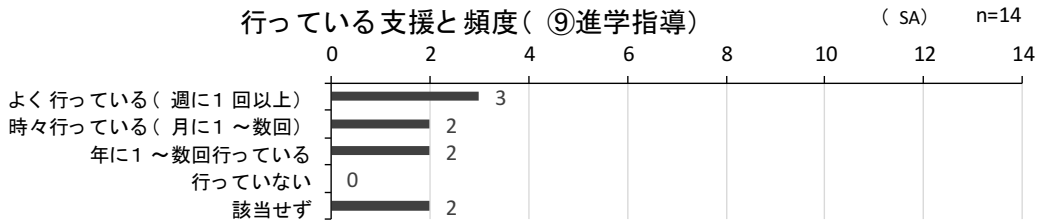
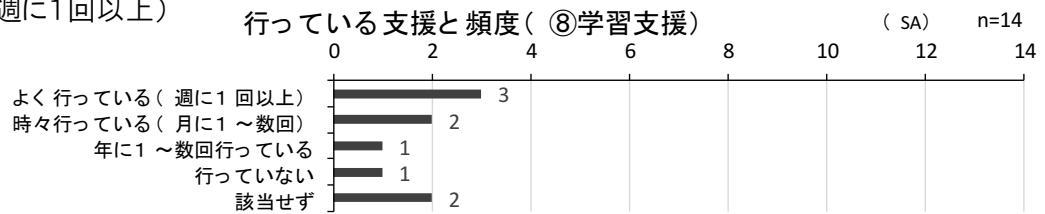


(6-3) 貧困状況にある子どもやその親への支援と頻度／中学校

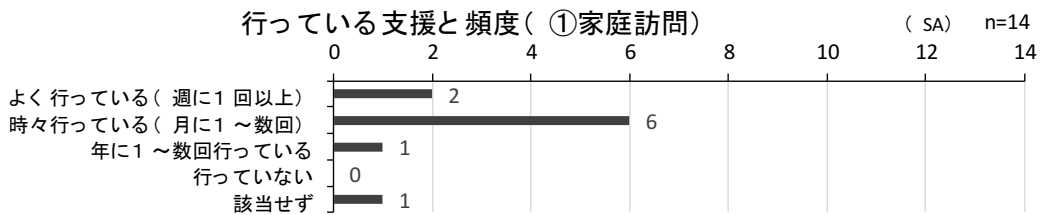
貧困状況にある子どもやその親への支援と頻度について、中学校では、「よく行っている(週に1回以上)」で最も多い回答は、「学習支援」と「進学指導」で3件、「時々行っている(月に1～数回)」で最も多い回答は、「家庭訪問」で6件、「年に1～数回行っている」で最も多い回答は、「経済支援(就学援助費、児童扶養手当など)の紹介」で7件、「行っていない」で最も多い回答は、「食事の提供」で4件となっています。

【中学校】

●よく行っている(週に1回以上)



●時々行っている(月に1～数回)



●年に1～数回行っている



●行っていない

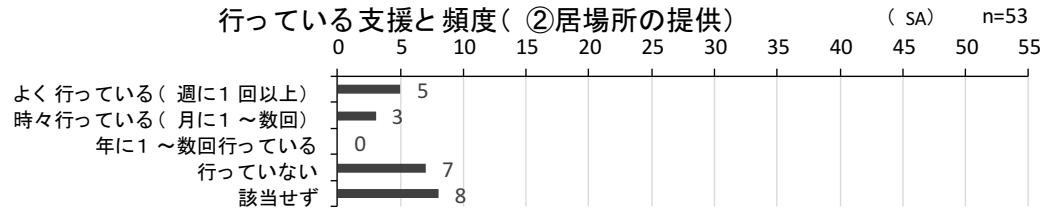


(6-4) 貧困状況にある子どもやその親への支援と頻度／団体・活動

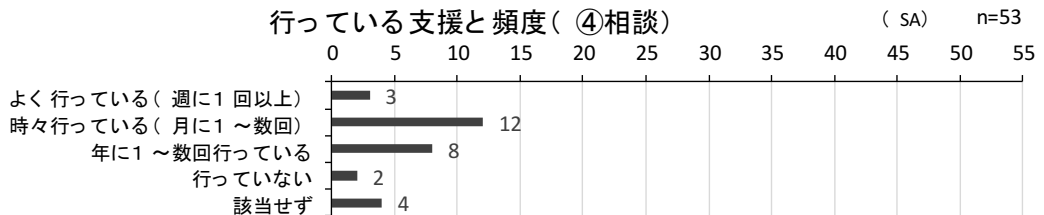
貧困状況にある子どもやその親への支援と頻度について、団体・活動では、「よく行っている(週に1回以上)」で最も多い回答は、「居場所(遊びや読書等の場)の提供」で5件、「時々行っている(月に1～数回)」と「年に1～数回行っている」で最も多い回答は、「相談(育児、発達、教育、生活相談など)」でそれぞれ 12 件、8件、「行っていない」で最も多い回答は、「親子教室の開催」で 11 件となっています。

【団体・活動】

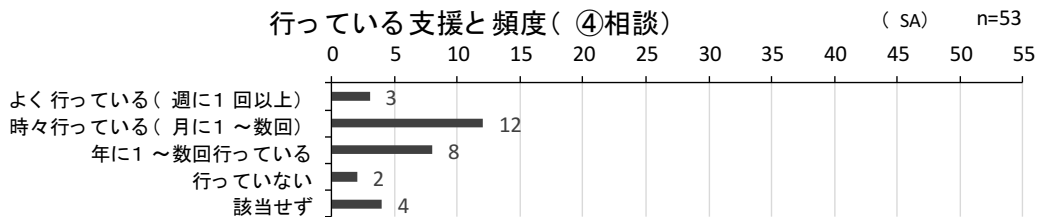
●よく行っている(週に1回以上)



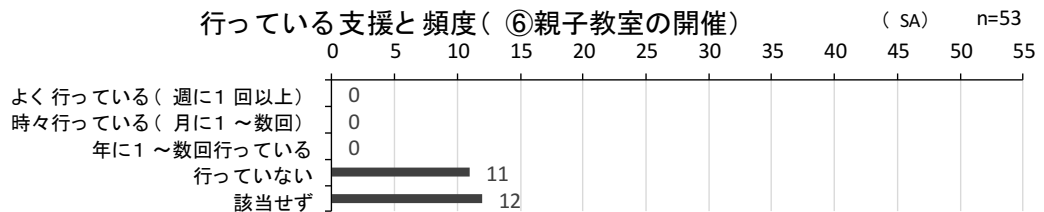
●時々行っている(月に1～数回)



●年に1～数回行っている



●行っていない

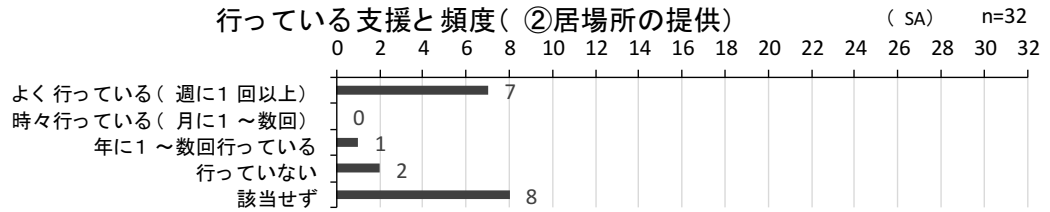


(6-5) 貧困状況にある子どもやその親への支援と頻度／福祉関係

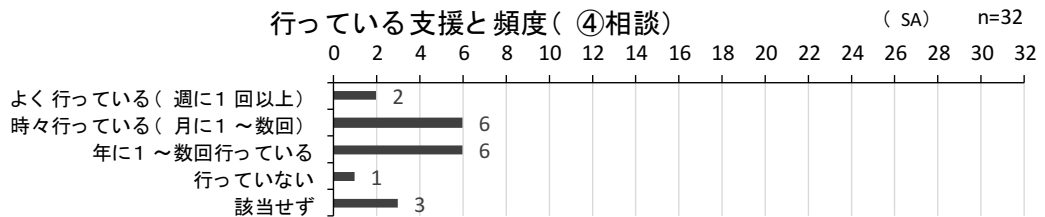
貧困状況にある子どもやその親への支援と頻度について、福祉関係では、「よく行っている(週に1回以上)」で最も多い回答は、「居場所(遊びや読書等の場)の提供」で7件、「時々行っている(月に1～数回)」と「年に1～数回行っている」で最も多い回答は、「相談(育児、発達、教育、生活相談など)」でそれぞれ6件、「行っていない」で最も多い回答は、「家庭訪問」で6件となっています。

【福祉関係】

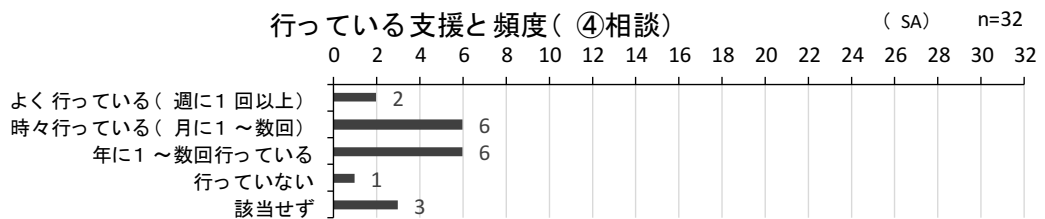
●よく行っている(週に1回以上)



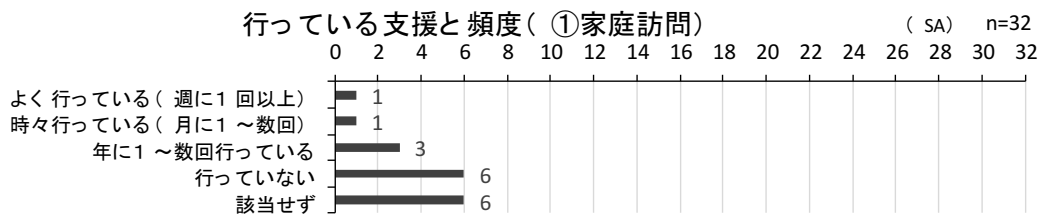
●時々行っている(月に1～数回)



●年に1～数回行っている

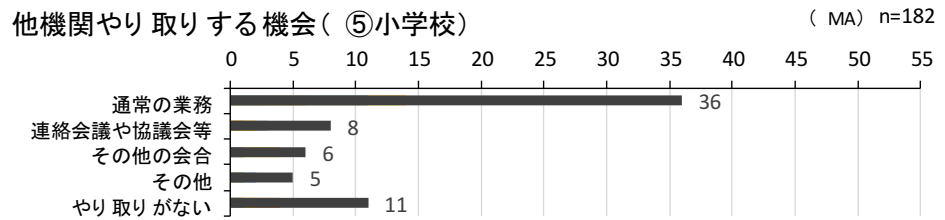
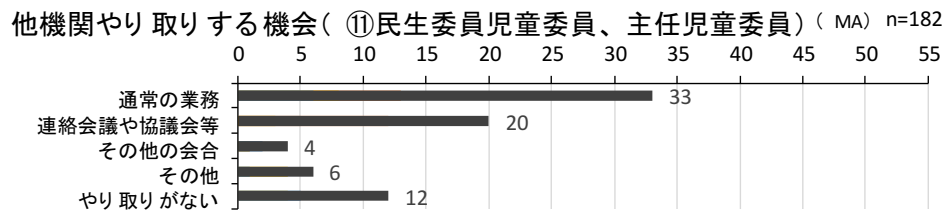
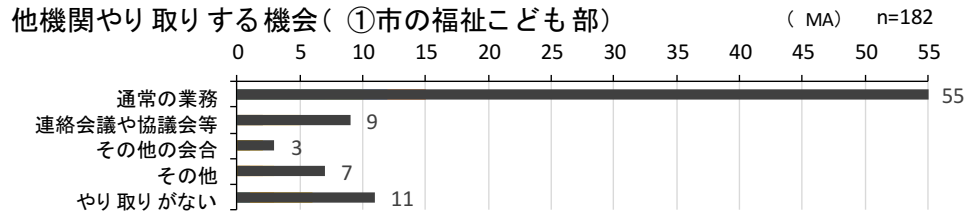


●行っていない



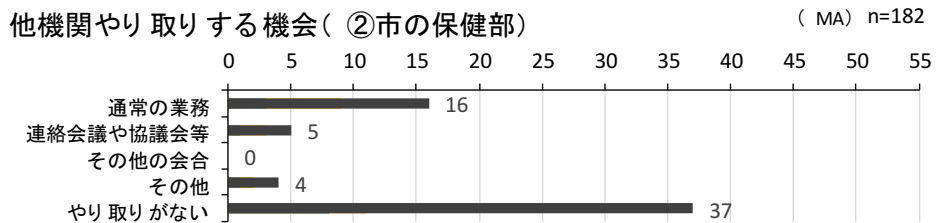
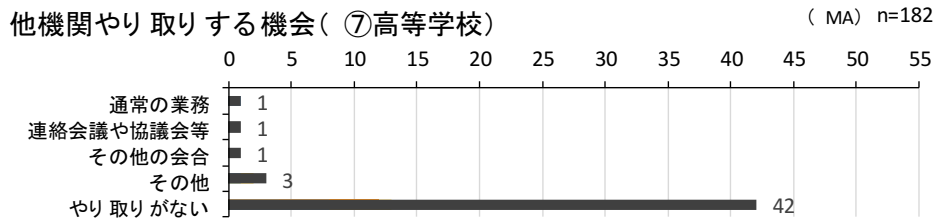
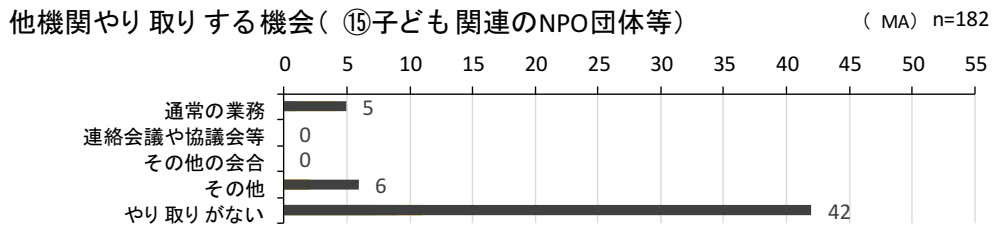
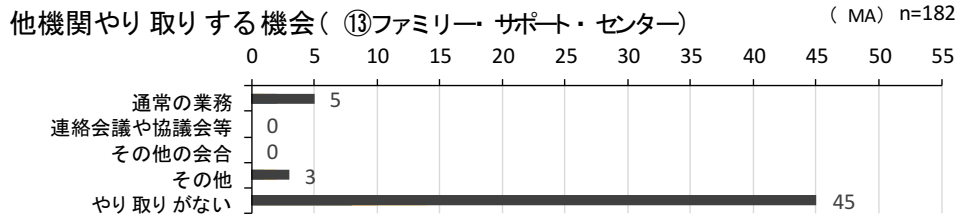
(7)他機関とやり取りが多い団体等

他機関との情報のやり取りが多い機関について、「通常の業務」、「連絡会議や協議会等」、「その他の会合」、「その他」を合計した件数では、「市の福祉子ども部」が最も多く74件となっており、次いで「民生児童委員、主任児童委員」が63件、「小学校」が55件となっています。



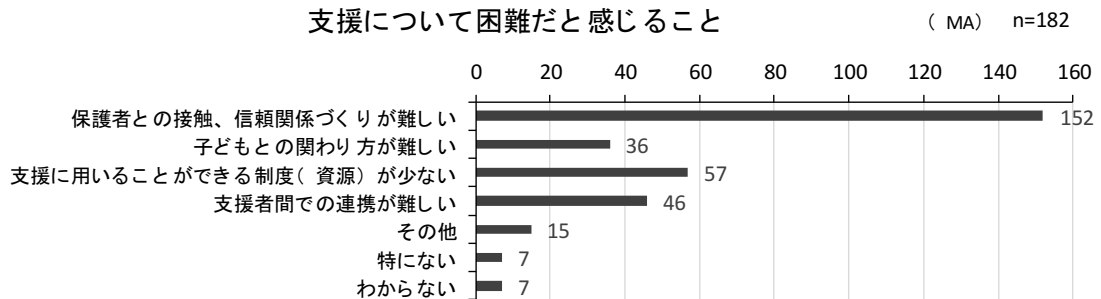
(8)他機関とやり取りがない団体等

他機関との情報のやり取りがない機関について、「ファミリー・サポート・センター」が最も多く 45 件となっており、次いで「子ども関連の NPO 団体等」と「高等学校」が同数で 42 件、「市の保健部」が 37 件となっています。



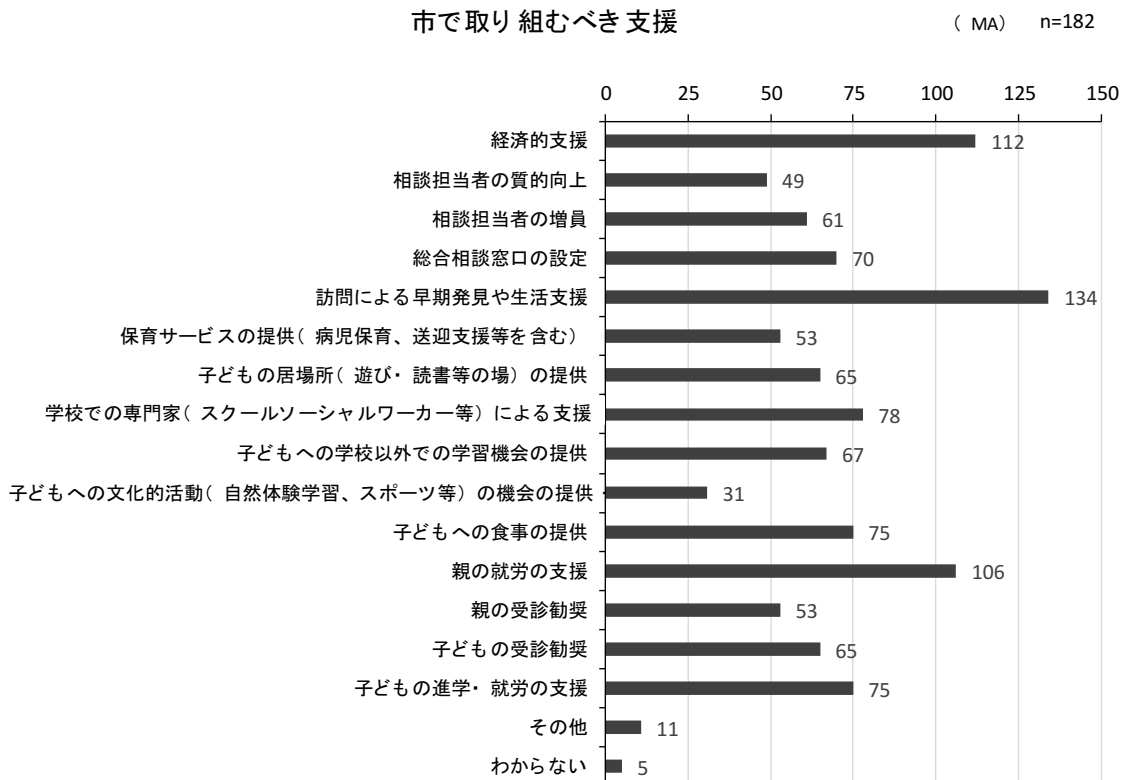
(9) 貧困状況にある子どもとその家庭への支援で困難だと感じること

貧困状況にある子どもとその家庭への支援で困難だと感じることについて、「保護者との接触、信頼関係づくりが難しい」が最も多く 152 件となっており、次いで「支援に用いることができる制度(資源)が少ない」が 57 件、「支援者間での連携が難しい」が 46 件となっています。



(10) 貧困状況にある子どもとその家庭に対して必要だと思う支援

貧困状況にある子どもとその家庭に対して必要だと思う支援について、「訪問による早期発見や生活支援」が最も多く 134 件となっており、次いで「経済的支援」が 112 件、「親の就労の支援」が 106 件となっています。



資料編

1 富士市子どもの生活実態調査票

(1) 小学校5年生、中学校2年生子ども調査票

中学校2年生共通

富士市子どもの生活実態調査 〔 小学校5年生のみなさまへ 〕

この調査は、富士市に住むみなさんが、より安心して暮らしていくために必要な取組を考えるため、みなさんの学校や家での勉強や生活の様子についてたずねるものです。

なお、この調査で回答した内容を、学校の先生や友だち、家の人が見ることはありませんので、思ったとおりに回答してください。

みなさんの意見を参考にしたいと思いますので、この調査にぜひご協力をお願いします。

平成 30 年9月 富士市長 小長井 義正



☆ ★ ☆ このアンケートの答え方 ☆ ★ ☆

- 1 それぞれの質問について、あてはまるものやあなたの考えに近いものの番号に○をつけてください。つける○の数は、質問ごとに（1つに○）、（それぞれ1つに○）、（あてはまるものすべてに○）など書いてありますので、それに従ってください。「その他（ ）」を選んだら、カッコの中に、できるだけ内容を書いてください。
- 2 回答は、この調査用紙に直接書き入れてください。
- 3 回答は、HB または B の黒鉛筆（シャープペンシルも可）を使い、こく、はっきりと書いてください。また、消すときは消しゴムできれいに消してください。
- 4 この調査用紙には、名前を書かないでください。質問をよく読み、できるだけ正確に回答してください。
- 5 この調査用紙は、学校で集めます。小さいふうとうに入れてふうをして、担任の先生に提出してください。

1 あなたのことについて

問1 あなたの性別を教えてください。(1つに○)

- | | |
|-----|-----|
| 1 男 | 2 女 |
|-----|-----|

問2 あなたの健康状態について教えてください。(1つに○)

- | | | |
|-----------|--------|-------|
| 1 とてもよい | 2 よい | 3 ふつう |
| 4 あまりよくない | 5 よくない | |

問3 あなたは、将来どの学校までできれば行きたいと思いますか。(1つに○)

- | | | |
|-----------|----------|---------------|
| 1 中学校 | 2 高等学校 | 3 高専 (高等専門学校) |
| 4 短期大学 | 5 大学・大学院 | 6 専門学校 |
| 7 その他 () | 8 わからない | |

2 ふだんの生活について

問4 あなたは、放課後はだれといっしょに過ごすことが多いですか。(1つに○)

- | |
|---|
| 1 家族の大人 (お母さん・お父さん・おばあさん・おじいさん・親せきなど) |
| 2 家族 (兄弟姉妹) |
| 3 家族以外の大人 (近所の大人、放課後児童クラブなどや塾・習い事の先生など) |
| 4 学校の友だち |
| 5 学校以外の友だち (近所の友だちなど) |
| 6 ひとりである |
| 7 その他 () |

問5 あなたは、放課後はどこで過ごしていますか。多いものに○をつけてください。(3つまで○)

- 1 自分の家
- 2 おばあさん・おじいさんの家
- 3 友だちの家
- 4 塾や習い事
- 5 学校 (部活動など)
- 6 公園・広場
- 7 スーパー・ショッピングモール・コンビニ
- 8 ゲームセンター
- 9 図書館やまちづくりセンターなどの公共の施設
- 10 児童館
- 11 スポーツクラブ
- 12 放課後児童クラブ
- 13 放課後等デイサービス
- 14 その他 ()

問6 あなたは平日(月曜日～金曜日)の放課後の時間を、どのように過ごしていますか。それぞれの時間について教えてください。(それぞれ1つに○)

項目	しない	30分未満	30分以上 1時間未満	1時間以上 2時間未満	2時間以上 3時間未満	3時間以上
勉強や宿題をする (塾等をふくむ)	1	2	3	4	5	6
テレビやDVD、インターネット の動画を見る	1	2	3	4	5	6
ゲームをする	1	2	3	4	5	6
携帯電話、スマートフォン、パ ソコンなどのSNS (LINE・Twitter・ Facebook など)を使う	1	2	3	4	5	6
読書をする	1	2	3	4	5	6
スポーツ少年団やクラブ活 動、部活動をする	1	2	3	4	5	6
友だちと遊ぶ	1	2	3	4	5	6
兄弟姉妹の世話をする	1	2	3	4	5	6
家族の介護を手伝う	1	2	3	4	5	6
家事(掃除・洗たく・料理・ 片付けなど)を手伝う	1	2	3	4	5	6
習い事(スイミング、英会話 など)をする	1	2	3	4	5	6

問7 あなたは平日に、どれくらい朝食を食べていますか。(1つに○)

- | | | |
|--------|----------|--------|
| 1 毎日 | 2 週に2～4日 | 3 週に1日 |
| 4 食べない | | |

▶ 問7で「2」～「4」(毎日は食べない)と答えた方にうかがいます。

問7-1 毎日、朝食を食べない理由は何ですか。(1つに○)

- | | |
|--------------|----------------|
| 1 おなかがすかないから | 2 時間がないから |
| 3 用意されていないから | 4 家族がだれも食べないから |
| 5 その他 () | |

▶ ここからはまた、すべての方にうかがいます。

問8 あなたはふだん、だれといっしょに食事を食べていますか。
(それぞれ1つに○)

項目	家族といっしょに食べる	子どもたちだけで食べる	ひとりで食べる	家族以外の人と食べる	食べない
平日の朝食	1	2	3	4	5
平日の夕食	1	2	3	4	5
休日の朝食	1	2	3	4	5
休日の昼食	1	2	3	4	5
休日の夕食	1	2	3	4	5

問9 あなたは、給食をのぞいて、以下の食べ物をふだんどれくらい食べますか。
 (それぞれ1つに○)

項目	毎日食べる	1週間に 4～5日	1週間に 2～3日	1週間に 1日以下	食べない
野菜	1	2	3	4	5
くだもの	1	2	3	4	5
肉か魚	1	2	3	4	5
カップめん・ インスタントめん	1	2	3	4	5
コンビニのおにぎり・ お弁当	1	2	3	4	5
お菓子	1	2	3	4	5

問10 あなたは、平日の起きる時間と寝る時間は決まっていますか。
 (それぞれ1つに○)

平日の起きる時間	1 決まっている (だいたい ___時___分ごろ)	2 決まっていない
平日の寝る時間	1 決まっている (だいたい ___時___分ごろ)	2 決まっていない

問11 あなたは、週にどれくらいお風呂・シャワーに入りますか。(1つに○)

1 毎日 (ほとんど毎日)	2 週に4～5回
3 週に2～3回	4 週に1回
5 あまり入らない	

問 12 あなたが悩んでいるときに悩みを相談できる人はだれですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|------------------------|
| 1 親 | 2 兄弟姉妹 |
| 3 おばあさん、おじいさん | 4 親せき（おじさん、おばさん、いとこなど） |
| 5 学校の先生 | 6 塾や習い事の先生 |
| 7 学校の友だち | 8 その他の友だち |
| 9 その他の人（ ） | 10 だれにも相談したくない |
| 11 だれにも相談できない | |

問 13 あなたが今悩んでいることや心配なこと、困っていることや、だれかに相談したいと思っていることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--|----------------------------|
| 1 家族のこと | 2 学校の勉強のこと |
| 3 友だち関係のこと | 4 進学のこと |
| 5 就職のこと | 6 自分のこと（顔つき・身長・体重・性格・病気など） |
| 7 その他のこと（ ） | |
| 8 悩んでいることや心配なこと、困っていることはない | |

問 14 あなたは、ふだん、だれとどれくらい会話をしますか。(それぞれ1つに○)

だれと	よく話す	ときどき話す	あまり話さない	全く話さない
家族（親）	1	2	3	4
家族（兄弟姉妹）	1	2	3	4
家族・親せき（おばあさん・おじいさんなど）	1	2	3	4
友だち	1	2	3	4
学校の先生	1	2	3	4
児童館、放課後児童クラブなどの職員	1	2	3	4
塾や習い事などの先生	1	2	3	4
その他の大人	1	2	3	4

3 学校や勉強のことについて

問 15 あなたは、学習塾に通ったり、家庭教師に来てもらっていますか。通っている(来てもらっている)場合、1週間に何日通って(来てもらって)いますか。(1つに○)

1 通って(来てもらって) いない	2 1週間に1日
3 1週間に2日	4 1週間に3日
5 1週間に4日	6 1週間に5日
7 1週間に6日	8 毎日

問 16 あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。(1つに○)

1 上の方	2 やや上の方	3 真ん中あたり
4 やや下の方	5 下の方	6 わからない

問 17 学校の授業についてわからないことがありますか。(1つに○)

- | | | |
|--------------|-------------|------------|
| 1 いつもわかっている | 2 だいたいわかる | 3 あまりわからない |
| 4 わからないことが多い | 5 ほとんどわからない | |

問 18 クラスの先生との関係について教えてください。(1つに○)

- | | |
|----------------|--------------|
| 1 うまくいっている | 2 まあうまくいっている |
| 3 あまりうまくいっていない | 4 うまくいっていない |

問 19 友だちとの関係について教えてください。(1つに○)

- | | |
|----------------|--------------|
| 1 うまくいっている | 2 まあうまくいっている |
| 3 あまりうまくいっていない | 4 うまくいっていない |
| 5 友だちはいない | |

4 持っているものについて

問 20 次の中に、あなたが持っているものがありますか。ある場合には「1 ある」、ない場合には、それがほしいと思うものであれば「2 ないのでほしい」、いらなと思うものであれば「3 ないけどほしくない」に○をつけてください。

(あてはまるものそれぞれ1つに○)

項 目	ある	ないのでほしい	ないけどほしくない
自分だけの本（教科書はのぞきます）	1	2	3
新しい文房具	1	2	3
自分がほしいと思う服	1	2	3
誕生日にもらったプレゼント	1	2	3
友だちと同じくらいの金額のおこづかい	1	2	3
自分専用の勉強机	1	2	3
子ども部屋（兄弟姉妹と使っている場合もふくみます。）	1	2	3
自転車	1	2	3
スポーツ用品（グローブ、野球ボール、サッカーボール、専用のくつなど）	1	2	3
ほとんどの友だちが持っているおもちゃ（ゲーム機など）	1	2	3
携帯電話、スマートフォン	1	2	3
携帯音楽プレーヤー	1	2	3
インターネットにつながるパソコン、タブレット	1	2	3
自宅で勉強をすることができる場所	1	2	3

5 ふだん生活していて感じていることについて

問 21 あなたがふだん生活の中で感じていることについて、教えてください。

(あてはまるものそれぞれ1つに○)

項 目	そう思う	まあ そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	わからない
努力すればできるようになる	1	2	3	4	5
自分の将来が楽しみだ	1	2	3	4	5
自分は価値のある人間だと思う	1	2	3	4	5
自分は家族に大事にされている	1	2	3	4	5
自分は友だちに好かれている	1	2	3	4	5
毎日の生活が楽しい	1	2	3	4	5
さびしいと感じることはない	1	2	3	4	5
不安を感じることはない	1	2	3	4	5
自分はだれかの役に立つことができる	1	2	3	4	5
自分のことが好きだ	1	2	3	4	5

問 22 あなたは、これまでに以下のようなことがありましたか。(それぞれ1つに○)

項 目	よく あった	ときどき あった	あまり なかった	なかった	わから ない
学校に行きたくないと思った	1	2	3	4	5
1か月以上学校を休んだ (病気のときをのぞく)	1	2	3	4	5
いじめられた	1	2	3	4	5
夜遅くまで子どもだけで過ごした	1	2	3	4	5

問 23 あなたは、以下のような場所があれば使ってみたいと思いますか。

(それぞれ1つに○)

項目	使ってみたい	使いたくない	わからない
(家以外で) 平日の放課後に夜までいることができる場所	1	2	3
(家以外で) 休日にいることができる場所	1	2	3
家の人がいなくて、夕ご飯を食べることができる場所	1	2	3
家で勉強できないとき、静かに勉強ができる場所	1	2	3
年上の人が勉強を教えてくれる場所	1	2	3
(学校以外で) 勉強、進学、家庭のことなど、何でも相談できる場所	1	2	3

6 自由意見

問 24 学校や家での生活の中で、困っていること、悩んでいること、こうだったらいいなと思うことがあれば、何でも自由に書いてください。

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

ご協力ありがとうございました。

富士市子どもの生活実態調査

〔 小学校5年生の保護者のみなさまへ 〕

日頃、富士市の子育て支援・学校教育等へご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

富士市では、より安心して子どもを育てるために必要な取組を検討するにあたり、お子さまのいる家庭の生活状況やお子さまの様子、また、子育ての悩みや困りごと等の実態を把握するためにアンケート調査を実施することになりました。

このアンケート調査は、お子さまの進学に関わる状況についても質問させていただくため、富士市立の小学校5年生と中学校2年生のお子さまを持つ保護者の方を対象に実施しています。

なお、いただいた回答は、統計的に処理され、個人が特定されることはありません。また、本調査結果は、調査の目的以外には使用いたしません。

お忙しい中、恐縮ではございますが、みなさまのご回答を市の子育て支援・学校教育等の充実につなげていきたいと考えておりますので、調査にご協力をお願いいたします。

平成 30 年9月 富士市長 小長井 義正

ご記入にあたって

- 1 このアンケート調査は無記名です。できるだけ正確に回答してください。
- 2 それぞれの質問について、あてはまるものやあなたの考えに近いものの番号に○をつけてください。つける○の数は、質問ごとに（1つに○）、（それぞれ1つに○）、（あてはまるものすべてに○）など書いてありますので、それに従ってください。「その他（ ）」を選んだ場合は、カッコの中に、できるだけ内容を書いてください。
- 3 回答は、このアンケート調査用紙に直接書いてください。
- 4 回答は、鉛筆（シャープペンシルも可）かボールペンを使用し、濃く、はっきりと書いてください。また、修正するときは修正内容がわかるように、はっきりと書いてください。
- 5 小学校5年生と中学校2年生のお子さまがいる、もしくは双子などで同学年に2人以上のお子さまがいる場合も、それぞれの調査票にお答えください。
- 6 このアンケート調査は、配付のあった学校経由で回収します。お渡しした封筒に入れて封をした上で、10月5日（金）までにお子さまを通じて学校へ提出してください。

調査について、ご不明点等がございましたら、下記までご連絡ください。

富士市福祉こども部こども家庭課
お問い合わせ電話番号：0545-55-2763・0545-55-2764
（8:30～17:15 土日・祝日を除く）

1 回答者と世帯について

問1 あなた(ご回答者)の、お子さまから見た続柄について教えてください。
(1つに○)

1 父親	2 母親	3 祖父	4 祖母
5 兄弟姉妹	6 その他 ()		

問2 現在のお住まいの住宅の種類について教えてください。(1つに○)

1 持ち家	2 民間賃貸住宅
3 社宅・公務員住宅等の給与住宅	4 県営・市営・公社等の公営賃貸住宅
5 借間・その他	

▶ あなたの世帯について、平成 29 年 12 月 31 日現在の状況を教えてください。

問3 お子さまと一緒に住んでいる、(あなたとお子さまを含めた)ご家族の人数を教えてください。
(人数を記入)

※ 旅行や出張、単身赴任や学業などで自宅を離れている人も含みます。

一緒に住んでいる人数 (あなたとお子さまを含めた)	_____ 人
そのうち、お子さま (18 歳未満) の人数	_____ 人

問4 お子さまと一緒に住んでいる、(お子さまから見た続柄の)ご家族はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

※ 旅行や出張、単身赴任や学業などで自宅を離れている人も含みます。

1 父親	2 母親	3 祖父	4 祖母
5 兄	6 姉	7 弟	8 妹
9 その他の親戚			

問5 あなたの世帯の中に、介護や介助が必要な方はいますか。(1つに○)

1 いる	2 いない
------	-------

問6 お子さまが病気のときや、ご自身の用事のときなどに頼れる親族や友人はいますか。(1つに○)

1 いる	2 いない
------	-------

▶ ご両親についておうかがいします。

※ ひとり親家庭の場合は、各設問の該当する箇所にお答えください。

問7 お子さまのご両親の年齢について教えてください。(それぞれ番号を記入)

母親	番号記入 ➡ []	父親	番号記入 ➡ []
1 20歳未満	2 20～24歳	3 25～29歳	
4 30～34歳	5 35～39歳	6 40～44歳	
7 45～49歳	8 50～59歳	9 60歳以上	

問8 お子さまのご両親が最後に通った学校について教えてください。
(それぞれ番号を記入)

母親	番号記入 ➡ []	父親	番号記入 ➡ []
	「10 その他」の場合 ()		「10 その他」の場合 ()
1 中学校卒業	2 高等学校中退		
3 高等学校卒業	4 高専・短大・専門学校等中退		
5 高専・短大・専門学校等卒業	6 大学中退		
7 大学卒業	8 大学院中退		
9 大学院修了	10 その他		
11 わからない			

問9 お子さまのご両親の就労状況について教えてください。(それぞれ番号を記入)

母親	番号記入 ➡ []	父親	番号記入 ➡ []
	「9 その他の職」の場合 ()		「9 その他の職」の場合 ()
1 正社員・正規職員	2 嘱託・契約社員・準社員・臨時職員		
3 派遣社員	4 パート・アルバイト		
5 自営業	6 内職		
7 会社役員	8 団体職員		
9 その他の職	10 求職中		
11 無職			

▶ 問9で「1」～「9」を選んだ方におうかがいします。

問9-1 お子さまのご両親の普段の帰宅時間で最も多い時間帯を選んでください。

(それぞれ番号を記入)

※ ご自宅が仕事場の場合は、お仕事が終わる時間を選んでください。

母親	番号記入 → []	父親	番号記入 → []
1	18時まで	2	18～20時
3	20～22時	4	22時以降（早朝帰宅を含む）
5	交替制勤務で帰宅時間は決まっていない	6	残業などで帰宅時間は決まっていない

▶ すべての方におうかがいします。

問10 お子さまのご両親の健康状態について教えてください。(それぞれ番号を記入)

母親	番号記入 → []	父親	番号記入 → []
1	健康である	2	病気・障がいがある（日常生活に支障がある）
3	病気・障がいがある（日常生活に支障がない）		

2 お子さまとの関わり、習慣について

問11 お子さまとの関わりの中で、ご家庭で心がけていることについて、各項目の状況を教えてください。(それぞれあてはまるもの1つに○)

項目	大変心がけている	まあまあ心がけている	あまり心がけていない	全く心がけていない
規則正しい生活習慣を身につけさせる	1	2	3	4
平日の朝、朝食を食べさせる	1	2	3	4
平日の夜、夕食を家族みんなで食べる	1	2	3	4
本や新聞を読むようにすすめる	1	2	3	4
将来や進路について話をする	1	2	3	4
勉強を教える	1	2	3	4
学校の出来事について聞く	1	2	3	4

問 12 お子さまの基本的な生活・学習習慣について教えてください。
 (それぞれあてはまるもの1つに○)

項目	できている	ほぼ できている	あまり できていない	できて いない	わからない
決まった時間に起床する	1	2	3	4	5
決まった時間に就寝する	1	2	3	4	5
平日の朝、朝食を食べる	1	2	3	4	5
朝や夜に歯をみがく	1	2	3	4	5
毎日、お風呂に入る	1	2	3	4	5
遅刻せずに学校に行く	1	2	3	4	5
宿題をする	1	2	3	4	5
自分の持ち物を整理整頓する	1	2	3	4	5
あいさつや「ありがとう」などが言える	1	2	3	4	5
友だちと話したり、遊んだりする	1	2	3	4	5

問 13 お子さまは現在、どのような習い事等をしていますか。
 (あてはまるものすべてに○)

1 学習塾	2 家庭教師	3 英会話
4 習字・そろばん	5 音楽・絵画	6 スポーツ・ダンス
7 部活動(クラブ活動)	8 特にしていない	

問 14 無料の学習支援制度(学習の手助けなど)があった場合、利用したいと思いますか。(1つに○)

1 現在、利用している	2 利用するつもりはない
3 今後、利用したいと思う	4 わからない

問 15 あなたは、お子さまの進学についてどこまで希望されていますか。(1つに○)

1 中学校	2 高等学校	3 高専・短大・専門学校
4 大学	5 大学院	6 その他()

問 15-1 あなたは、お子さまが問 15 の希望どおりの学校まで進むことになると思いますか。(1つに○)

1 思う	2 思わない	3 わからない
------	--------	---------

▶ 問 15-1 で「2 思わない」を選んだ方におうかがいします。

↳ 問 15-2 その理由を教えてください。(1つに○)

1 学力が不足しているため	2 経済的に余裕がないため
3 本人の希望と異なっているため	4 その他 ()

問 16 過去1年間に、お子さまを医療機関で受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかったことがありましたか。(1つに○)

1 あった	2 なかった
-------	--------

▶ 問 16 で「1 あった」を選んだ方におうかがいします。

↳ 問 16-1 その理由は、何ですか。以下の中から、最も近いものに○をつけてください。(1つに○)

1 子ども本人が受診しなかったため
2 医療機関までの距離が遠く、通院することが困難であったため
3 多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため
4 最初は受診させようと思ったが、子どもの様子を見て、受診させなくてもよいと判断したため
5 自分の健康状態が悪かったため
6 公的医療保険に加入しておらず、医療費の支払いができなかったため
7 公的医療保険に加入していたが、医療機関で自己負担金を支払えないと思ったため
8 その他 ()

3 子どもを取り巻く環境・子育ての悩みについて

問 17 過去1年間において、あなたのご家庭では、お子さまと次のような体験をしましたか。(それぞれあてはまるもの1つに○)

項 目	あ る	な い		
		金銭的な理由で	時間の制約で	その他の理由で
海水浴に行く	1	2	3	4
博物館・科学館・美術館などに行く	1	2	3	4
キャンプやバーベキューに行く	1	2	3	4
スポーツ観戦や映画館等に行く	1	2	3	4
遊園地やテーマパークに行く	1	2	3	4
1年に1回くらい家族旅行に行く	1	2	3	4

問 18 あなたのご家庭では、お子さまに次のことをしていますか。(それぞれあてはまるもの1つに○)

項 目	している	していない	
		したくない (方針ではない)	経済的にできない
毎月お小遣いを渡す	1	2	3
毎年新しい洋服・靴を買う	1	2	3
習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる	1	2	3
学習塾に通わせる (または、家庭教師に来てもらう)	1	2	3
お誕生日のお祝いをする	1	2	3
クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる	1	2	3
子どもの年齢に合った本を買う	1	2	3
子ども用のスポーツ用品・おもちゃを買う	1	2	3
子どもが自宅で勉強をする場所を用意する	1	2	3

問 19 あなたのご家庭では、過去1年間に、経済的な理由による次のような経験がありましたか。
 (それぞれあてはまるもの1つに○)

項 目	全くない	何度かあった	頻繁にあった
必要な食料が買えなかった	1	2	3
必要な服が買えなかった	1	2	3
電気・ガス・水道料金を滞納した	1	2	3
電話料金を滞納した	1	2	3
家賃を滞納した	1	2	3
給食費を滞納した	1	2	3
学用品が買えなかった	1	2	3
税金の滞納をした	1	2	3
生活費が不足して消費者金融または親族等からお金を借りた	1	2	3

問 20 あなたのご家庭では、お子さまと次のようなことをすることがありますか。
 (それぞれあてはまるもの1つに○)

項 目	めったにない	月に 1~2回	週に 1~2回	ほぼ毎日
お子さまの勉強を見る	1	2	3	4
お子さまとからだを動かして遊ぶ	1	2	3	4
お子さまとゲームで遊ぶ	1	2	3	4
お子さまと学校生活の話をする	1	2	3	4
お子さまと学校生活以外の話をする	1	2	3	4
お子さまと将来の話をする	1	2	3	4
お子さまと一緒に料理をする	1	2	3	4
お子さまと一緒に外出する	1	2	3	4

問 21 あなたは、現在、お子さまのことについて、悩みや不安はありますか。
 (あてはまる番号すべてに○)

項 目	あてはまる番号 すべてに○
お子さまに対するしつけや教育に自信が持てない	1
お子さまに対するしつけや教育について、相談する相手がいない	2
家族と子育ての意見が合わない	3
お子さまに基本的な生活習慣（あいさつ、規則正しい食生活、整理・整頓など）が身につけていない	4
お子さまが勉強しない	5
お子さまの進学や受験のことが心配である	6
お子さまの就職のことが心配である	7
お子さまが反抗的で、なかなか言うことを聞かない	8
お子さまが良い友人関係を持ってない	9
お子さまの身体の発育や病気が心配である	10
お子さまの非行や問題行動が心配である	11
お子さまの教育費のことが心配である	12
お子さまに十分な食事や衣服を与えることができていない	13
お子さまが学校に行きたがらない（行くことができない）	14
お子さまにきつくあたってしまうことがある	15
その他（ ）	16
特に悩みはない	17

問 22 あなたは、お子さまに関すること以外で、心配や悩み事がありますか。
 (あてはまるものすべてに○)

1 家族との人間関係	2 家族以外との人間関係
3 金銭的な問題	4 自分の病気や介護
5 家族の病気や介護	6 妊娠・出産
7 家事	8 自分の仕事
9 家族の仕事	10 住まいや生活環境（安全及び交通事情を含む）
11 その他（ ）	12 特に悩みはない

問 23 あなたには、現在心おきなく相談できる相手がありますか。(1つに○)

1 相談できる相手がいる	}	→ 問 23-1 へ
2 相談できる相手がないので欲しい		
3 相談できる相手がないが必要ない		→ 問 24 へ

▶ 問 23 で「1 相談できる相手がいる」または「2 相談できる相手がないので欲しい」を選んだ方におうかがいします。

問 23-1 その相手は誰ですか。(あてはまるものすべてに○)

1 配偶者	2 親・兄弟姉妹・親戚
3 子ども	4 友人・知人
5 隣人・地域の人	6 幼稚園・保育所の先生
7 学校の先生	8 カウンセラーなどの専門家
9 民生委員・主任児童委員	10 市役所などの公的機関
11 民間団体やボランティア	12 その他 ()

4 各種支援・サービスについて

問 24 あなたは、次のような支援・サービス等を利用したことがありますか。
(それぞれあてはまるもの1つに○)

項 目	知っている		知らない
	利用したことがある	利用したことがない	
家庭児童相談室 (こども家庭課内)	1	2	3
適応指導教室ステップスクール・ふじ	1	2	3
スクールカウンセラー	1	2	3
スクールソーシャルワーカー	1	2	3
フードバンクによる食糧支援	1	2	3
こども食堂 (子どもが無料もしくは安価で食事ができる場所)	1	2	3
学校以外が実施する学習支援 (チャレンジ等)	1	2	3

問 25 あなたは、現在、必要だと思う支援はありますか。(1つに○)

1 ある	2 ない
------	------

▶ 問 25 で「1 ある」を選んだ方におうかがいします。

▶ 問 25-1 あなたが必要だと思う支援は、どのようなことですか。
(あてはまるものすべてに○)

1 保育や学校費用の軽減	2 放課後等の学習支援
3 子どもの居場所づくり	4 奨学金制度の充実
5 住宅支援	6 親の就業のための支援の拡充
7 医療や健康に関わるサポート	8 生活保護や就学援助の拡充
9 一時的に必要な資金を借りられる支援	
10 こども食堂（子どもが無料もしくは安価で食事ができる場所）	
11 その他（	）

5 世帯の経済的な状況について

問 26 前年(平成 29 年)のあなたの世帯の手取り収入の合計額は、およそいくらでしたか。世帯の収入(※1)から、税金や社会保険料の額(※2)を差し引いた後の額でお答えください。
(1つに○)

※1 収入は、働いて得た給料だけでなく、株式配当などの副収入、公的な手当、養育費、仕送りを含めた額です。

※2 所得税、住民税、社会保険料、固定資産税等の合計額です。

1 50万円未満	2 50～100万円未満	3 100～150万円未満
4 150～200万円未満	5 200～250万円未満	6 250～300万円未満
7 300～350万円未満	8 350～400万円未満	9 400～450万円未満
10 450～500万円未満	11 500～550万円未満	12 550～600万円未満
13 600～650万円未満	14 650～700万円未満	15 700～750万円未満
16 750～800万円未満	17 800～850万円未満	18 850～900万円未満
19 900～950万円未満	20 950～1,000万円未満	21 1,000万円以上
22 わからない		

問 27 あなたの世帯で、次のような公的年金、社会保障給付金の 1 回あたりの支給額はいくらですか。(金額を記入)

※ 該当する収入がない場合には、0とご記入ください。

※ 兄弟姉妹等に関わる手当等も含みます。

※ 「児童扶養手当」は所得が一定水準以下のひとり親等世帯の支援のために支給されるものです。

	1 回に振り込まれる金額
児童手当	_____ 円 (4 か月に 1 回支払われる額)
児童扶養手当	_____ 円 (4 か月に 1 回支払われる額)
特別児童扶養手当	_____ 円 (4 か月に 1 回支払われる額)
年金 (遺族年金、障害年金、 老齢年金)	_____ 円 (2 か月に 1 回支払われる額)
生活保護	_____ 円 (直近の 9 月に支払われた額)

問 28 現在の暮らしの状況を総合的に見て、どう感じますか。(1つに○)

1 大変苦しい	2 やや苦しい	3 普通
4 ややゆとりがある	5 大変ゆとりがある	

問 29 あなたが子どもの頃の暮らしの状況は総合的に見て、どう感じていましたか。
(1つに○)

1 大変苦しい	2 やや苦しい	3 普通
4 ややゆとりがある	5 大変ゆとりがある	6 わからない

問 30 あなたは現在、幸せだと思いますか。(1つに○)

1 とても幸せである	2 まあまあ幸せである	3 どちらともいえない
4 あまり幸せではない	5 全く幸せではない	

ご協力いただきありがとうございました。

ご多用の中、アンケート調査にご協力いただき、ありがとうございました。
ご記入いただきましたアンケート調査票は、配付のあった学校経由で回収します。
一緒にお渡しした封筒に入れて封をした上で、平成30年10月5日(金)までに
お子さまを通じて学校へ提出してください。

2 団体等アンケート調査

支援者(幼稚園・保育所(園)・認定こども園・小中学校)、福祉関係、民間活動団体共通

富士市子どもの生活に関する実態調査 子どもに関わる皆さまへのアンケート調査ご協力をお願い

富士市 福祉こども部 こども家庭課

現在富士市では、すべての子どもが、生まれ育った環境に左右されず夢と希望を持って成長していけるよう、経済的側面のみならず日常・社会生活の自立と安定を目指した包括的な支援を実施するための方針を検討すべく、子どもの生活実態を把握する各種調査を行っています。

ついては、市内の子どもに関わっておられる皆さまに、日頃の職務や活動の中で感じ、把握されている子どもの貧困問題に関わる事象について伺い、市の方針づくりに反映していきたいと考え、このたびアンケート調査を行わせていただくこととなりました。

お忙しいところを誠に恐縮ではございますが、何卒趣旨をご理解いただき、調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

ご記入にあたって

記入いただいた内容は富士市子どもの生活に関する実態調査の目的以外には使用しません。必ずしもすべての設問にご回答いただく必要はありません。可能な範囲でお答えください。関連する資料等がございましたら、ご提出時に添付いただけますと助かります。ご記入いただいた本調査シートは、12月21日(金)までにご返送ください。回答は、返信用封筒(切手不要)に入れて封をして、富士市福祉こども部こども家庭課までお送りください。ご記入にあたってご不明な点等がございましたら、下記までご連絡ください。

富士市福祉こども部こども家庭課 (8:30~17:15 土日・祝日を除く)

TEL : 0545-55-2763・0545-55-2764 / FAX : 0545-51-0247

Mail : fu-kokatei@div.city.fuji.shizuoka.jp

はじめにご記入をお願いいたします

団体名・活動名	(団体・活動内での、回答者の役職)
ご連絡先 (連絡担当者=回答者ではなく、こども家庭課からの連絡窓口となる方)	連絡担当者氏名 : 電話番号 : Eメールアドレス : _____@_____

貴団体・活動の設立の経緯、活動内容、活動実績などについてうかがいます。

下記①～③がわかる資料などを添付していただければ、問1～問3までの回答は省略して結構です。

- ①地域の中で目指すこと：設立の目的・動機、活動のねらいなど
- ②具体的な活動の内容：イベント・取組みなどの活動概要
- ③活動実績（できれば過去3年程度）：イベント・取組みの実施回数、参加人数、支援した物品・食品、相談件数、かかった経費、組織構成、活動に関わったメンバー

問1 貴団体は、どのような目的もしくはきっかけで設立されましたか

問2 貴団体は、具体的にどのような活動をされていますか

問3 貴団体が現在取り組んでいる活動について、活動名、活動概要と、過去3年程度の実績値（数値の単位）、今後の予測をご記入ください。

実績値： イベント開催回数、参加者人数、支援物品数、相談件数、事業の予算額、それぞれの事業にかかわる職員数、などの数値をご記入ください。詳細が不明な場合は概算値でも構いません。（ ）内には、人、回、件、円などの数値の単位をご記入ください。

予 測： 同活動による支援等の予測についていずれかに○をつけてください。

活動名				
活動概要				
年度	27年度	28年度	29年度	30年度以降の予測（1つに○）
実績値 （単位）	（単 位　）	（単 位　）	（単 位　）	1 増えると思う（増やしていく） 2 現状程度で横ばいと思う 3 減ると思う（減らしていく）

※活動内容が複数ある場合は別紙をコピーしてご記入ください

問4 職務上で主に接する子どもの年代をお教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|-----------|
| 1 乳幼児 | 6 高校生 |
| 2 小学校低学年 (1~2 年生) | 7 大学生 |
| 3 小学校中学年 (3~4 年生) | 8 学校卒業後 |
| 4 小学校高学年 (5~6 年生) | 9 その他 () |
| 5 中学生 | |

問5 これまで「貧困状況にある(かもしれない)」子どもを発見した(接した)ことがありますか。(1つに○)

- | | |
|----------|--------------|
| 1 ある | |
| 2 ない | } 問9へ |
| 3 判断できない | |

※以下の設問文では貧困状況にあるかもしれない(そうと思われる)子どもについても「貧困状況にある」と表現します。

問5で「1」(ある)を回答した方にうかがいます。

問5-1 それはどのような状況にある子どもでしたか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|------------------------------------|
| 1 子どものいる世帯(以下、「世帯」と記載)が生活保護を受給している |
| 2 世帯が児童扶養手当(ひとり親家庭に対する手当)を受給している |
| 3 世帯が就学援助費(子どもの学用品費等に対する援助)を受給している |
| 4 子どもが食事を十分にとれていない |
| 5 子どもの教育に十分にお金がかけてられない |
| 6 子どもが身体の成長や季節に応じた服装をしていない |
| 7 子どもを医療機関で受診させることを控えている |
| 8 子どもの住環境が劣悪である |
| 9 子どもの服装や髪が不衛生なことがしばらく続いている |
| 10 その他 () |
| 11 わからない |

問5-2へ

問5-2 貧困状況にある子どもは、併せてどのような状況にありましたか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1 両親が不仲である | 11 学校等に友人がいない |
| 2 ひとり親家庭である | 12 学校等でいじめを受けている |
| 3 家庭が地域から孤立している | 13 不登校を経験している |
| 4 親から必要以上に干渉されている | 14 学校を中退している |
| 5 親から過度の期待をかけられている | 15 進学を断念している |
| 6 親から育児放棄されている | 16 DVを含む家庭内暴力がある |
| 7 親から虐待を受けている | 17 夜間に出歩いている |
| 8 親が家庭を顧みていない | 18 非行や非行につながる問題行動がある |
| 9 引っ越しや転校が多い | 19 その他 () |
| 10 学校の授業が理解できていない | 20 わからない |

問5-3へ

問5-3 貧困状況にある子どもで、不足していると感じることはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-----------------------|
| 1 読み書き・計算などの基礎的な学力 |
| 2 こころの状態の安定性・心身の健康 |
| 3 健全な生活習慣・食習慣 |
| 4 コミュニケーション能力 |
| 5 他者への共感性や信頼感 |
| 6 社会性 |
| 7 自己肯定感や自己表現、自尊心 |
| 8 意欲やチャレンジ精神 |
| 9 その他 () |
| 10 わからない |
| 11 特に不足しているところは感じられない |

問6へ

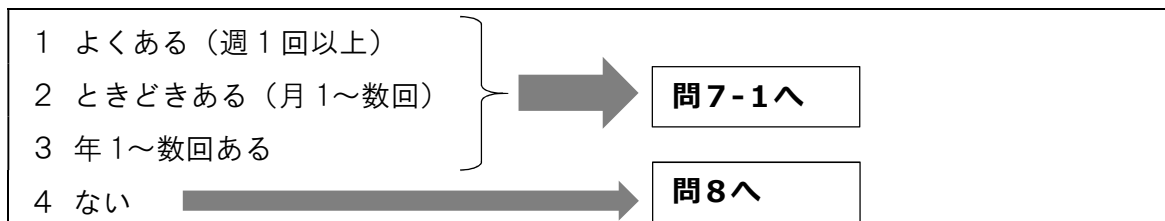
問6 貧困状況にある子どもやその親に対して、どのような支援を行っていますか。

(①～⑪について、あてはまる番号それぞれ1つに○)

また、「よく行っている」「時々行っている」の場合、1か月あたり何人(何件)くらいの子ども(事案)について、支援を行っているかを、右側の欄に数字でご記入ください。(おむねで結構です)

	頻度					1か月に支援する 貧困状況にある 子ども(事案)の 数
	よく行っている (週に1回以上)	時々行っている (月に1～数回)	年に1～数回行っている	行っていない	該当せず	
① 家庭訪問	1	2	3	4	5	人(件)
② 居場所(遊びや読書等の場)の提供	1	2	3	4	5	人(件)
③ 食事の提供	1	2	3	4	5	人(件)
④ 相談(育児、発達、教育、生活相談など)	1	2	3	4	5	人(件)
⑤ 乳幼児健康診断、予防注射等の勧め	1	2	3	4	5	人(件)
⑥ 親子教室の開催	1	2	3	4	5	人(件)
⑦ 経済支援(就学援助費、児童扶養手当など)の紹介	1	2	3	4	5	人(件)
⑧ 学習支援	1	2	3	4	5	人(件)
⑨ 進学指導	1	2	3	4	5	人(件)
⑩ 就労支援	1	2	3	4	5	人(件)
⑪ その他 ()	1	2	3	/	/	人(件)

問7 貧困状況にある子どもについて、他の機関と情報をやり取りする機会がありますか。(1つに○)



問7で「1」から「3」(他機関と情報をやり取りする機会がある)を回答した方にうかがいます。

問7-1 どのような機関とどのような機会に情報をやり取りすることが多いですか。

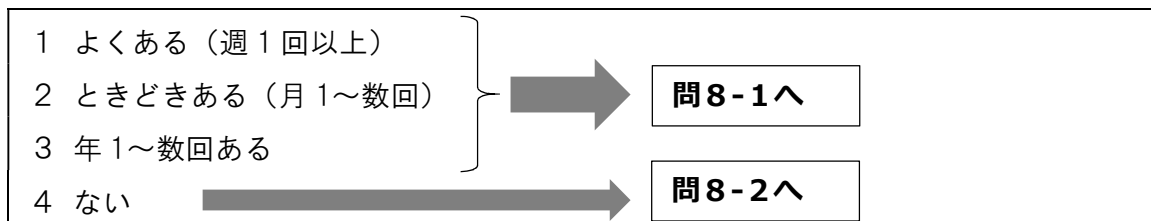
(①~⑯について、それぞれであてはまる番号すべてに○)

※個人としてではなく、所属組織の取組としてご回答ください。

	通常の業務	連絡会議や協議会等	その他の会合	その他	やり取りがない
① 市の福祉こども部	1	2	3	4	5
② 市の保健部	1	2	3	4	5
③ ①~②以外の市の部署 ()	1	2	3	4	5
④ 保育園・幼稚園等	1	2	3	4	5
⑤ 小学校	1	2	3	4	5
⑥ 中学校	1	2	3	4	5
⑦ 高等学校	1	2	3	4	5
⑧ 教育委員会	1	2	3	4	5
⑨ 社会福祉協議会	1	2	3	4	5
⑩ 放課後児童クラブ(学童保育)	1	2	3	4	5
⑪ 民生委員児童委員、主任児童委員	1	2	3	4	5
⑫ 子育て支援センター	1	2	3	4	5
⑬ ファミリー・サポート・センター	1	2	3	4	5
⑭ 医療機関	1	2	3	4	5
⑮ 子ども関連のNPO団体等	1	2	3	4	5
⑯ その他 ()	1	2	3	4	



問 8 他部署・機関で受けられるサービスを、貧困状況にある家庭に紹介することができますか。(1つに○)



問 8 で「1」から「3」(サービスを紹介することがある) を回答した方にうかがいます。

問 8-1 どの部署・機関で受けられるサービスを紹介することが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1 市の福祉子ども部 | 9 社会福祉協議会 |
| 2 市の保健部 | 10 放課後児童クラブ (学童保育) |
| 3 1~2以外の市の部署 () | 11 民生委員児童委員・主任児童委員 |
| 4 保育所・幼稚園等 | 12 子育て支援センター |
| 5 小学校 | 13 ファミリー・サポート・センター |
| 6 中学校 | 14 医療機関 |
| 7 高等学校 | 15 子ども関連の NPO 団体等 |
| 8 教育委員会 | 16 その他 () |



問 8 で「4」(サービスを紹介することがない) を回答した方にうかがいます。

問 8-2 他部署・機関で受けられるサービスを紹介しない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|----------------------------------|
| 1 自身の機関で対応可能であるため |
| 2 他部署・機関と連携が取れていないため |
| 3 他部署・機関で受けられるサービスについて知識・情報がないため |
| 4 職場に紹介をためらわせる風土や雰囲気があるため |
| 5 たらい回しにするようであてられるため |
| 6 忙しくて時間が足りないため |
| 7 その他 () |



すべての方にうかがいます。

問9 貧困状況にある子どもとその家庭への支援について、どのようなことが困難だと感じますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 保護者との接触、信頼関係づくりが難しい
- 2 子どもとの関わり方が難しい
- 3 支援につながる制度（資源）が少ない
- 4 支援者間での連携が難しい
- 5 その他（ ）
- 6 特にない
- 7 わからない

問10 貧困状況にある子どもや保護者、家庭に対して、どのような支援が必要だと思えますか。自身の機関の取組やサービスに関わらずご回答ください。(あてはまるものすべてに○)

- 1 経済的支援
- 2 相談担当者の質的向上
- 3 相談担当者の増員
- 4 総合相談窓口の設定
- 5 訪問による早期発見や生活支援
- 6 保育サービスの提供（病児保育、送迎支援等も含む）
- 7 子どもの居場所（遊び・読書等の場）の提供
- 8 学校での専門家（スクールソーシャルワーカー等）による支援
- 9 子どもへの学校以外での学習機会の提供
- 10 子どもへの文化的活動（自然体験学習、スポーツ等）の機会の提供
- 11 子どもへの食事の提供
- 12 親の就労の支援
- 13 親の受診勧奨
- 14 子どもの受診勧奨
- 15 子どもの進学・就労の支援
- 16 その他（ ）
- 17 わからない

問 11 いま、貧困状況にある子どもや保護者、家庭に対する支援として不足していると思うことは何ですか。

問 12 貧困状況にある子どもや保護者、家庭に対する支援として、貴機関で工夫していることや心がけていることは何ですか。

問 13 これまでに、貧困状況にある子どもや保護者、家庭に対する支援により改善に向かったケースがあった場合、その理由について考えられることを教えてください。

質問は以上です。
ご協力いただき、誠にありがとうございました。

富士市福祉こども部こども家庭課

〒417-8601 静岡県富士市永田町1丁目100番地
TEL 0545-55-2763 FAX 0545-51-0247